
町民意識調査アンケート 結果報告書

平成 28 年 11 月

富士河口湖町

目 次

I	調査の概要及び回答者の属性	1
1	調査の概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査対象及び調査方法	1
(3)	配布数及び回収結果	1
2	本調査報告書の基本的な事項	1
(1)	数値の基本的な取り扱いについて	1
(2)	標本誤差（信頼性）について	2
3	回答者の属性	4
(1)	性別	4
(2)	年齢	4
(3)	世帯構成	4
(4)	職業	5
(5)	就学先・勤務先	5
(6)	居住年数	6
(7)	居住地区	6
II	調査結果	7
1	まちへの愛着度について	7
2	まちへの定住意向について	10
3	まちの魅力について	13
4	町政に対する現状評価と今後の期待について	16
(1)	まちの各環境に関する満足度	16
(2)	まちの各環境に関する重要度	23
(3)	満足度と重要度の相関（優先度）	28
5	まちの将来像（あるべき姿）について	34
6	あなたの生活や地域のことについて	38
III	自由意見	83
IV	地区別満足度・重要度・優先度グラフ	84
V	アンケート票	97

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、「富士河口湖町第2次総合計画」の計画づくりを進めるにあたり、町民の皆様のご意見をお聴きし、これまでの町の取組みに対する評価や町民の日頃の行動や考えを把握することで、町の取組みの達成度を図る指標とし、今後の町政運営の基礎資料とするために実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法

項 目	内 容
調査対象	18 歳以上の町民
配 布 数	2,000
抽 出 法	無作為抽出
調査方法	郵送法（郵送による配布・回収）
調査時期	平成 28 年 8 月
調査地域	町内全域

(3) 配布数及び回収結果

配布数	2,000
全 回 収 数	750
有効回収数	749
有効回収率	37.5%

2 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

- ①比率はすべて百分率（％）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
従って、文章の数値がグラフの数値と一致しない場合があります。
- ②基数となるべき実数は、“n＝〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100％として算出しています。
- ③複数回答の質問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、従って、各回答の合計比率は100％を超える場合があります。
- ④文中、グラフ中の選択肢の文言は、一部簡略化して表現することがあります。

(2) 標本誤差（信頼性）について

統計調査のなかで、調べたい対象全体を調べる（悉皆調査）のではなく、標本すなわち調査対象である世帯や個人、施設などを一部抽出・選定して実施される調査を**標本調査**といいます。この標本調査では、調査した対象が、全体とは必ずしも一致しないことに起因する**標本誤差**というものが存在します。すなわち、標本調査の結果として統計表などに示されている結果数値は、この標本誤差を含んだものとして見る必要があります。

標準誤差は、無作為標本調査による**推計結果値が真の値からどのくらい離れているか**の幅を示す数値です。

無作為抽出により実施した標本調査では、推計値の前後にそれぞれ標準誤差の2倍の値をとると、真の値は約95パーセントの確率でこの幅の中にあるといえるという性質があります。

誤差の大きさは、抽出の方法（無作為抽出の方法という意味）や調査対象とした集団の性質など、様々な要因により影響を受けますが、最も関連性を持つのが「標本数の大きさ」、すなわち、調査の客体としたサンプル数です。例えば、同一の調査、同一の項目においては、サンプル数が多い程標準誤差は小さくなり、逆に、サンプル数が少ない程標本誤差は大きくなります。

一般的には、標本誤差を小さくするようにしたほうが、推計値の精度が上がることから、標本誤差の観点からは、サンプル数を増やして調査を行うほうが望ましいこととなりますが、サンプル数が増加すると調査の手間や経費などが増加するため、むやみにサンプル数を増やすわけにはいきません。

従って、サンプル数の決定は、誤差の大きさとコストなどとの兼ね合いということになります。その標本調査の推計値の標本誤差をどの程度におさめて、サンプル数をいくつにするかというのが、標本調査の企画における重要な部分になりますが、これを「**標本設計**」と呼んでいます。国が実施している調査では、見たい項目についての誤差の程度、標準誤差率を**5パーセント程度**におさめるようにする設計が行われているのが多くなっています。

標本誤差は下記の式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（p）によって誤差幅が異なります。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母数集団(富士河口湖町の18歳以上人口)

n=比率算出の基数(回答者数)

p=測定値

そこで、平成 28 年 8 月に行った富士河口湖町の町民アンケートの母数集団（選挙人名簿登録者数 平成 28 年 9 月 2 日現在）21,858、サンプル数 2,000、有効回答者数 749、回収率は 37.5%であり、これを上式にあてはめての標本誤差について計算すると、

測定値(%)	信頼区間の 1/2 幅(%)
50	3.6
45・55	3.6
40・60	3.5
35・65	3.4
30・70	3.3
25・75	3.1
20・80	2.9
15・85	2.6
10・90	2.2
5・95	1.6

となり、すべての区間において誤差率は 5 パーセント以内に納まっています。

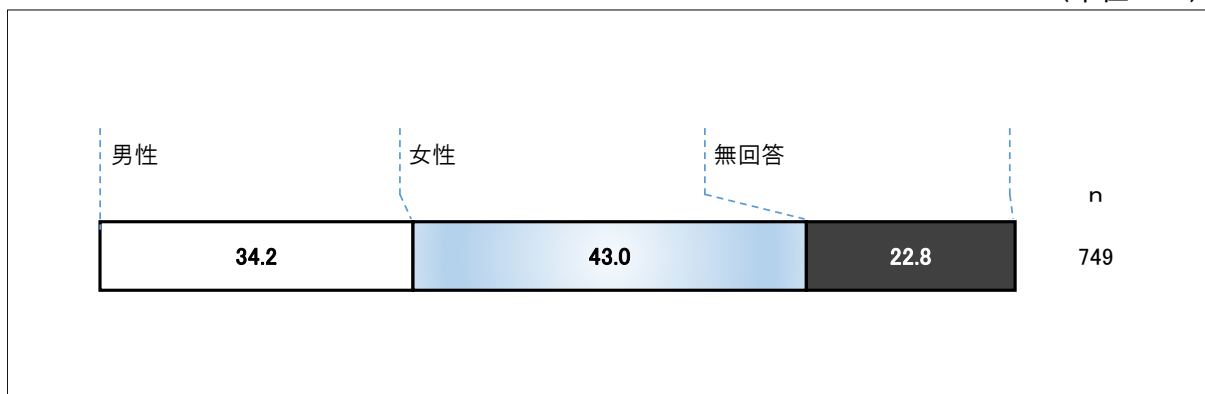
この表の使い方は、ある設問に対しての回答が 50%であったとすると、測定値 50% の 1/2 幅は 3.6%ですから、同じアンケートを別の 2,000 人に行っても、46.4～53.6%の間で回答が得られるということを示しています。

3 回答者の属性

(1) 性別

回答者の性別構成については、「男性」が34.2%「女性」が43.0%となっています。

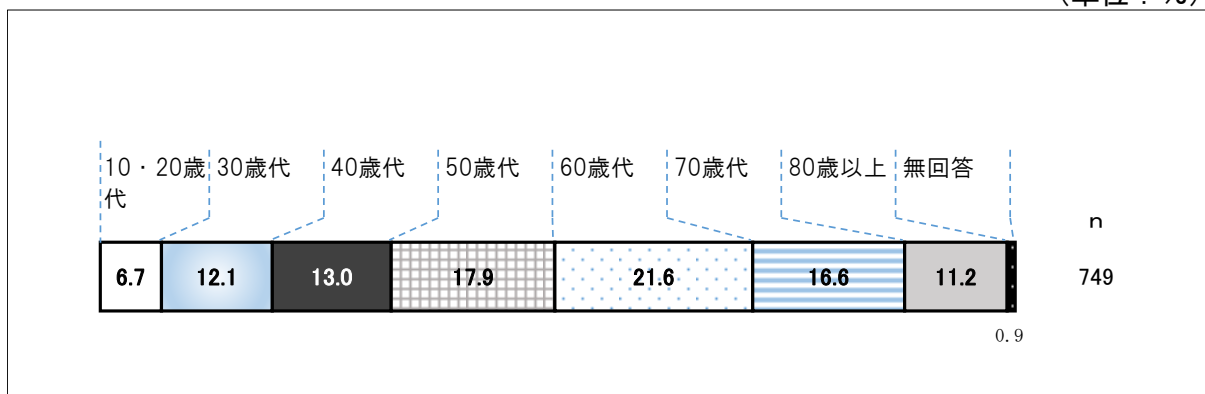
(単位：%)



(2) 年齢

回答者の年齢構成については、「60 歳代」が21.6%で最も多く、次いで「50 歳代」(17.9%)、「70 歳代」(16.6%)、「40 歳代」(13.0%)、「30 歳代」(12.1%)、「80 歳以上」(11.2%)、「10・20 歳代」(6.7%) の順となっています。

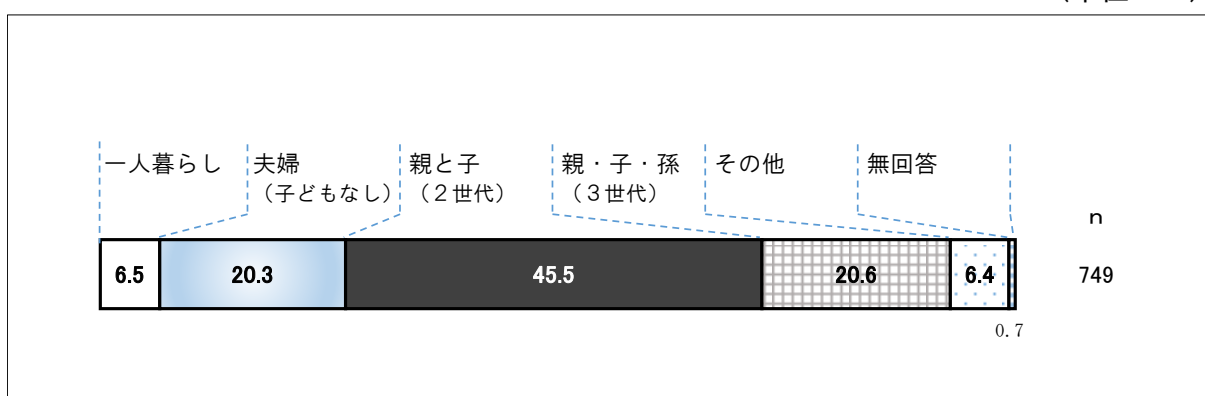
(単位：%)



(3) 世帯構成

回答者の世帯構成については、「親と子(2世代)」が45.5%で最も多く、次いで「親・子・孫(3世代)」(20.6%)、「夫婦(子どもなし)」(20.3%)、「一人暮らし」(6.5%)、の順となっています。

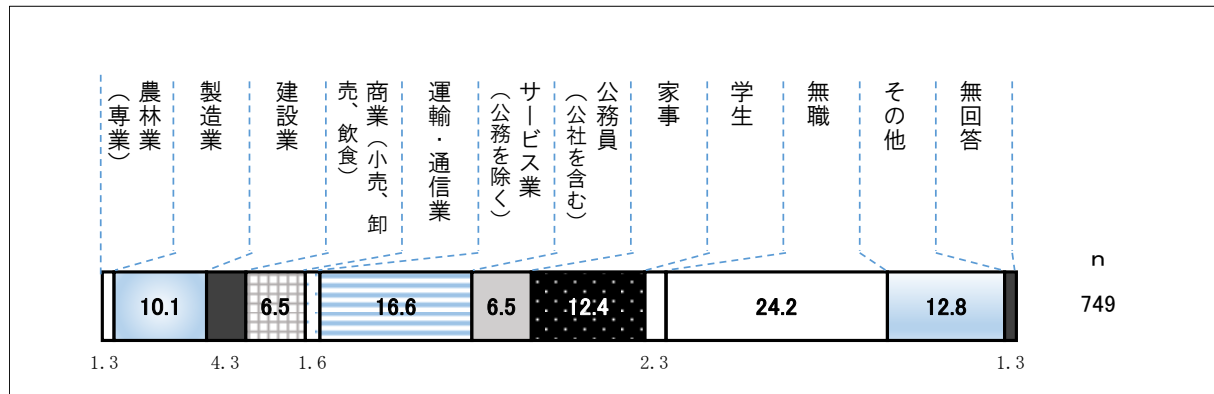
(単位：%)



(4) 職業

回答者の職業については、「無職」が24.2%で最も多く、次いで「サービス業（公務を除く）」（16.6%）、「家事」（12.4%）、「製造業」（10.1%）、「公務員（公社を含む）」・「商業（小売、卸売、飲食）」（同率6.5%）、「建設業」（4.3%）、「学生」（2.3%）、「運輸・通信業」（1.6%）、「農林業（専業）」（1.3%）の順となっています。

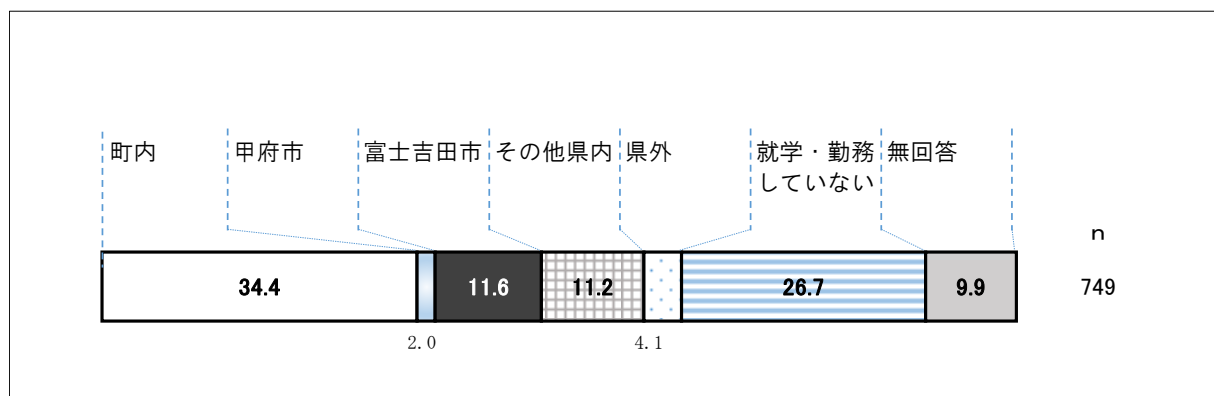
（単位：％）



(5) 就学先・勤務先

回答者の就学先・勤務先については、「町内」が34.4%で最も多く、次いで「就学・勤務していない」（26.7%）、「富士吉田市」（11.6%）、「その他県内」（11.2%）、「県外」（4.1%）、「甲府市」（2.0%）の順となっています。

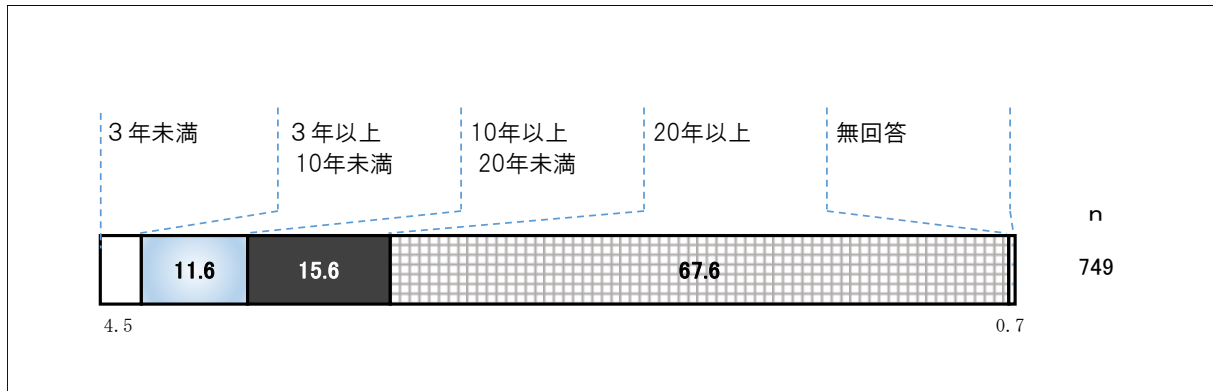
（単位：％）



（６）居住年数

回答者の居住年数については、「20 年以上」が 67.6%で最も多く、次いで「10 年以上 20 年未満」(15.6%)、「3 年以上 10 年未満」(11.6%)、「3 年未満」(4.5%)の順となっています。

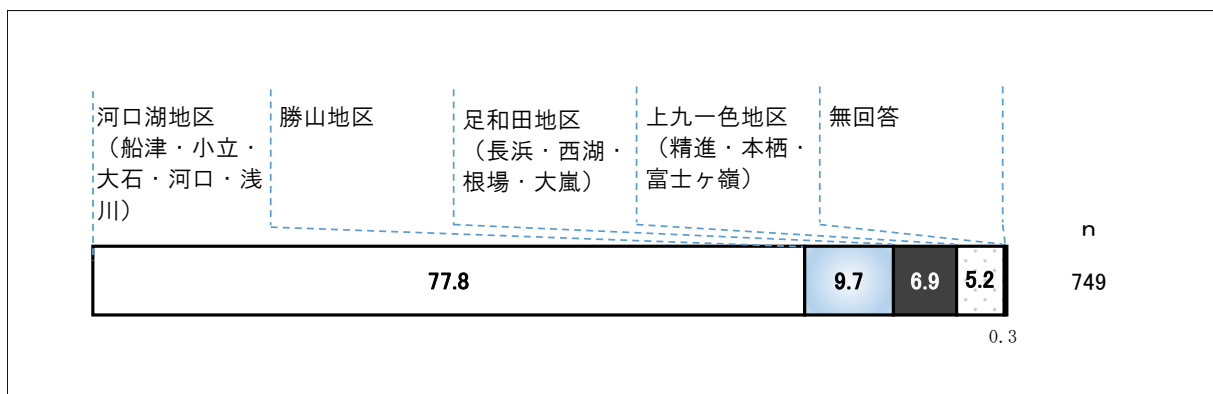
(単位：％)



（７）居住地区

回答者の居住地区については、「河口湖地区（船津・小立・大石・河口・浅川）」が 77.8%で最も多く、次いで「勝山地区」(9.7%)、「足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐）」(6.9%)、「上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺）」(5.2%)の順となっています。

(単位：％)



Ⅱ 調査結果

1 まちへの愛着度について

問2 あなたは、富士河口湖町に対して「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。



- “愛着を感じている” が81.4%、一方、“愛着を感じていない” が4.8%。

町への愛着度を探るため、「とても愛着を感じている」、「どちらかというと愛着を感じている」、「どちらともいえない」、「あまり愛着を感じていない」、「愛着を感じていない」の中から1つを選んでもらったところ、「とても愛着を感じている」と答えた人が43.9%と最も多く、これに「どちらかというと愛着を感じている」（37.5%）をあわせた81.4%の人が“愛着を感じている”という意向を示しています。一方、「あまり愛着を感じていない」（3.2%）及び「愛着を感じていない」（1.6%）と答えた“愛着を感じていない”という人の合計は4.8%にとどまっています。なお、「どちらともいえない」は12.7%でした。

これを属性別でみると、性別では、“愛着を感じている”率は男性が83.2%、女性が81.1%となっており、やや男性のほうが高くなっています。

年齢では、“愛着を感じている”率は80歳以上（86.9%）、60歳代（85.8%）、40歳代（82.5%）が高くなっています。一方、70歳代（77.4%）、10・20歳代（78.0%）では比較的低くなっています。

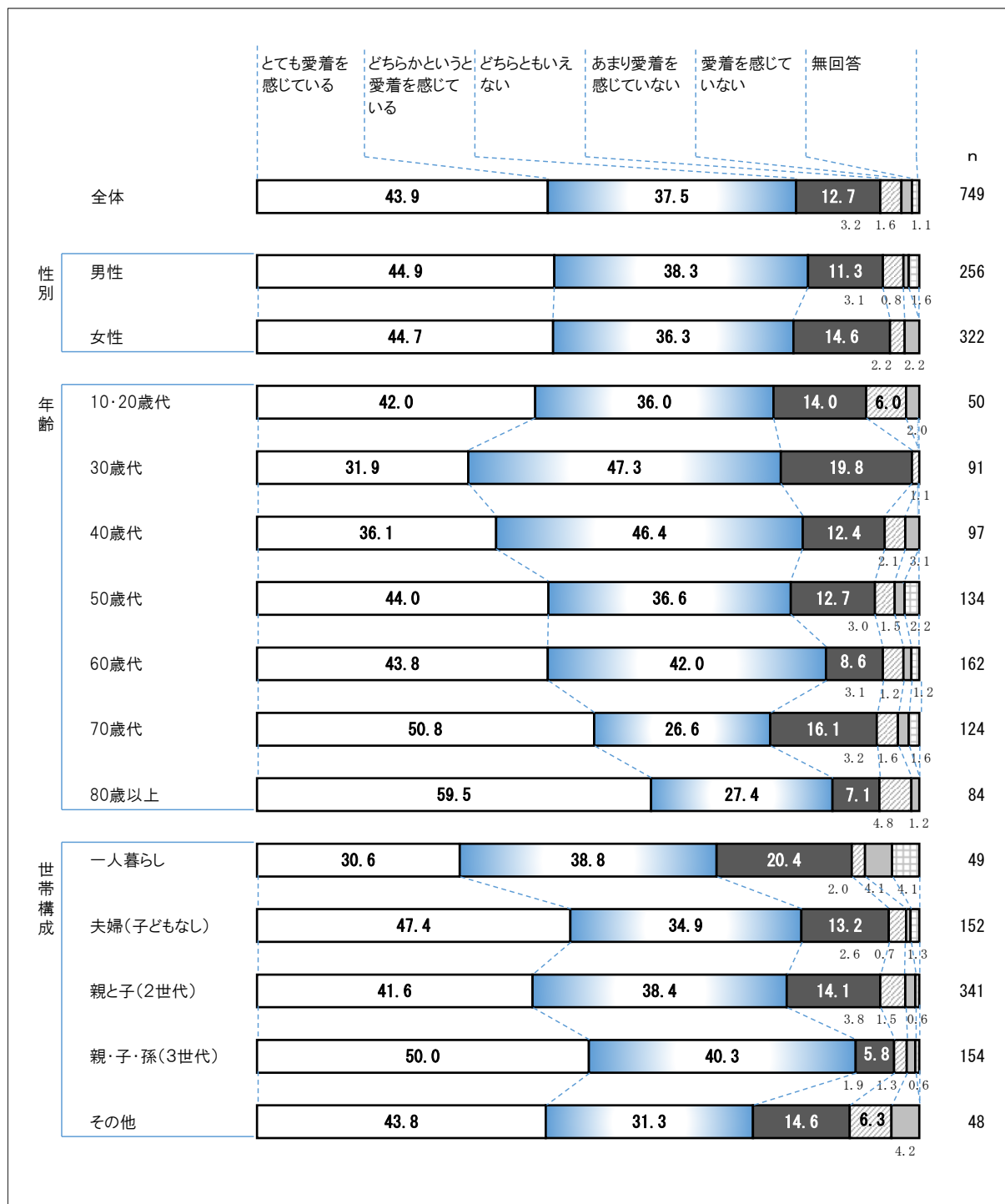
職業では、公務員（公社を含む）の“愛着を感じている”率が89.8%と最も高くなっています。最も低くなっているのが、農林業（専業）の50.0%でした。

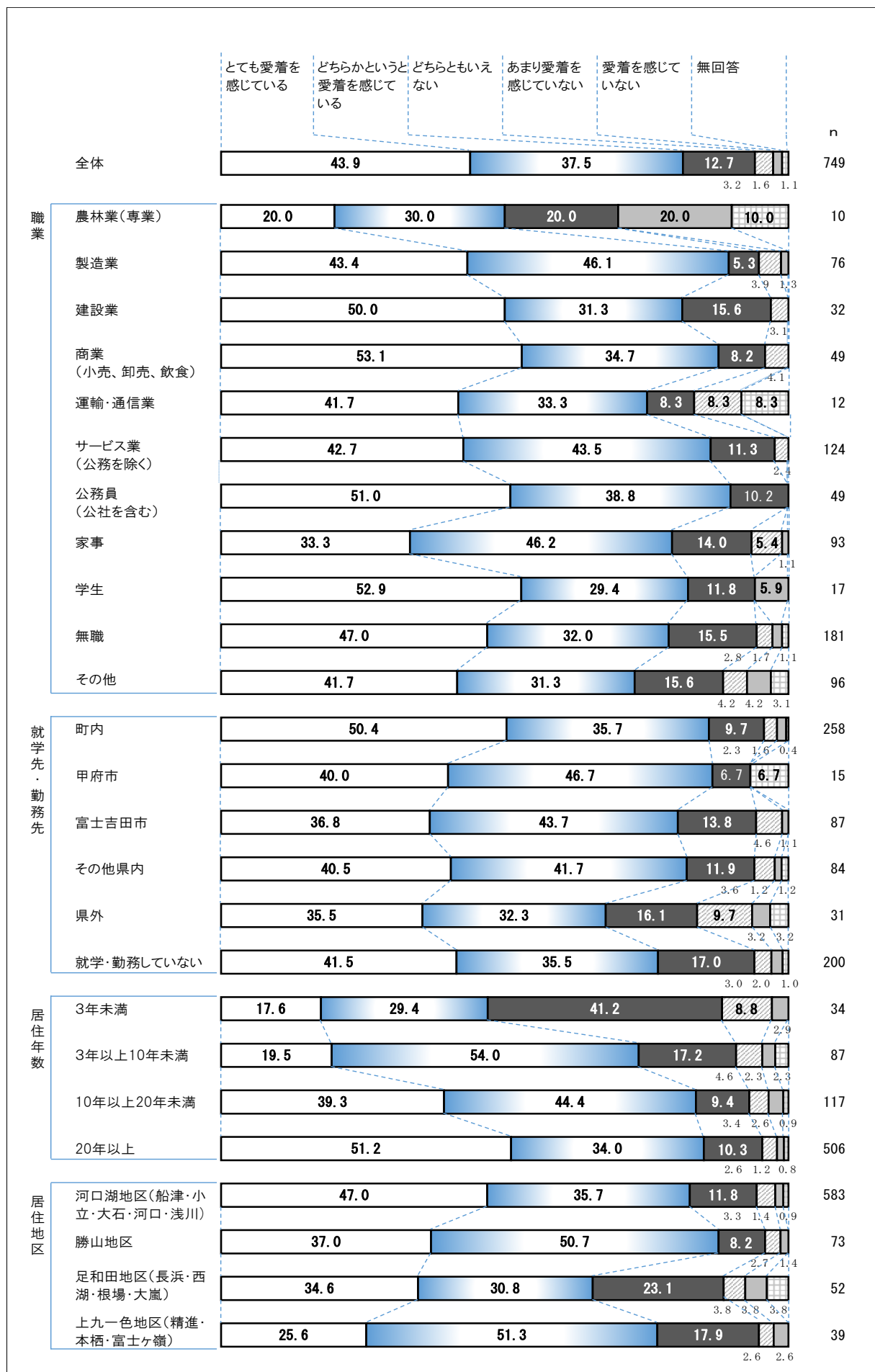
就学先・勤務先では、甲府市の“愛着を感じている”率が86.7%と最も高くなっています。最も低くなっているのが、県外の67.7%でした。一方、町内の“愛着を感じている”率は86.0%となっています。

居住年数では、20年以上の“愛着を感じている”率が85.2%と最も高くなっています。最も低くなっているのが3年未満の47.1%で、居住年数が長くなればなるほど、“愛着を感じている”率が高くなる傾向があります。

居住地区では、“愛着を感じている”率は、勝山地区（87.7%）が最も高く、足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐）（65.4%）が最も低くなっています。[図表1]

図表1 まちへの愛着度について
 (全体・性別・年齢・世帯構成・職業・就学先・勤務先・居住年数・居住地区)
 (単位：%)





2 まちへの定住意向について

問3 あなたは、これからも富士河口湖町に住みたいと思いますか。



- “住みたい” が82.5%、一方、“住みたくない” が3.4%。

今後の定住意向を探るため、「住みたい」、「どちらかといえば住みたい」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば住みたくない」、「住みたくない（できれば町外へ引越ししたい）」の中から1つを選んでもらったところ、「住みたい」と答えた人が61.0%と最も多く、これに「どちらかといえば住みたい」（21.5%）をあわせた82.5%の人が“住みたい”という意向を示しています。一方、「どちらかといえば住みたくない」（1.5%）及び「住みたくない（できれば町外へ引越ししたい）」（1.9%）と答えた“住みたくない”という人の合計は3.4%にとどまっています。なお、「どちらともいえない」は12.8%でした。

これを属性別でみると、性別では、“住みたい”率は男性が85.2%、女性が82.0%となっており、やや男性のほうが高くなっています。

年齢では、“住みたい”率は80歳以上が95.2%と最も高くなっています。最も低くなっているのが、70歳代の77.4%でした。

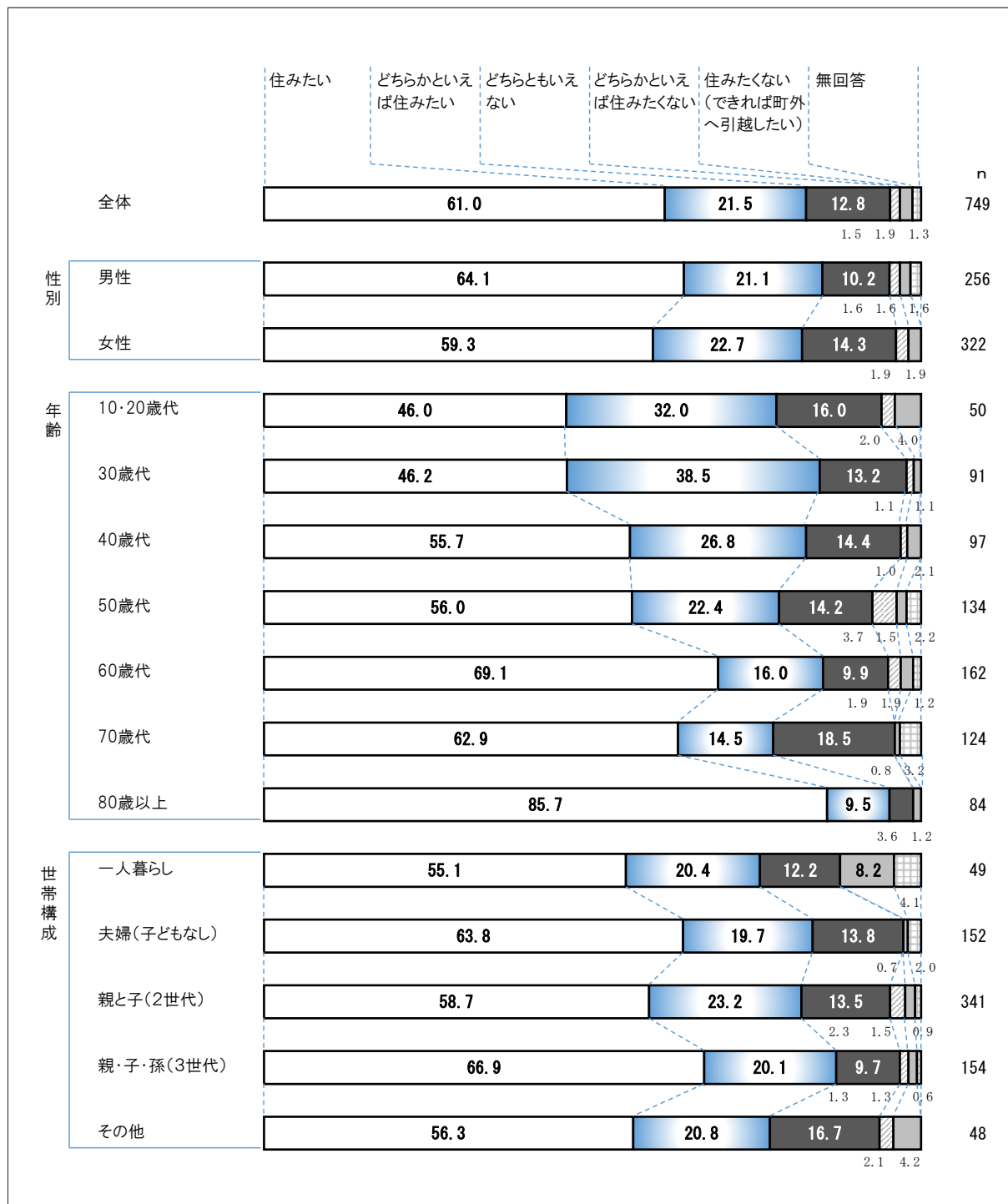
職業では、公務員（公社を含む）の“住みたい”率が89.8%と最も高くなっています。最も低くなっているのが、農林業（専業）の60.0%でした。

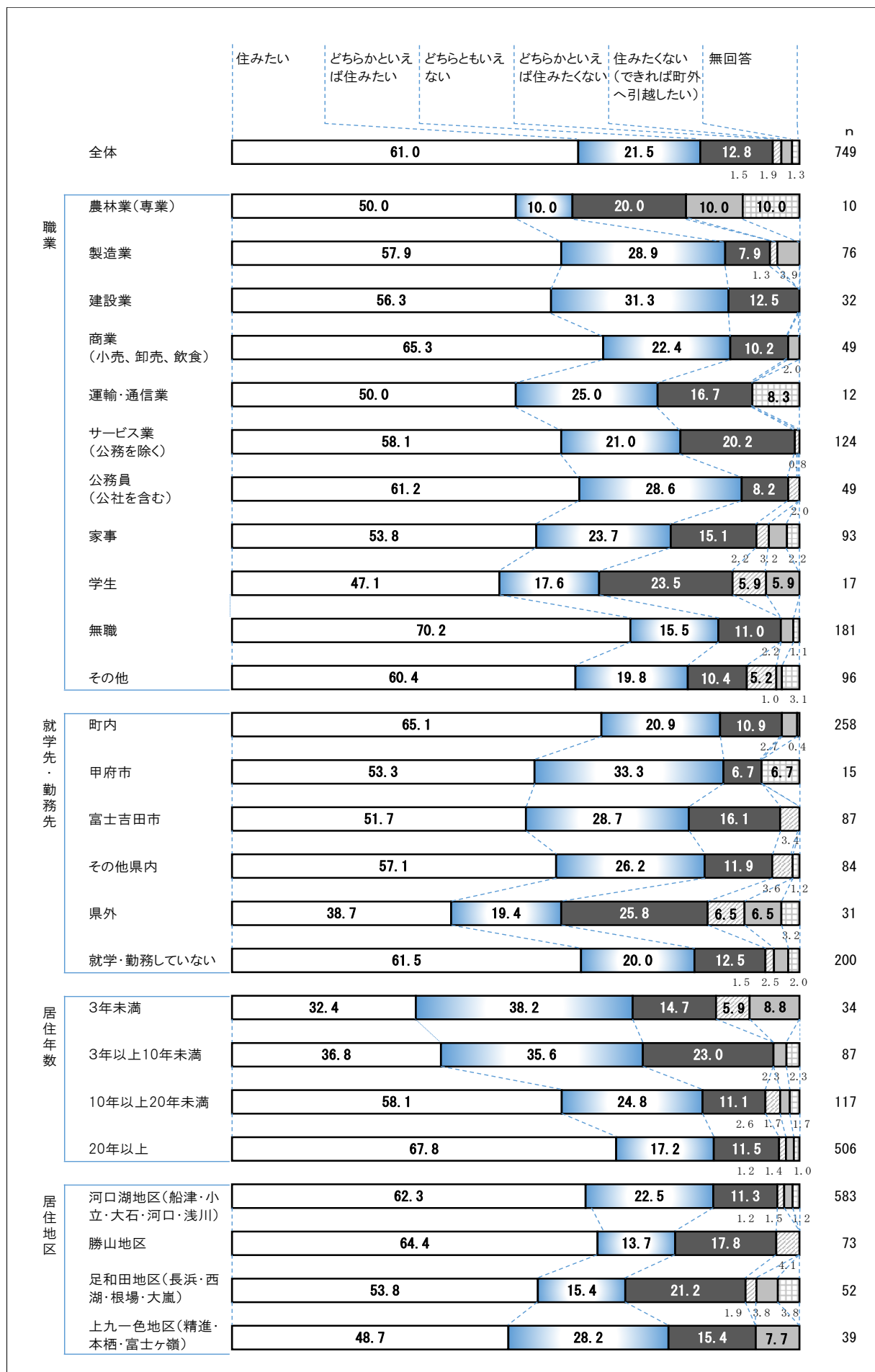
就学先・勤務先では、甲府市の“住みたい”率が86.7%と最も高くなっています。最も低くなっているのが、県外の58.1%でした。一方、町内の“住みたい”率は86.0%となっています。

居住年数では、20年以上の“住みたい”率が85.0%と最も高くなっています。最も低くなっているのが3年未満の70.6%で、居住年数が長くなればなるほど、“住みたい”率が高くなる傾向があります。

居住地区では、“住みたい”率は、河口湖地区（船津・小立・大石・河口・浅川）（84.7%）が最も高く、足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐）（69.2%）が最も低くなっています。[図表2]

図表2 まちへの定住意向について
(全体・性別・年齢・世帯構成・職業・就学先・勤務先・居住年数・居住地区)
(単位：％)





3 まちの魅力について

問4 あなたは、富士河口湖町のどのようなところに魅力を感じていますか。



- 「自然環境が豊かである」(77.6%) が第1位、次いで「道路・交通の便が良い」(24.6%) の順。

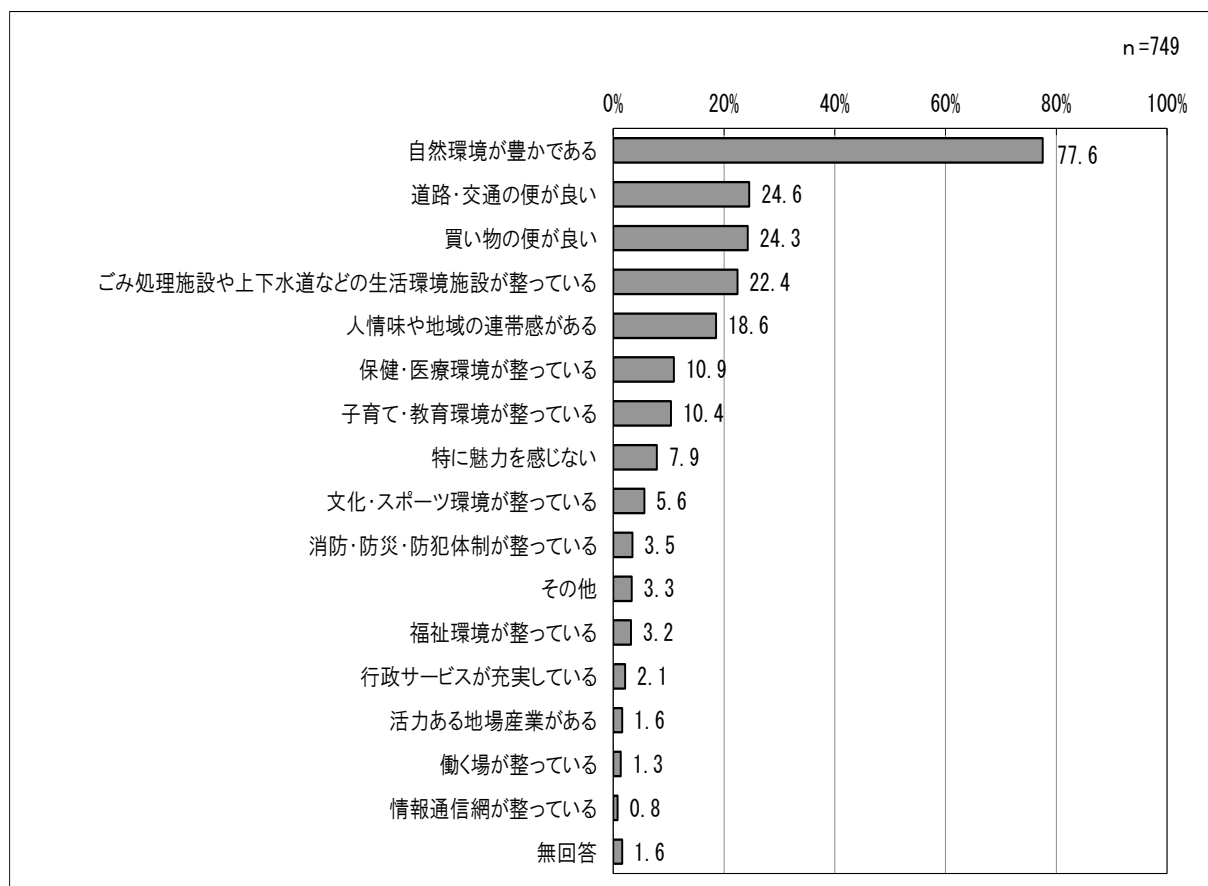
町のどのようなところに魅力を感じるかたずねたところ、「自然環境が豊かである」(77.6%) が第1位、次いで「道路・交通の便が良い」(24.6%)、「買い物の便が良い」(24.3%)、「ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている」(22.4%)、「人情味や地域の連帯感がある」(18.6%) などの順となっています。[図表3-1]

性別でみると、男女ともに第1位が「自然環境が豊かである」となっています。第2位は、男性が「道路・交通の便が良い」、女性が「買い物の便が良い」となっています。

年齢でみると、全ての年代で「自然環境が豊かである」が第1位となっています。また、30歳代では「子育て・教育環境が整っている」、80歳以上では「ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている」などが第2位となっています。

居住地区でみると、全ての地区で「自然環境が豊かである」が第1位となっています。また、河口湖地区(船津・小立・大石・河口・浅川)では「買い物の便が良い」、勝山地区では「ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている」、足和田地区(長浜・西湖・根場・大嵐)では「ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている」と「人情味や地域の連帯感がある」、上九一色地区(精進・本栖・富士ヶ嶺)では「人情味や地域の連帯感がある」が第2位となっています。[図表3-2]

図表３－１ まちの魅力について
(全体／複数回答：３つまで)



図表３－２ まちの魅力について
(全体・性別・年齢・居住地区／複数回答：３つまで)

(上位３位、単位：％)

		第１位	第２位	第３位
全 体		自然環境が豊かである	道路・交通の便が良い	買い物の便が良い
		77.6%	24.6%	24.3%
性 別	男性	自然環境が豊かである	道路・交通の便が良い	買い物の便が良い
		79.3%	28.9%	23.8%
	女性	自然環境が豊かである	買い物の便が良い	ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている
		78.9%	24.2%	22.7%
年 齢	10・20 歳代	自然環境が豊かである	人情味や地域の連帯感がある	子育て・教育環境が整っている
		78.0%	22.0%	16.0%
	30 歳代	自然環境が豊かである	子育て・教育環境が整っている	買い物の便が良い
		75.8%	33.0%	27.5%
	40 歳代	自然環境が豊かである	道路・交通の便が良い/買い物の便が良い	
		77.3%	18.6%	
	50 歳代	自然環境が豊かである	人情味や地域の連帯感がある	道路・交通の便が良い
		79.1%	26.1%	20.1%
	60 歳代	自然環境が豊かである	買い物の便が良い	道路・交通の便が良い
		80.9%	30.2%	29.6%
	70 歳代	自然環境が豊かである	道路・交通の便が良い	ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている
		74.2%	34.7%	33.9%
	80 歳以上	自然環境が豊かである	ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている	保健・医療環境が整っている
		78.6%	34.5%	25.0%
居 住 地 区	河口湖地区（船津・小立・大石・河口・浅川）	自然環境が豊かである	買い物の便が良い	道路・交通の便が良い
		76.2%	27.3%	26.2%
	勝山地区	自然環境が豊かである	ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている	道路・交通の便が良い
		83.6%	31.5%	26.0%
	足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐）	自然環境が豊かである	ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている/人情味や地域の連帯感がある	
		75.0%	28.8%	
	上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺）	自然環境が豊かである	人情味や地域の連帯感がある	ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている
		92.3%	25.6%	20.5%

4 町政に対する現状評価と今後の期待について

(1) まちの各環境に関する満足度

問5 富士河口湖町の現在の状況（満足度）と今後のまちづくりにおける重要度についておたずねします。(1)富士河口湖町の今の状況についてどう思いますか。



- 満足度が最も高い項目は「自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさと保全」。次いで「水道の整備が進んでいる」、「ごみの分別収集や資源回収が進められている」の順。
- 不満度が最も高い項目は「鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい」。次いで「衣料品や電化製品などの買い物がしやすい」、「ゆったりと過ごせる公園などがある」の順。

本町の各環境に関する町民の評価について、満足度をたずねた 62 の設問項目の傾向を、“満足”（「満足」及び「まあ満足」の合計），“不満”（「やや不満」及び「不満」の合計）にまとめ、その比率でみていくと、“満足”と回答した率は、「自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさと保全」（71.7%）が最も高く、次いで「水道の整備が進んでいる」（58.7%）、「ごみの分別収集や資源回収が進められている」（57.9%）、「田園風景など景観が良い」（57.0%）、「近隣の人たちと仲の良い生活ができている」（56.3%）などの順となっています。

一方、“不満”と回答した率は、「鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい」（49.7%）が最も高く、次いで「衣料品や電化製品などの買い物がしやすい」（48.3%）、「ゆったりと過ごせる公園などがある」（39.5%）、「歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している」、「街路灯など、防犯の面で安心である」（同率 39.0%）などの順となっています。

また、満足度の上位 10 項目のうち、7 項目を「快適性」分野が占め、不満度の上位 10 項目のうち、3 項目を「利便性」分野が占めており、町の「快適性」分野への住民満足度の高さが分かります。[図表 4-1～2]

さらに、加重平均値〔後述参照〕による評価点（満足度：最高点 10 点、最低点 -10 点）による分析を行いました。

この結果、評価点の最も高い項目は「自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさと保全」（4.73 点）となっており、次いで第 2 位が「田園風景など景観が良い」（3.37 点）、第 3 位が「水道の整備が進んでいる」（3.25 点）と続き、以下、「ごみの分別収集や資源回収が進められている」（3.14 点）、「住宅や宅地に恵まれている」（2.94 点）などの順となっています。

一方、評価点の低い方からみると、「鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい」（-2.67 点）が最も低く、次いで第 2 位が「衣料品や電化製品などの買い物がしやすい」（-2.38 点）、第 3 位が「働く場が確保されている」（-2.06 点）と続き、以下、「街路灯など、防犯の面で安心である」（-1.44 点）、「歩道の整備など、交通事故防止対策が

充実している」(-1.33 点) などとなっています。

また、分野別の評価点をみると、「快適性」分野(平均 2.00 点) が最も高くなっており、「利便性」分野(平均-0.52 点) が最も低くなっています。全体でみると、評価がプラスの項目は 42 項目、マイナスの項目は 20 項目となっており、“満足” が“不満” を上回っています。[図表 4-3]

※加重平均値の算出方法※

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(満足度)を算出する。

$$\text{評価点} = \left(\begin{array}{l} \text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「まあ満足」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや不満」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array} \right) \div \left(\begin{array}{l} \text{「満足」、「まあ満足」、「どちら} \\ \text{ともいえない」、「やや不満」、} \\ \text{「不満」の回答者数} \end{array} \right)$$

この算出方法により、評価点(満足度)は 10 点～-10 点の間に分布し、中間点の 0 点を境に、10 点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に-10 点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

図表 4－1 まちの各環境に関する満足度（全体）

（単位：％）

設問		満足度	不満度
1 利便性	1-① 鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい	21.9	①49.7
	1-② 道路が便利である	47.9	20.6
	1-③ 食品や日用品の買い物がしやすい	⑥56.2	19.6
	1-④ 衣料品や電化製品などの買い物がしやすい	19.8	②48.3
	1-⑤ 働く場が確保されている	14.0	⑥38.3
	1-⑥ 情報基盤（インターネット環境など）が充実している	25.1	15.8
2 快適性	2-① 自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさと保全	①71.7	5.9
	2-② 田園風景など景観が良い	④57.0	8.5
	2-③ 住宅や宅地に恵まれている	⑦52.3	8.0
	2-④ 身近なところに子どもの遊び場や居場所がある	25.0	⑦34.7
	2-⑤ ゆったりと過ごせる公園などがある	24.6	③39.5
	2-⑥ 水道の整備が進んでいる	②58.7	11.1
	2-⑦ 下水道（合併処理浄化槽など）の整備が進んでいる	⑩48.7	15.2
	2-⑧ ごみの分別収集や資源回収が進められている	③57.9	11.1
	2-⑨ 騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない	⑧50.3	17.9
	2-⑩ 住宅地、商業地、工業地、農地、緑地等が適切に配置されている	23.8	16.7
3 安全性	3-① 歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している	22.7	④39.0
	3-② 消防・救急体制が整っている	48.5	10.4
	3-③ 防災対策が整っている	28.8	16.3
	3-④ 街路灯など、防犯の面で安心である	20.6	④39.0
	3-⑤ 消費者への振り込め詐欺など悪徳商法に対する相談体制が整っている	17.5	11.1
4 産業・観光	4-① 農林水産・畜産業（担い手の育成、農地の整備など）の振興	9.5	17.9
	4-② 商業（商業地域の形成や事業者への支援）の振興	8.7	18.3
	4-③ 工業（既存企業の育成・支援）の振興や企業誘致	9.2	21.6
	4-④ 観光資源の発掘やPR	32.2	12.6
5 保健・福祉	5-① 健康診断や保健指導の体制が充実している	⑨49.7	9.5
	5-② 病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	38.9	⑩22.4
	5-③ 障がい者のための施設・福祉サービスが充実している	21.6	15.9
	5-④ 高齢者のための施設・福祉サービスが充実している	23.1	18.0
	5-⑤ 障がい者が生きがいを持てる機会が充実している	12.6	17.1
	5-⑥ 高齢者が生きがいを持てる機会が充実している	13.8	20.6
6 子育て支援	6-① 子どもにとって安全・安心なまちづくりをしている	33.1	12.7
	6-② 保育料・教育費などの負担軽減がされている	25.0	12.0
	6-③ 町民が子どもの心を育む地域づくりをしている	20.3	13.9
	6-④ 保育園、学童保育など、保育体制が充実している	37.4	11.1
	6-⑤ 男性も子育てに参加できる環境づくりができています	6.8	⑨22.8
	6-⑥ 子どもが楽しく過ごせるまちづくりをしている	20.0	13.5
	6-⑦ 子ども同士、親同士のネットワークづくりが充実している	13.4	12.3
	6-⑧ 子育て相談・情報提供が充実している	16.4	12.1
	6-⑨ ひとり親家庭への福祉サービスが充実している	12.8	10.5
	6-⑩ 子どもの人権・権利を守る意識の啓発活動が充実している	10.3	10.9

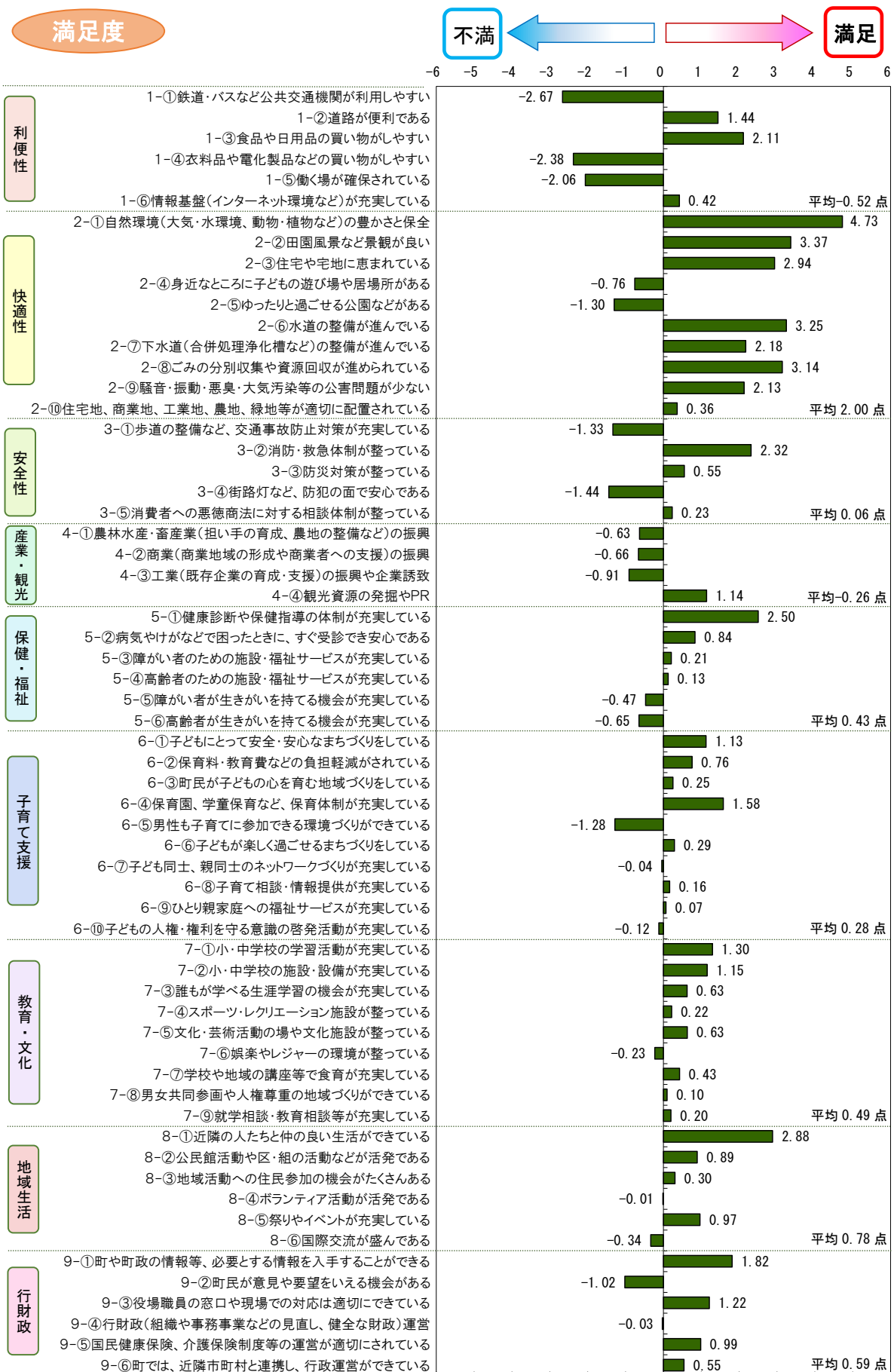
設問		満足度	不満度
7 教育・文化	7-① 小・中学校の学習活動が充実している	29.0	7.6
	7-② 小・中学校の施設・設備が充実している	28.6	9.6
	7-③ 誰もが学べる生涯学習の機会が充実している	22.3	11.9
	7-④ スポーツ・レクリエーション施設が整っている	22.4	18.3
	7-⑤ 文化・芸術活動の場や文化施設が整っている	26.6	14.6
	7-⑥ 娯楽やレジャーの環境が整っている	18.6	20.4
	7-⑦ 学校や地域の講座等で食育が充実している	17.4	9.9
	7-⑧ 男女共同参画や人権尊重の地域づくりができています	14.2	11.1
	7-⑨ 就学相談・教育相談等が充実している	13.0	9.1
8 地域生活	8-① 近隣の人たちと仲の良い生活ができています	556.3	8.1
	8-② 公民館活動や区・組の活動などが活発である	26.8	10.9
	8-③ 地域活動への住民参加の機会がたくさんある	19.0	13.0
	8-④ ボランティア活動が活発である	12.8	12.1
	8-⑤ 祭りやイベントが充実している	28.8	12.6
	8-⑥ 国際交流が盛んである	12.4	15.5
9 行財政	9-① 町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる	48.2	16.7
	9-② 町民が意見や要望をいえる機会がある	17.4	27.5
	9-③ 役場職員の窓口や現場での対応は適切にできている	42.1	21.6
	9-④ 行財政（組織や事務事業などの見直し、健全な財政）運営	18.8	16.7
	9-⑤ 国民健康保険、介護保険制度等の運営が適切にされている	31.1	13.8
	9-⑥ 町では、近隣市町村と連携し、行政運営ができています	20.7	10.8

図表 4-2 まちの各環境に関する満足度（全体）

（上位・下位 10 項目）

	満 足 度	不 満 度
第1位	2-① 自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさと保全	1-① 鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい
第2位	2-⑥ 水道の整備が進んでいる	1-④ 衣料品や電化製品などの買い物がしやすい
第3位	2-⑧ ごみの分別収集や資源回収が進められている	2-⑤ ゆったりと過ごせる公園などがある
第4位	2-② 田園風景など景観が良い	3-① 歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している/3-④ 街路灯など、防犯の面で安心である
第5位	8-① 近隣の人たちと仲の良い生活ができています	1-⑤ 働く場が確保されている
第6位	1-③ 食品や日用品の買い物がしやすい	2-④ 身近なところに子どもの遊び場や居場所がある
第8位	2-⑨ 騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない	9-② 町民が意見や要望をいえる機会がある
第9位	5-① 健康診断や保健指導の体制が充実している	6-⑤ 男性も子育てに参加できる環境づくりができています
第10位	2-⑦ 下水道（合併処理浄化槽など）の整備が進んでいる	5-② 病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である

図表4-3 まちの各環境に関する満足度の評価点（全体）



■また、地区別の満足度の評価点を項目ごとにまとめると、以下のとおりとなります。

満足度の上位3項目について全体と各地区を見ると、第1位には「自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさと保全」が多くなっていますが、勝山地区では「水道の整備が進んでいる」、足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐）では「騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない」がそれぞれ第1位となっています。

また、第2位、第3位には「田園風景など景観が良い」、「自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさと保全」のほかに、河口湖地区（船津・小立・大石・河口・浅川）と上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺）で「ごみの分別収集や資源回収が進められている」があげられており、勝山地区と足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐）で「下水道（合併処理浄化槽など）の整備が進んでいる」があげられています。

満足度の下位3項目について全体と各地区を見ると、第1位には「鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい」が多くなっていますが、足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐）では「衣料品や電化製品などの買い物がしやすい」が第1位となっています。また、第2位、第3位には「衣料品や電化製品などの買い物がしやすい」、「ゆったりと過ごせる公園などがある」、「働く場が確保されている」、「鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい」のほかに、上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺）で「食品や日用品の買い物がしやすい」があげられています。[図表4-4（グラフはP84～参照）]

図表 4 - 4 まちの各環境に関する満足度
(全体・居住地区)

【上位 3 項目】

(単位：評価点)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体	2-①自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさ と保全 4.73	2-②田園風景など景観が 良い 3.37	2-⑥水道の整備が進んで いる 3.25
河口湖地区（船 津・小立・大石・ 河口・浅川）	2-①自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさ と保全 4.68	2-②田園風景など景観が 良い 3.32	2-⑧ごみの分別収集や資源 回収が進められている 3.13
勝山地区	2-⑥水道の整備が進んで いる 5.96	2-①自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさ と保全 5.71	2-⑦下水道（合併処理浄化 槽など）の整備が進んでい る 5.14
足和田地区（長 浜・西湖・根場・ 大嵐）	2-⑨騒音・振動・悪臭・大 気汚染等の公害問題が少な い 4.06	2-②田園風景など景観が 良い 3.80	2-①自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさ と保全/2-⑦下水道（合併 処理浄化槽など）の整備 が進んでいる 3.48
上九一色地区 （精進・本栖・ 富士ヶ嶺）	2-①自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさ と保全 5.14	2-②田園風景など景観が 良い 3.82	2-⑧ごみの分別収集や資源 回収が進められている 3.18

【下位 3 項目】

(単位：評価点)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体	1-①鉄道・バスなど公共交 通機関が利用しやすい -2.67	1-④衣料品や電化製品な どの買い物がしやすい -2.38	1-⑤働く場が確保されて いる -2.06
河口湖地区（船 津・小立・大石・ 河口・浅川）	1-①鉄道・バスなど公共交 通機関が利用しやすい -2.06	1-④衣料品や電化製品な どの買い物がしやすい -1.95	1-⑤働く場が確保されて いる -1.86
勝山地区	1-① 鉄道・バスなど公共 交通機関が利用しやすい -4.64	1-④衣料品や電化製品な どの買い物がしやすい -3.24	1-⑤働く場が確保されて いる -2.39
足和田地区（長 浜・西湖・根場・ 大嵐）	1-④衣料品や電化製品な どの買い物がしやすい -4.15	2-⑤ゆったりと過ごせる公園などがある/1-①鉄道・バス など公共交通機関が利用しやすい -3.37	
上九一色地区 （精進・本栖・ 富士ヶ嶺）	1-①鉄道・バスなど公共交 通機関が利用しやすい -7.29	1-③食品や日用品の買い 物がしやすい -5.29	1-④衣料品や電化製品な どの買い物がしやすい -5.00

(2) まちの各環境に関する重要度

問5 富士河口湖町の現在の状況(満足度)と今後のまちづくりにおける重要度についておたずねします。(2)今後のまちづくりにおける重要度についてどう思いますか。

- 重要度が最も高い項目は「歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している」。次いで「自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全」、「病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である」などの順。

本町の各環境に関する町民の重要度について、重要度をたずねた62の設問項目の傾向を、“重要である”(「重要」及び「やや重要」の合計)の比率でみていくと、比率が高い項目としては、「歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している」(78.2%)が第1位にあげられ、次いで第2位が「自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全」(75.6%)、第3位が「病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である」(73.7%)と続き、以下、「街路灯など、防犯の面で安心である」(73.2%)、「消防・救急体制が整っている」(72.2%)などの順となっています。

また、重要度の上位10項目のうち、4項目を「安全性」分野が占めており、町への「安全性」分野へのニーズが高くなっています。[図表5-1~2]

さらに、加重平均値による評価点(重要度：最高点10点、最低点-10点)による結果をみると、重要度の最も高い項目は、「歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している」(6.68点)が第1位にあげられ、次いで第2位が「街路灯など、防犯の面で安心である」(6.66点)、第3位が「子どもにとって安全・安心なまちづくりをしている」(6.63点)と続き、以下、「自然環境(大気・水環境、動物・植物など)の豊かさと保全」(6.60点)、「病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である」(6.55点)などの順となっています。

また、分野別の評価点をみると、「安全性」分野(平均6.22点)が最も高くなっており、「地域生活」分野(平均3.25点)が最も低くなっています。[図表5-3]

※加重平均値の算出方法※

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点(重要度)を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「重要」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや重要」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「あまり重要でない」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重要でない」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「重要」、「やや重要」、「どちらともいえない」、} \\ \text{「あまり重要でない」、「重要でない」の回答者} \\ \text{数} \end{array}}$$

図表 5－1 まちの各環境に関する重要度（全体）

（単位：％）

設問		重要度
1 利便性	1-① 鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい	68.5
	1-② 道路が便利である	69.6
	1-③ 食品や日用品の買い物がしやすい	66.1
	1-④ 衣料品や電化製品などの買い物がしやすい	55.9
	1-⑤ 働く場が確保されている	69.7
	1-⑥ 情報基盤（インターネット環境など）が充実している	52.9
2 快適性	2-① 自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさと保全	②75.6
	2-② 田園風景など景観が良い	64.0
	2-③ 住宅や宅地に恵まれている	57.4
	2-④ 身近なところに子どもの遊び場や居場所がある	67.7
	2-⑤ ゆったりと過ごせる公園などがある	65.0
	2-⑥ 水道の整備が進んでいる	68.6
	2-⑦ 下水道（合併処理浄化槽など）の整備が進んでいる	65.7
	2-⑧ ごみの分別収集や資源回収が進められている	⑩69.8
	2-⑨ 騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない	⑥71.4
	2-⑩ 住宅地、商業地、工業地、農地、緑地等が適切に配置されている	53.9
3 安全性	3-① 歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している	①78.2
	3-② 消防・救急体制が整っている	⑤72.2
	3-③ 防災対策が整っている	⑧71.2
	3-④ 街路灯など、防犯の面で安心である	④73.2
	3-⑤ 消費者への振り込め詐欺など悪徳商法に対する相談体制が整っている	57.0
4 産業・観光	4-① 農林水産・畜産業（担い手の育成、農地の整備など）の振興	47.5
	4-② 商業（商業地域の形成や商業者への支援）の振興	48.6
	4-③ 工業（既存企業の育成・支援）の振興や企業誘致	50.5
	4-④ 観光資源の発掘やPR	58.9
5 保健・福祉	5-① 健康診断や保健指導の体制が充実している	69.6
	5-② 病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	③73.7
	5-③ 障がい者のための施設・福祉サービスが充実している	63.8
	5-④ 高齢者のための施設・福祉サービスが充実している	68.9
	5-⑤ 障がい者が生きがいを持てる機会が充実している	59.9
	5-⑥ 高齢者が生きがいを持てる機会が充実している	63.3
6 子育て支援	6-① 子どもにとって安全・安心なまちづくりをしている	⑥71.4
	6-② 保育料・教育費などの負担軽減がされている	60.9
	6-③ 町民が子どもの心を育む地域づくりをしている	61.1
	6-④ 保育園、学童保育など、保育体制が充実している	64.8
	6-⑤ 男性も子育てに参加できる環境づくりができています	53.5
	6-⑥ 子どもが楽しく過ごせるまちづくりをしている	60.1
	6-⑦ 子ども同士、親同士のネットワークづくりが充実している	50.1
	6-⑧ 子育て相談・情報提供が充実している	54.1
	6-⑨ ひとり親家庭への福祉サービスが充実している	53.7
	6-⑩ 子どもの人権・権利を守る意識の啓発活動が充実している	50.1

設問		重要度
7 教育・文化	7-① 小・中学校の学習活動が充実している	60.6
	7-② 小・中学校の施設・設備が充実している	60.7
	7-③ 誰もが学べる生涯学習の機会が充実している	55.7
	7-④ スポーツ・レクリエーション施設が整っている	52.1
	7-⑤ 文化・芸術活動の場や文化施設が整っている	49.8
	7-⑥ 娯楽やレジャーの環境が整っている	47.1
	7-⑦ 学校や地域の講座等で食育が充実している	47.1
	7-⑧ 男女共同参画や人権尊重の地域づくりができています	45.9
	7-⑨ 就学相談・教育相談等が充実している	49.0
8 地域生活	8-① 近隣の人たちと仲の良い生活ができています	65.0
	8-② 公民館活動や区・組の活動などが活発である	47.8
	8-③ 地域活動への住民参加の機会がたくさんある	40.7
	8-④ ボランティア活動が活発である	41.9
	8-⑤ 祭りやイベントが充実している	43.5
	8-⑥ 国際交流が盛んである	40.7
9 行財政	9-① 町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる	⑩69.8
	9-② 町民が意見や要望をいえる機会がある	63.3
	9-③ 役場職員の窓口や現場での対応は適切にできている	⑨70.8
	9-④ 行財政（組織や事務事業などの見直し、健全な財政）運営	63.2
	9-⑤ 国民健康保険、介護保険制度等の運営が適切にされている	65.8
	9-⑥ 町では、近隣市町村と連携し、行政運営ができています	57.4

図表 5-2 まちの各環境に関する重要度（全体）

（上位 10 項目）

	重 要 度
第1位	3-① 歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している
第2位	2-① 自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさと保全
第3位	5-② 病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である
第4位	3-④ 街路灯など、防犯の面で安心である
第5位	3-② 消防・救急体制が整っている
第6位	2-⑨ 騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない
	6-① 子どもにとって安全・安心なまちづくりをしている
第8位	3-③ 防災対策が整っている
第9位	9-③ 役場職員の窓口や現場での対応は適切にできている
第10位	2-⑧ ごみの分別収集や資源回収が進められている
	9-① 町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる

図表 5-3 まちの各環境に関する重要度（全体）



■また、地区別の重要度の上位項目をまとめると、以下のとおりとなります。

重要度の上位3項目について全体と各地区を見ると、第1位が河口湖地区（船津・小立・大石・河口・浅川）では「歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している」、勝山地区では「子どもにとって安全・安心なまちづくりをしている」、足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐）では「防災対策が整っている」、上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺）では「病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である」となっています。

また、第2位、第3位では、「街路灯など、防犯の面で安心である」と「自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさと保全」のほかに、足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐）で「消防・救急体制が整っている」と「役場職員の窓口や現場での対応は適切にできている」、上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺）で「鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい」と「食品や日用品の買い物がしやすい」があげられています。

〔図表5-4（グラフはP88～参照）〕

図表5-4 まちの各環境に関する重要度
（全体・居住地区）

【上位3項目】

（単位：評価点）

	第1位	第2位	第3位
全体	3-①歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している 6.68	3-④街路灯など、防犯の面で安心である 6.66	6-①子どもにとって安全・安心なまちづくりをしている 6.63
河口湖地区（船津・小立・大石・河口・浅川）	3-①歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している 6.77	3-④街路灯など、防犯の面で安心である 6.71	2-①自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさと保全 6.64
勝山地区	6-①子どもにとって安全・安心なまちづくりをしている 7.80	3-④街路灯など、防犯の面で安心である 7.31	2-①自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさと保全 7.17
足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐）	3-③防災対策が整っている 6.95	3-②消防・救急体制が整っている/9-③役場職員の窓口や現場での対応は適切にできている 6.75	
上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺）	5-②病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である 7.03	1-①鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい/1-③食品や日用品の買い物がしやすい 6.67	

(3) 満足度と重要度の相関（優先度）

- 優先度が最も高い項目は「街路灯など、防犯の面で安心である」。次いで「歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している」、「働く場が確保されている」の順。

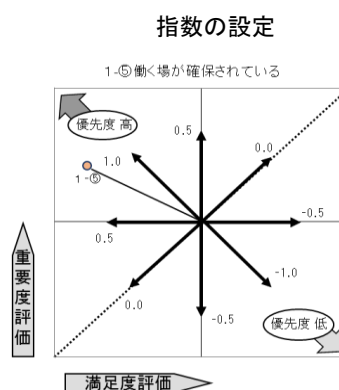
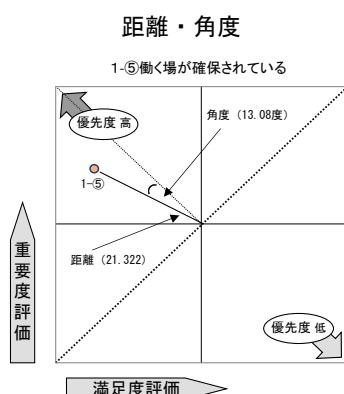
これまでみてきた満足度と重要度の分析結果を踏まえ、今後優先的に取り組むべき施策項目を抽出するための試みとして、満足度評価と重要度評価を相関させた散布図を作成しました。このグラフでは左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど優先度が高くなり、右下隅の「満足度評価最高・重要度評価最低」に近づくほど優先度が低くなります。この散布図からの数量化〔下記参照〕による分析で優先度を算出しました。

この結果をみると、優先度は、「街路灯など、防犯の面で安心である」（20.10 点）が第 1 位となっており、次いで「歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している」（19.33 点）が続き、「働く場が確保されている」（18.22 点）、以下、「鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい」（14.19 点）、「身近なところに子どもの遊び場や居場所がある」（7.63 点）などの順となっています。

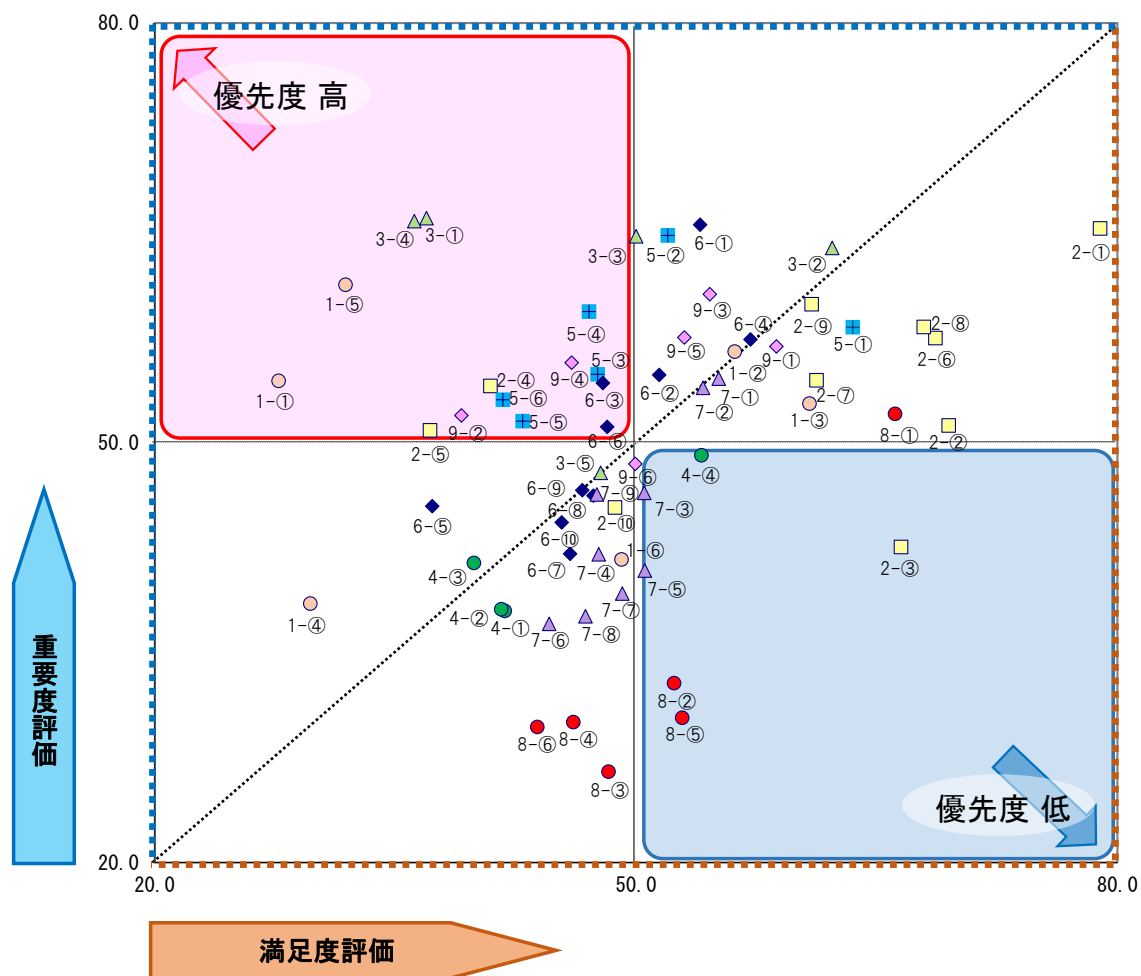
また、優先度の上位 10 項目のうち、3 項目を「安全性」分野が占め、下位 10 項目のうち、6 項目を「地域生活」分野が占めています。分野別の評価点をみると、「安全性」分野（平均 9.51 点）が最も高くなっており、「地域生活」分野（平均-8.97 点）が最も低くなっています。〔図表 6-1～4〕

※優先度の算出方法

- ① 散布図を作成するため満足度偏差値・重要度偏差値を算出する。
例：「1-⑤働く場が確保されている」→満足度偏差値 31.90…、重要度偏差値 61.27…
- ② ①で算出した偏差値から平均（中心）からの距離を算出する。
例：「1-⑤働く場が確保されている」→ $21.322 \dots = \sqrt{(31.90-50)^2 + (61.27-50)^2}$
- ③ 平均（中心）から「満足度評価最低・重要度評価最高」への線と平均（中心）から各項目への線の角度を求める。
例：「1-⑤働く場が確保されている」→13.08 度
- ④ ③で求められた角度より修正指数を算出する（指数は下記のとおり設定し、左上隅の「満足度評価最低・重要度評価最高」に近づくほど得点が高くなる）。
例：「1-⑤働く場が確保されている」→ $0.8547 = (90-13.08) \times (1 \div 90)$
- ⑤ ②で算出された平均（中心）からの距離と④で算出された修正指数から優先度を算出する。
例：「1-⑤働く場が確保されている」→ $18.22 = 21.322 \dots \times 0.8547 \dots$



図表 6－1 満足度と重要度の相関（全体／優先度）



- | | | | |
|----------------|---------------|---------------|----------------|
| ○ 1-①～⑥: 利便性 | □ 2-①～⑩: 快適性 | △ 3-①～⑤: 安全性 | ● 4-①～④: 産業・観光 |
| ■ 5-①～⑥: 保険・福祉 | ◆ 6①～⑥: 子育て支援 | ▲ 7①～⑨: 教育・文化 | ● 8①～⑥: 地域生活 |
| | | | ◇ 9①～⑥: 行財政 |

図表 6－2 優先度（全体）

設問		優先度
1 利便性	1-① 鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい	④14.19
	1-② 道路が便利である	0.16
	1-③ 食品や日用品の買い物がしやすい	-3.78
	1-④ 衣料品や電化製品などの買い物がしやすい	4.01
	1-⑤ 働く場が確保されている	③18.22
	1-⑥ 情報基盤（インターネット環境など）が充実している	-3.63
2 快適性	2-① 自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさと保全	-6.23
	2-② 田園風景など景観が良い	-8.98
	2-③ 住宅や宅地に恵まれている	-13.23
	2-④ 身近なところに子どもの遊び場や居場所がある	⑤7.63
	2-⑤ ゆったりと過ごせる公園などがある	⑦7.00
	2-⑥ 水道の整備が進んでいる	-5.18
	2-⑦ 下水道（合併処理浄化槽など）の整備が進んでいる	-3.15
	2-⑧ ごみの分別収集や資源回収が進められている	-4.44
	2-⑨ 騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない	-0.48
	2-⑩ 住宅地、商業地、工業地、農地、緑地等が適切に配置されている	-1.56
3 安全性	3-① 歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している	②19.33
	3-② 消防・救急体制が整っている	0.76
	3-③ 防災対策が整っている	⑥7.37
	3-④ 街路灯など、防犯の面で安心である	①20.10
	3-⑤ 消費者への振り込め詐欺など悪徳商法に対する相談体制が整っている	0.02
4 産業・観光	4-① 農林水産・畜産業（担い手の育成、農地の整備など）の振興	-1.74
	4-② 商業（商業地域の形成や事業者への支援）の振興	-1.59
	4-③ 工業（既存企業の育成・支援）の振興や企業誘致	0.68
	4-④ 観光資源の発掘やPR	-3.61
5 保健・福祉	5-① 健康診断や保健指導の体制が充実している	-2.40
	5-② 病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	6.20
	5-③ 障がい者のための施設・福祉サービスが充実している	4.28
	5-④ 高齢者のための施設・福祉サービスが充実している	⑧6.81
	5-⑤ 障がい者が生きがいを持てる機会が充実している	4.60
	5-⑥ 高齢者が生きがいを持てる機会が充実している	⑩6.41
6 子育て支援	6-① 子どもにとって安全・安心なまちづくりをしている	5.48
	6-② 保育料・教育費などの負担軽減がされている	1.61
	6-③ 町民が子どもの心を育む地域づくりをしている	3.73
	6-④ 保育園、学童保育など、保育体制が充実している	0.11
	6-⑤ 男性も子育てに参加できる環境づくりができています	3.80
	6-⑥ 子どもが楽しく過ごせるまちづくりをしている	1.82
	6-⑦ 子ども同士、親同士のネットワークづくりが充実している	-1.74
	6-⑧ 子育て相談・情報提供が充実している	-0.49
	6-⑨ ひとり親家庭への福祉サービスが充実している	-0.02
	6-⑩ 子どもの人権・権利を守る意識の啓発活動が充実している	-0.47

設問		優先度
7 教育・文化	7-① 小・中学校の学習活動が充実している	-0.27
	7-② 小・中学校の施設・設備が充実している	-0.12
	7-③ 誰もが学べる生涯学習の機会が充実している	-2.14
	7-④ スポーツ・レクリエーション施設が整っている	-2.66
	7-⑤ 文化・芸術活動の場や文化施設が整っている	-4.93
	7-⑥ 娯楽やレジャーの環境が整っている	-3.48
	7-⑦ 学校や地域の講座等で食育が充実している	-4.87
	7-⑧ 男女共同参画や人権尊重の地域づくりができています	-4.38
	7-⑨ 就学相談・教育相談等が充実している	-0.58
8 地域生活	8-① 近隣の人たちと仲の良い生活ができています	-6.83
	8-② 公民館活動や区・組の活動などが活発である	-10.19
	8-③ 地域活動への住民参加の機会がたくさんある	-10.70
	8-④ ボランティア活動が活発である	-7.66
	8-⑤ 祭りやイベントが充実している	-11.77
	8-⑥ 国際交流が盛んである	-6.65
9 行財政	9-① 町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる	-0.85
	9-② 町民が意見や要望をいえる機会がある	96.77
	9-③ 役場職員の窓口や現場での対応は適切にできている	2.77
	9-④ 行財政（組織や事務事業などの見直し、健全な財政）運営	6.21
	9-⑤ 国民健康保険、介護保険制度等の運営が適切にされている	2.08
	9-⑥ 町では、近隣市町村と連携し、行政運営ができています	-0.74

図表 6－3 優先度（全体）

【上位 10 項目】

（単位：評価点）

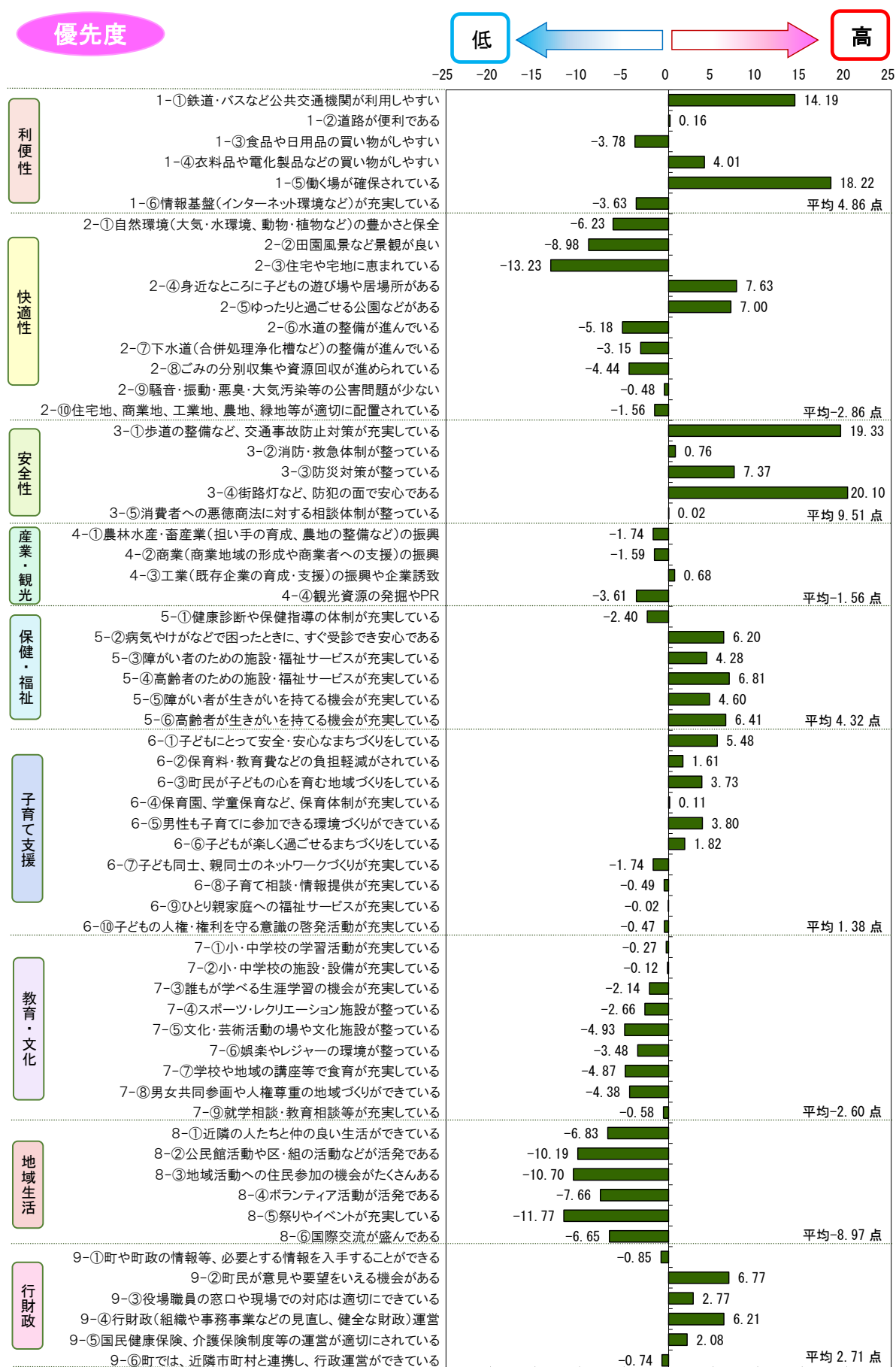
	優 先 度	評価点
第1位	3-④街路灯など、防犯の面で安心である	20.10
第2位	3-①歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している	19.33
第3位	1-⑤働く場が確保されている	18.22
第4位	1-①鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい	14.19
第5位	2-④身近なところに子どもの遊び場や居場所がある	7.63
第6位	3-③防災対策が整っている	7.37
第7位	2-⑤ゆったりと過ごせる公園などがある	7.00
第8位	5-④高齢者のための施設・福祉サービスが充実している	6.81
第9位	9-②市民が意見や要望をいえる機会がある	6.77
第10位	5-⑥高齢者が生きがいを持てる機会が充実している	6.41

【下位 10 項目】

（単位：評価点）

	優 先 度	評価点
第1位	2-③住宅や宅地に恵まれている	-13.23
第2位	8-⑤祭りやイベントが充実している	-11.77
第3位	8-③地域活動への住民参加の機会がたくさんある	-10.70
第4位	8-②公民館活動や区・組の活動などが活発である	-10.19
第5位	2-②田園風景など景観が良い	-8.98
第6位	8-④ボランティア活動が活発である	-7.66
第7位	8-①近隣の人たちと仲の良い生活ができている	-6.83
第8位	8-⑥国際交流が盛んである	-6.65
第9位	2-①自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさと保全	-6.23
第10位	2-⑥水道の整備が進んでいる	-5.18

図表 6－4 満足度と重要度の相関（全体／優先度）



5 まちの将来像（あるべき姿）について

問6 10年後のまちの将来像（あるべき姿）についておたずねします。あなたは富士河口湖町がどんなまちになればよいと思いますか。（3つまで○印）



- 「水と緑と大地の豊かな自然環境のあるまち」（50.3%）が第1位、次いで「医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち」（43.1%）、「高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち」（42.2%）の順。

10年後のまちの将来像（あるべき姿）についてたずねたところ、「水と緑と大地の豊かな自然環境のあるまち」（50.3%）が第1位、次いで「医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち」（43.1%）、「高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち」（42.2%）、「子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち」（29.0%）、「行政サービスが充実した安定性・自立性の高いまち」（20.4%）などの順となっています。〔図表7〕

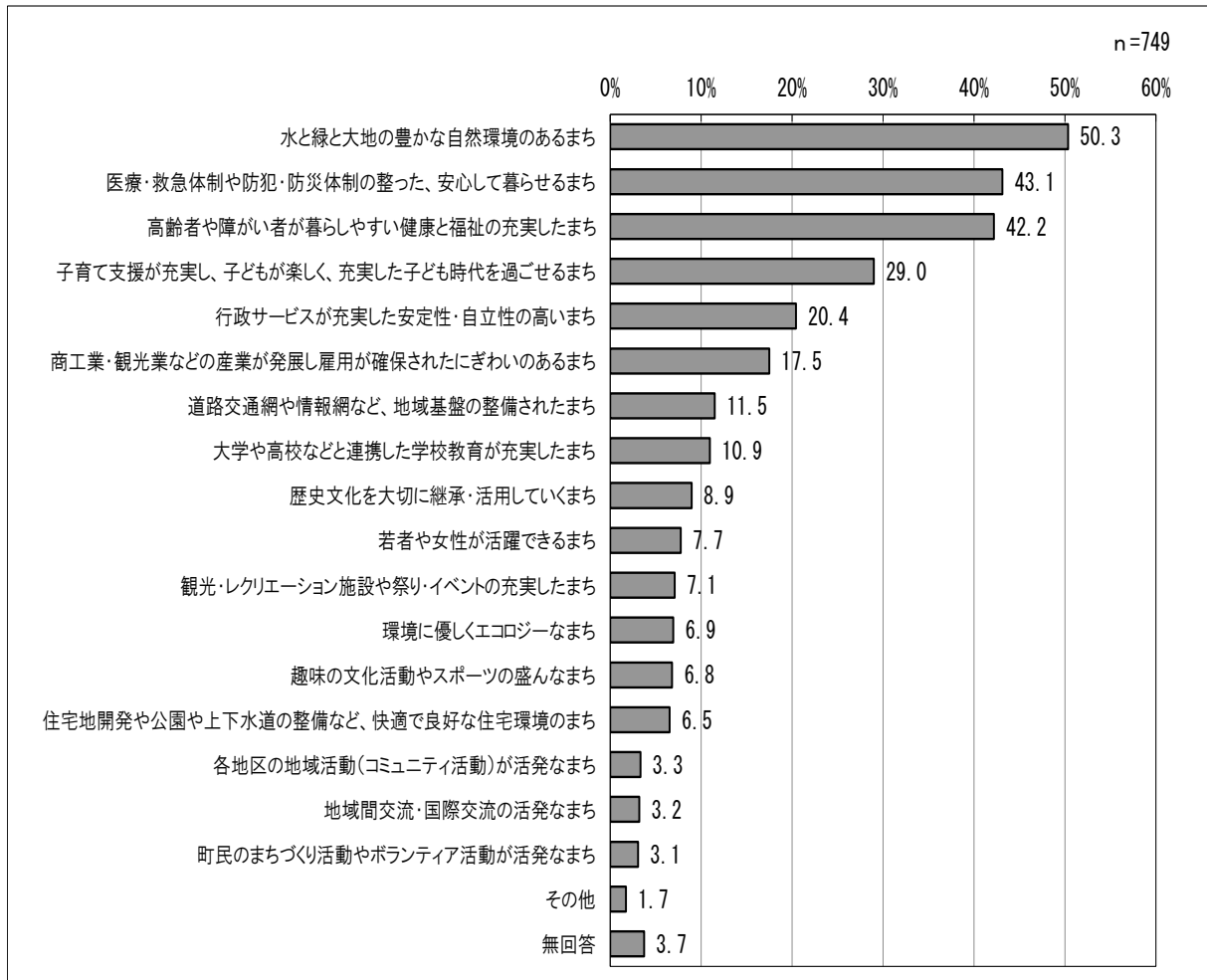
性別でみると、第1位は男性が「水と緑と大地の豊かな自然環境のあるまち」、女性が「医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち」となっています。

年齢でみると、10・20歳代、60歳代、70歳代では「水と緑と大地の豊かな自然環境のあるまち」が第1位に、また、30歳代では「子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち」、40歳代、50歳代では「医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち」、80歳以上では「高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち」が第1位となっています。

地域別にみると、河口湖地区（船津・小立・大石・河口・浅川）、勝山地区、上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺）では「水と緑と大地の豊かな自然環境のあるまち」が第1位（勝山地区では「医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち」も同率第1位）となっており、足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐）では「医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち」が第1位となっています。

〔図表7-1〕

図表7 まちの将来像（あるべき姿）について
（全体／複数回答：3つまで）



図表 7-1 まちの将来像（あるべき姿）について
（全体・性別・年齢・居住地区／複数回答：3つまで）

（上位3位、単位：％）

		第1位	第2位	第3位
全体		水と緑と大地の豊かな自然環境のあるまち	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち
		50.3%	43.1%	42.2%
性別	男性	水と緑と大地の豊かな自然環境のあるまち	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち
		56.3%	38.3%	34.0%
	女性	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち	水と緑と大地の豊かな自然環境のあるまち	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち
		48.8%	48.4%	44.4%
年齢	10・20 歳代	水と緑と大地の豊かな自然環境のあるまち	子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち
		66.0%	42.0%	24.0%
	30 歳代	子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち	水と緑と大地の豊かな自然環境のあるまち	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち
		59.3%	47.3%	35.2%
	40 歳代	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち	水と緑と大地の豊かな自然環境のあるまち	子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち
		46.4%	42.3%	33.0%
	50 歳代	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち	水と緑と大地の豊かな自然環境のあるまち/高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち	
		50.7%	50.0%	
	60 歳代	水と緑と大地の豊かな自然環境のあるまち	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち
		52.5%	49.4%	48.1%
	70 歳代	水と緑と大地の豊かな自然環境のあるまち	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち
		54.0%	49.2%	39.5%
	80 歳以上	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち	水と緑と大地の豊かな自然環境のあるまち	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち
		57.1%	47.6%	44.0%

		第1位	第2位	第3位
居住地区	河口湖地区(船津・小立・大石・河口・浅川)	水と緑と大地の豊かな自然環境のあるまち	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち
		50.9%	43.4%	42.7%
	勝山地区	水と緑と大地の豊かな自然環境のあるまち/医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち		高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち
			46.6%	42.5%
	足和田地区(長浜・西湖・根場・大嵐)	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち	水と緑と大地の豊かな自然環境のあるまち
		46.2%	42.3%	40.4%
	上九一色地区(精進・本栖・富士ヶ嶺)	水と緑と大地の豊かな自然環境のあるまち	高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち	医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち
		61.5%	35.9%	30.8%

6 あなたの生活や地域のことについて

問7 あなたの生活や地域のことについて、おたずねします。

この1年くらいのことをふりかえてみてお答えください。（1つに○印）

1) 健康づくりに取り組んでいますか。

● 健康づくりに取り組んでいる人は53.4%。

健康づくりに取り組んでいる人は、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせて53.4%、「あまり取り組んでいない」、「取り組んでいない」をあわせて36.2%となっています。

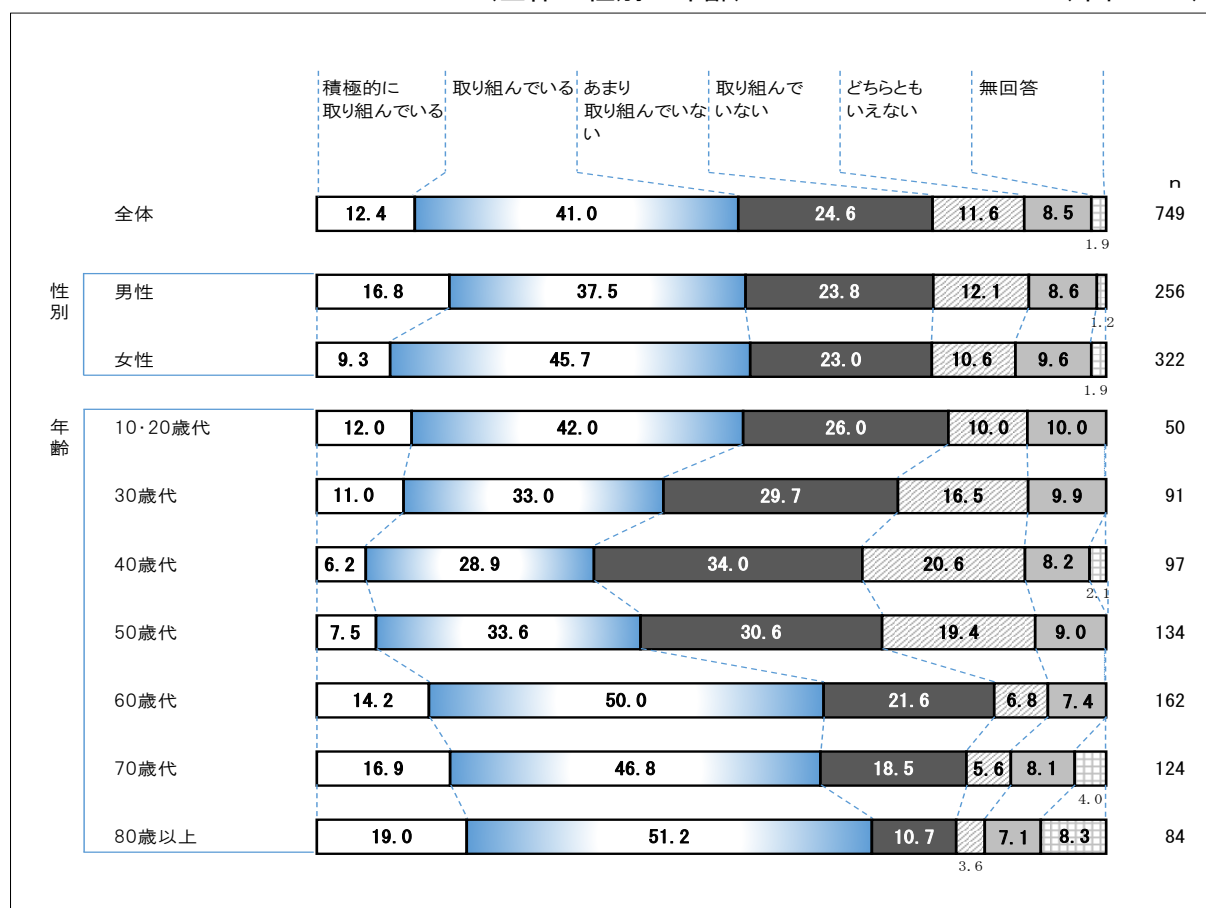
性別でみると、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせた率では、ほとんど違いはありません。

年齢でみると、全体と比べ、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせた率では、80歳以上（70.2%）、60歳代（64.2%）、70歳代（63.7%）が高くなっており、40歳代（35.1%）、50歳代（41.0%）、30歳代（44.0%）が低くなっています。〔図表8〕

図表8 健康づくりへの取り組み

（全体・性別・年齢）

（単位：％）



2) 健康維持のため、各種健康診断や健康相談を受けていますか。

- 健康維持のため、各種健康診断や健康相談を受けている人は 77.3%。

各種健康診断や健康相談を受けている人は、「年に数回は受けている」、「年に一度は受けている」が合わせて 77.3%、「受ける必要がない（健康である）」、「受けたことがない」が合わせて 20.2%となっています。

性別でみると、「年に数回は受けている」、「年に一度は受けている」を合わせた率では、男性（79.7%）が女性（76.1%）をわずかに上回っています。

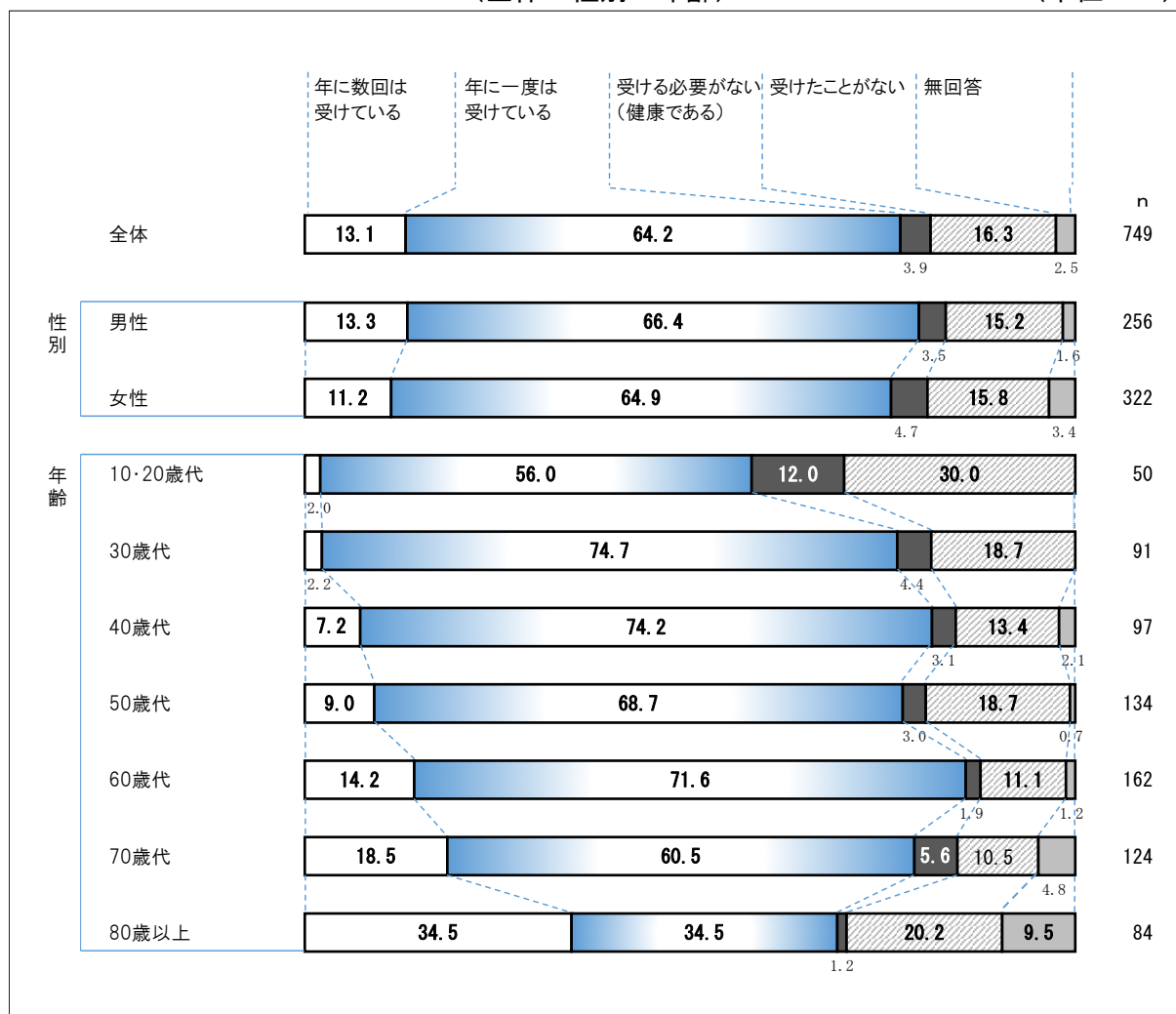
年齢でみると、全体と比べ、「年に数回は受けている」、「年に一度は受けている」を合わせた率では、60 歳代（85.8%）、40 歳代（81.4%）、70 歳代（79.0%）が高くなっており、10・20 歳代（58.0%）、80 歳以上（69.0%）が低くなっています。

〔図表 9〕

図表 9 健康診断や相談の受診

（全体・性別・年齢）

（単位：％）



3) スポーツ活動（ウォーキング等、軽スポーツ・運動を含む）に、どれくらい取り組んでいますか。



● スポーツ活動に週 1 回以上取り組んでいる人は 39.0%。

スポーツ活動に取り組んでいる人は、「週2回以上」、「週1回程度」があわせて 39.0%、「月2回程度」、「月1回程度」があわせて 13.0%、「ほとんど取り組んでいない」が 45.5%となっています。

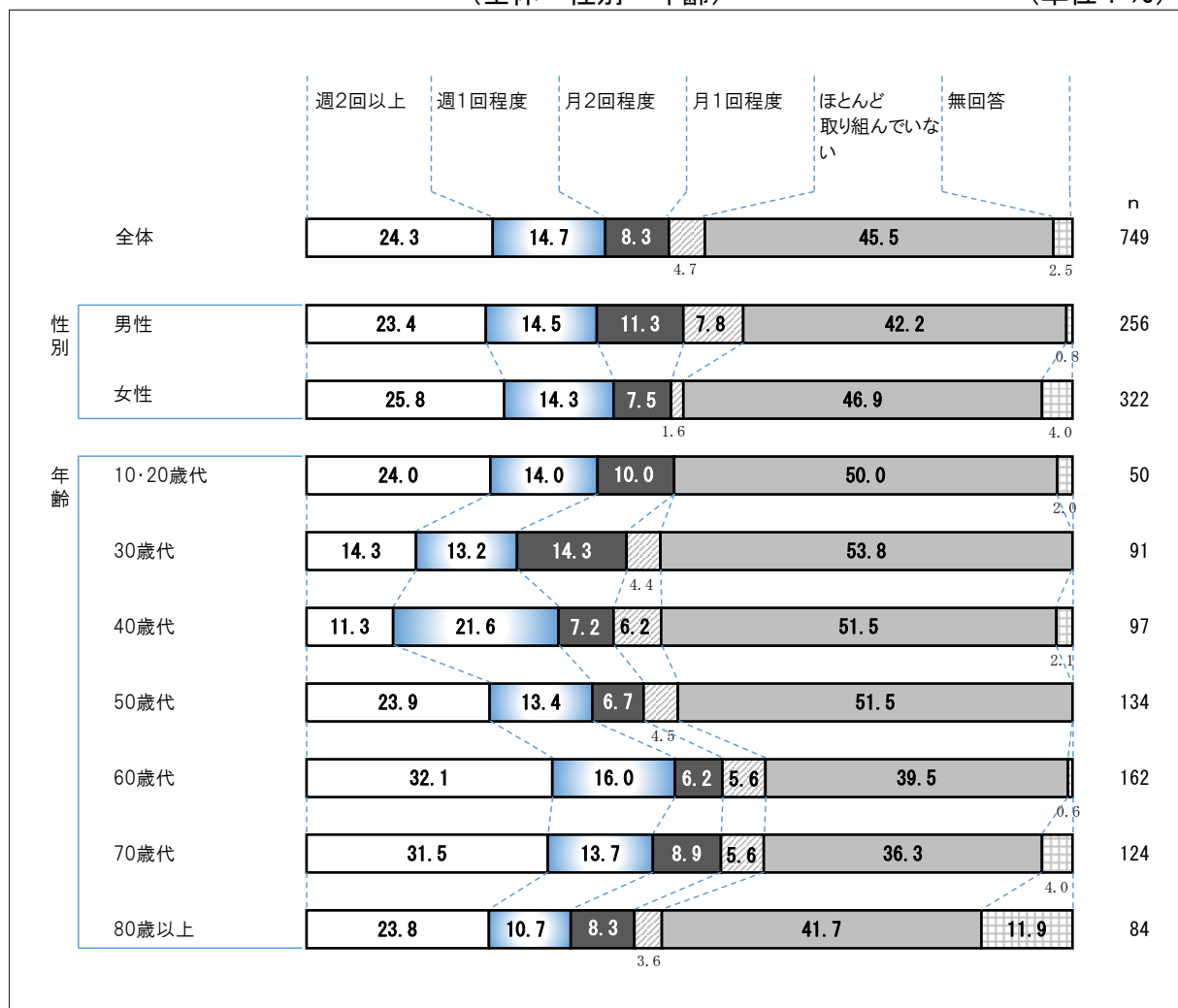
性別でみると、「週2回以上」、「週1回程度」をあわせた率では、女性（40.1%）が男性（37.9%）をわずかに上回っています。

年齢でみると、全体と比べ、「週2回以上」、「週1回程度」をあわせた率では、60 歳代（48.1%）、70 歳代（45.2%）が高くなっており、30 歳代（27.5%）、40 歳代（33.0%）、80 歳以上（34.5%）が低くなっています。[図表 10]

図表 10 スポーツ活動への取り組み

（全体・性別・年齢）

（単位：％）



4) 地域の公園を利用していますか。

- 地域の公園を利用する人は 26.7%。

地域の公園を利用する人は、「よく利用する」、「たまに利用する」をあわせて 26.7%、「あまり利用しない」が 31.1%、「利用したことがない」が 39.9%となっています。

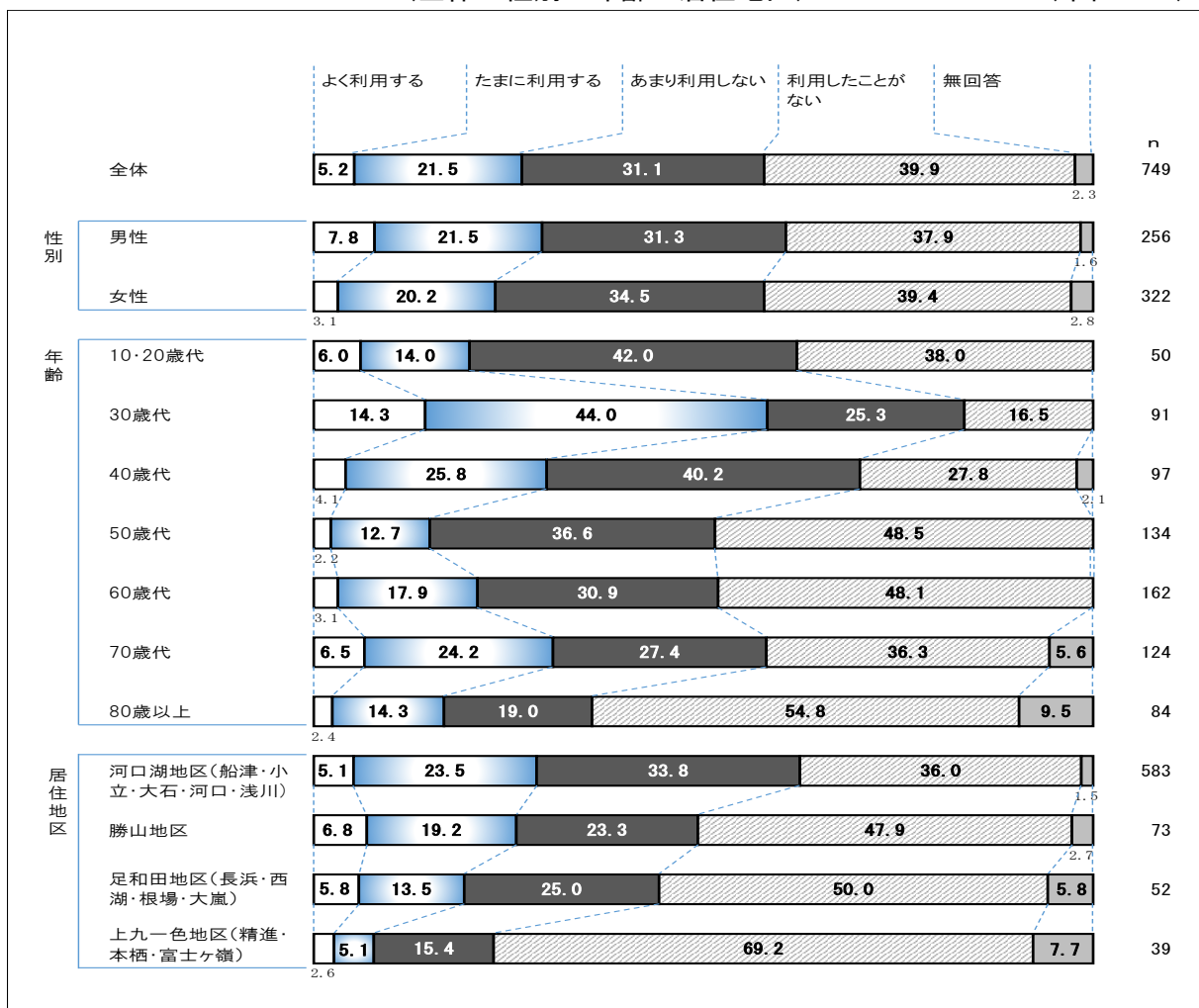
性別でみると、「よく利用する」、「たまに利用する」をあわせた率では、男性(29.3%)が女性(23.3%)を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「よく利用する」、「たまに利用する」をあわせた率では、30 歳代(58.2%)が高くなっており、50 歳代(14.9%)と 80 歳以上(16.7%)、10・20 歳代(20.0%)、60 歳代(21.0%)が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「よく利用する」、「たまに利用する」をあわせた率では、河口湖地区(船津・小立・大石・河口・浅川)(28.6%)が高くなっており、上九一色地区(精進・本栖・富士ヶ嶺)(7.7%)、足和田地区(長浜・西湖・根場・大嵐)(19.2%)が低くなっています。[図表 11]

図表 11 地域の公園の利用
(全体・性別・年齢・居住地区)

(単位：%)



5) ふだん公共の交通機関を利用していますか。

● 公共交通機関を利用する人は 23.6%。

公共交通機関を利用する人は、「よく利用する」、「たまに利用する」をあわせて 23.6%、「あまり利用しない」が 39.3%、「利用したことがない」が 35.8%となっています。

性別でみると、「よく利用する」、「たまに利用する」をあわせた率では、女性(26.4%)が男性(20.7%)を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「よく利用する」、「たまに利用する」をあわせた率では、10・20 歳代(42.0%)が高くなっており、60 歳代(18.5%)、40 歳代(19.6%)が低くなっています。

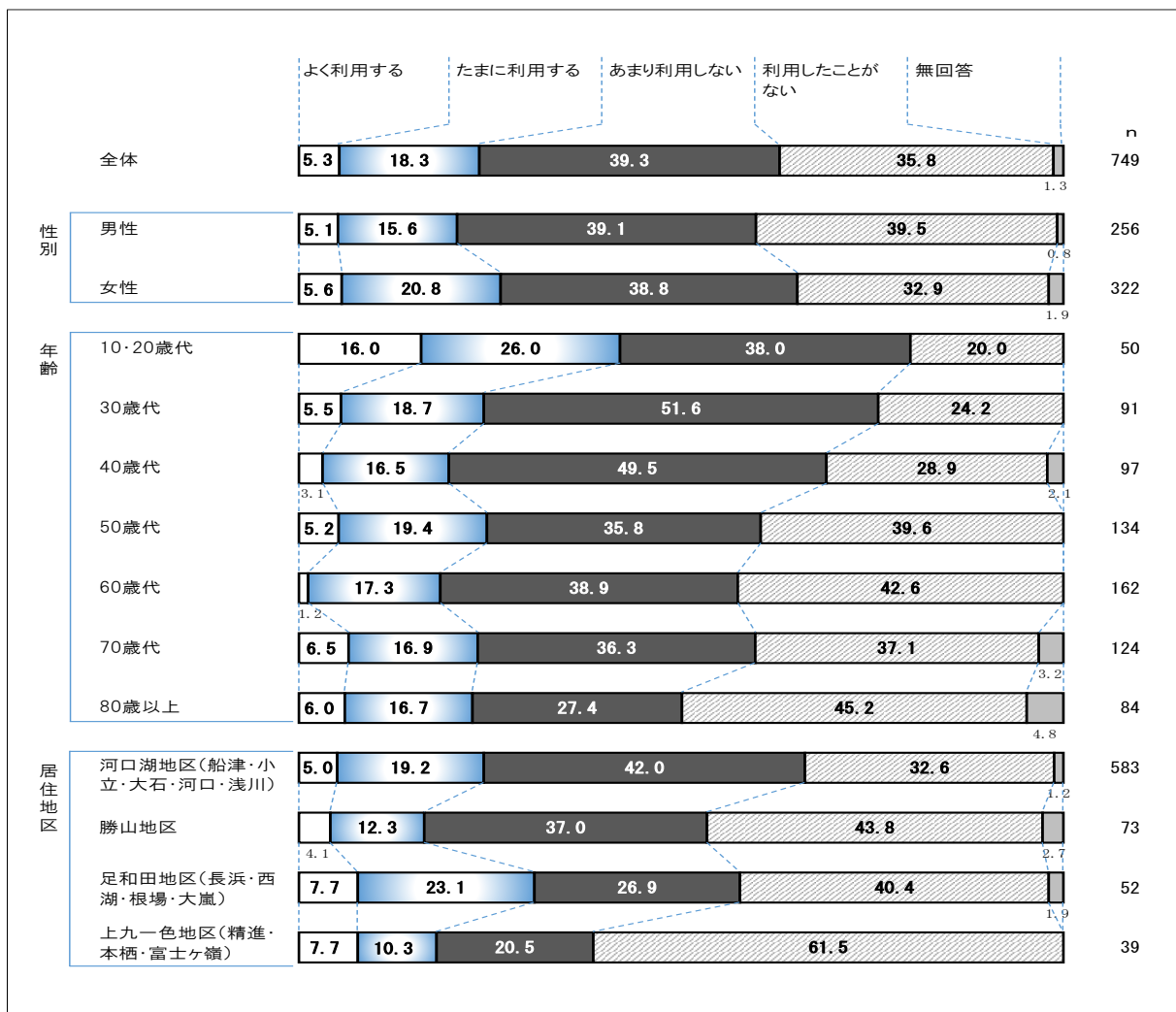
居住地区でみると、全体と比較して、「よく利用する」、「たまに利用する」をあわせた率では、足和田地区(長浜・西湖・根場・大嵐)(30.8%)が高くなっており、勝山地区(16.4%)と上九一色地区(精進・本栖・富士ヶ嶺)(17.9%)が低くなっています。

[図表 12]

図表 12 公共交通機関の利用

(全体・性別・年齢・居住地区)

(単位：%)



6) 開発行為や土地の売買、利用にあたっては、自然環境との調和を図っていますか。

● 自然環境との調和を図っている人は22.0%。

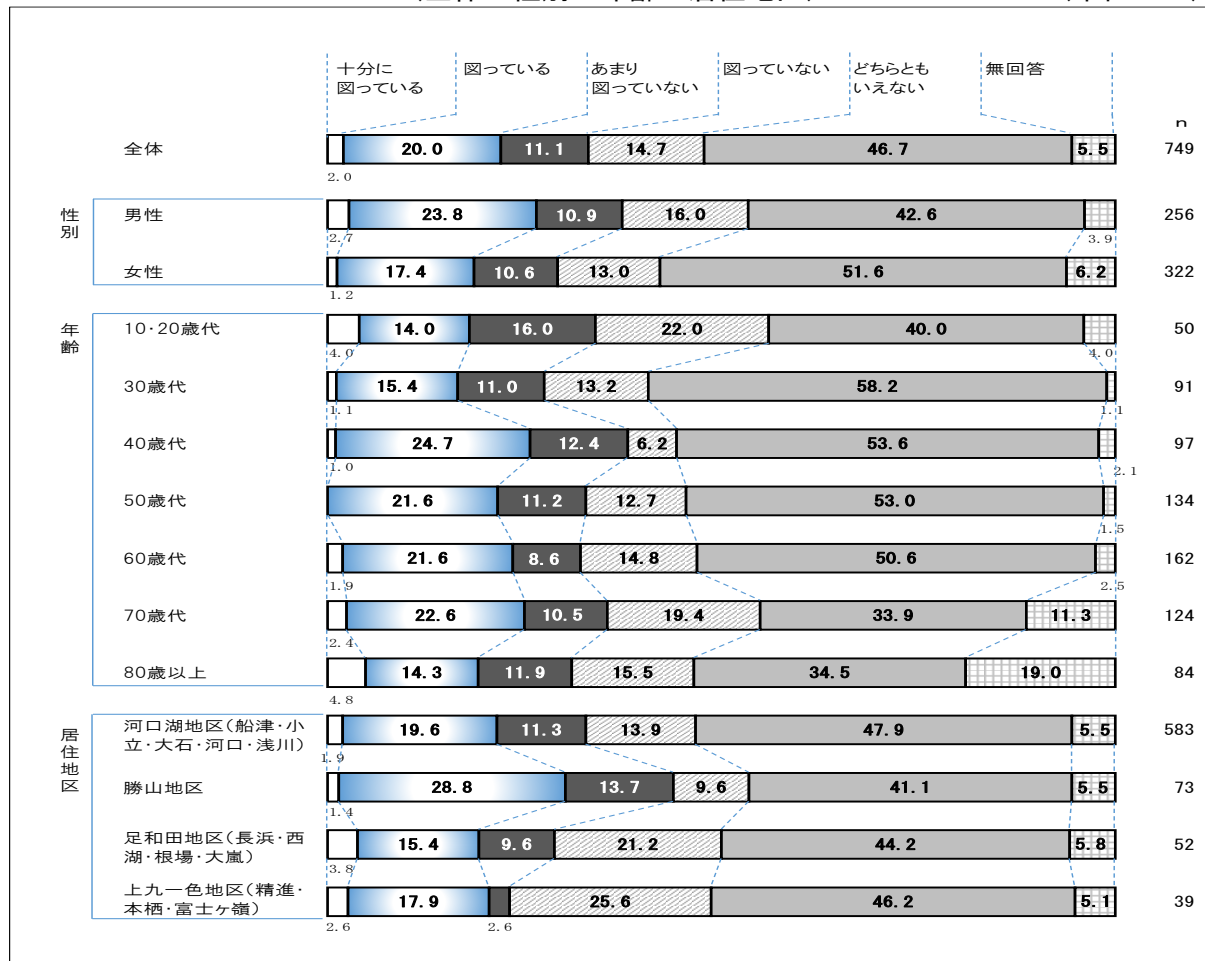
自然環境との調和を図っている人は、「十分に図っている」、「図っている」をあわせて22.0%、「あまり図っていない」、「図っていない」をあわせて25.8%、「どちらともいえない」が46.7%となっています。

性別でみると、「十分に図っている」、「図っている」をあわせた率では、男性(26.6%)が女性(18.6%)を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「十分に図っている」、「図っている」をあわせた率では、40歳代(25.8%)、70歳代(25.0%)、60歳代(23.5%)が高くなっており、30歳代(16.5%)と10・20歳代(18.0%)、80歳以上(19.0%)が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「十分に図っている」、「図っている」をあわせた率では、勝山地区(30.1%)が高くなっており、足和田地区(長浜・西湖・根場・大嵐)(19.2%)が低くなっています。[図表13]

図表13 自然環境との調和
(全体・性別・年齢・居住地区) (単位：%)



7) 地域では、住宅の新築、建て替えなどの際、地域の景観に配慮した住環境づくりをしていますか。

● 景観に配慮した住環境づくりをしている人は 29.0%。

景観に配慮した住環境づくりをしている人は、「十分に配慮している」、「配慮している」があわせて 29.0%、「あまり配慮していない」、「配慮していない」があわせて 25.0%、「どちらともいえない」が 41.8%となっています。

性別でみると、「十分に配慮している」、「配慮している」をあわせた率では、男性（30.9%）が女性（25.8%）を上回っています。

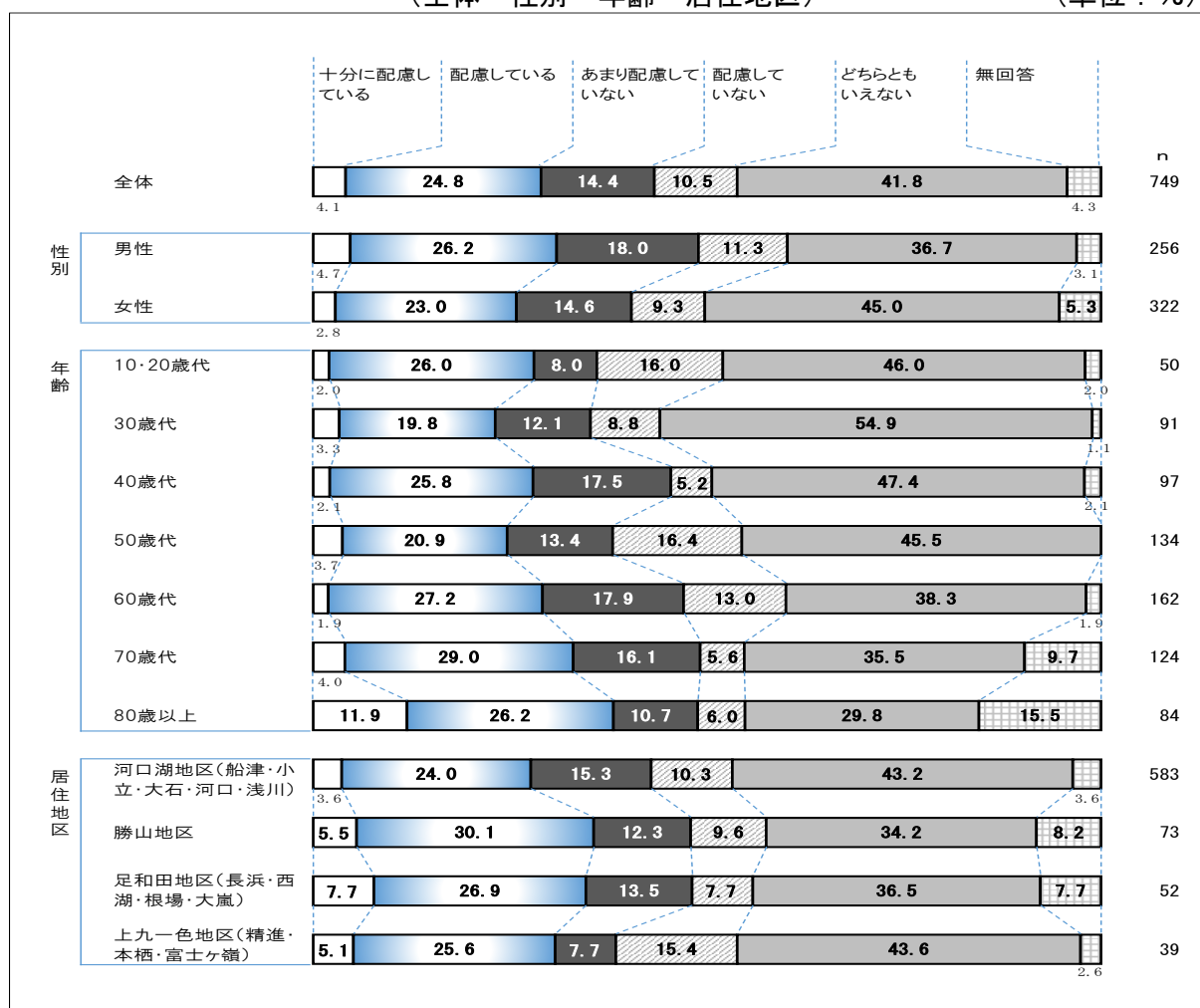
年齢でみると、全体と比較して、「十分に配慮している」、「配慮している」をあわせた率では、80歳以上（38.1%）と70歳代（33.1%）が高くなっており、30歳代（23.1%）と50歳代（24.6%）が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「十分に配慮している」、「配慮している」をあわせた率では、勝山地区（35.6%）と足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐）（34.6%）が高くなっています。[図表 14]

図表 14 景観に配慮した住環境づくり

（全体・性別・年齢・居住地区）

（単位：％）



8) 美しい道や安全で快適な道路環境づくりのため、道路沿いのゴミ拾い・草刈り等、道路整備のボランティア等に積極的に参加したいと思いますか。

● 美しい道や安全で快適な道路環境づくりに参加したいと思う人は 48.7%。

美しい道や安全で快適な道路環境づくりに参加したいと思う人は、「積極的に参加したい」、「参加したい」をあわせて 48.7%、「あまり参加したくない」、「参加したくない」をあわせて 16.8%、「どちらともいえない」が 32.3%となっています。

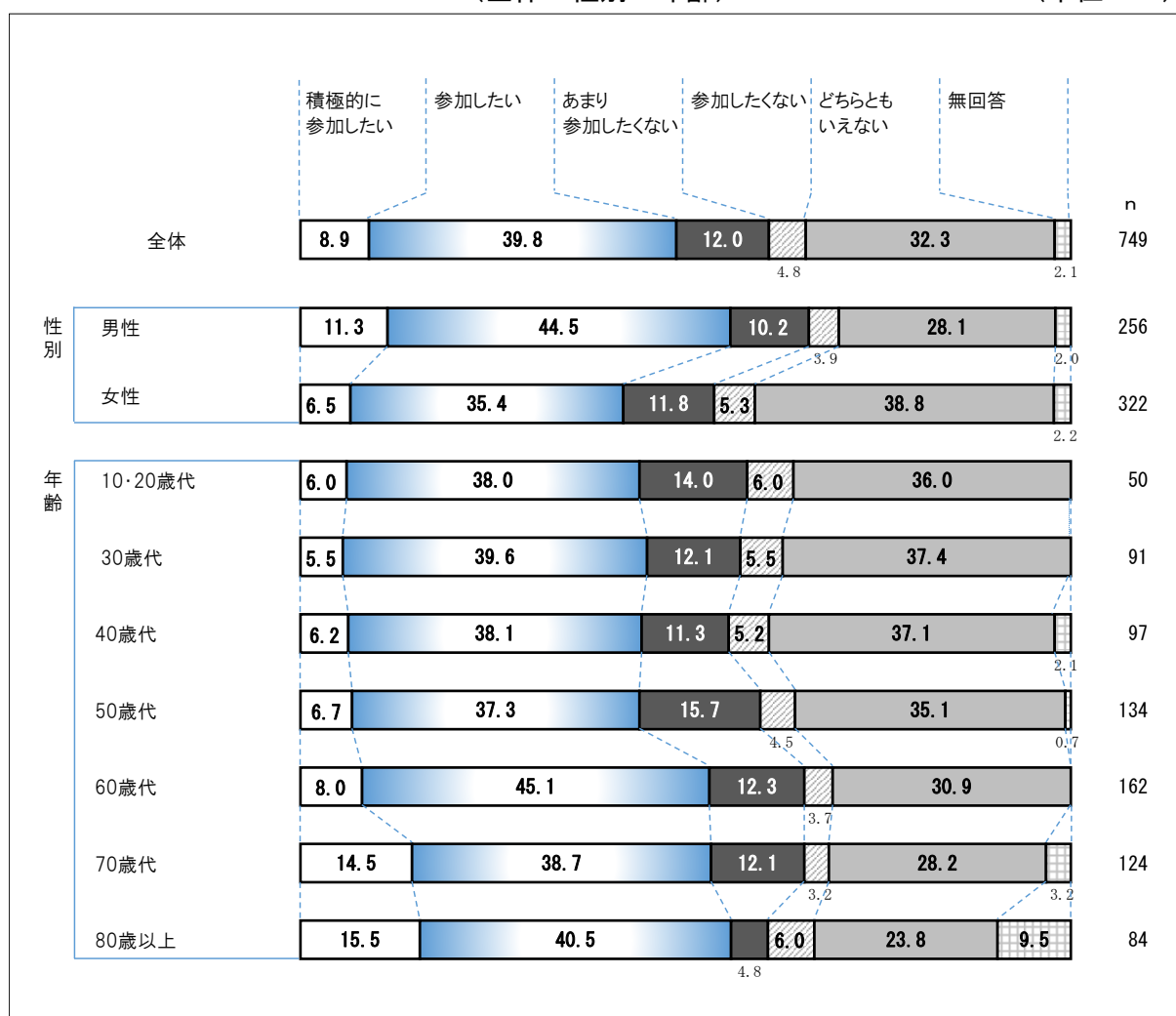
性別でみると、「積極的に参加したい」、「参加したい」をあわせた率では、男性（55.9%）が女性（41.9%）を大きく上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に参加したい」、「参加したい」をあわせた率では、60歳代以上が高くなっており、50歳代以下が低くなっています。[図表 15]

図表 15 道路環境づくりに参加

（全体・性別・年齢）

（単位：％）



9) まちの景観の保全のためにゴミ拾いなどの活動をしていますか。

● まちの景観の保全のためにゴミ拾いなどの活動をしている人は56.1%。

まちの景観の保全のためにゴミ拾いなどの活動している人は、「積極的にしている」、「たまにしている」をあわせて56.1%、「あまりしていない」が24.4%、「したことがない」が17.4%となっています。

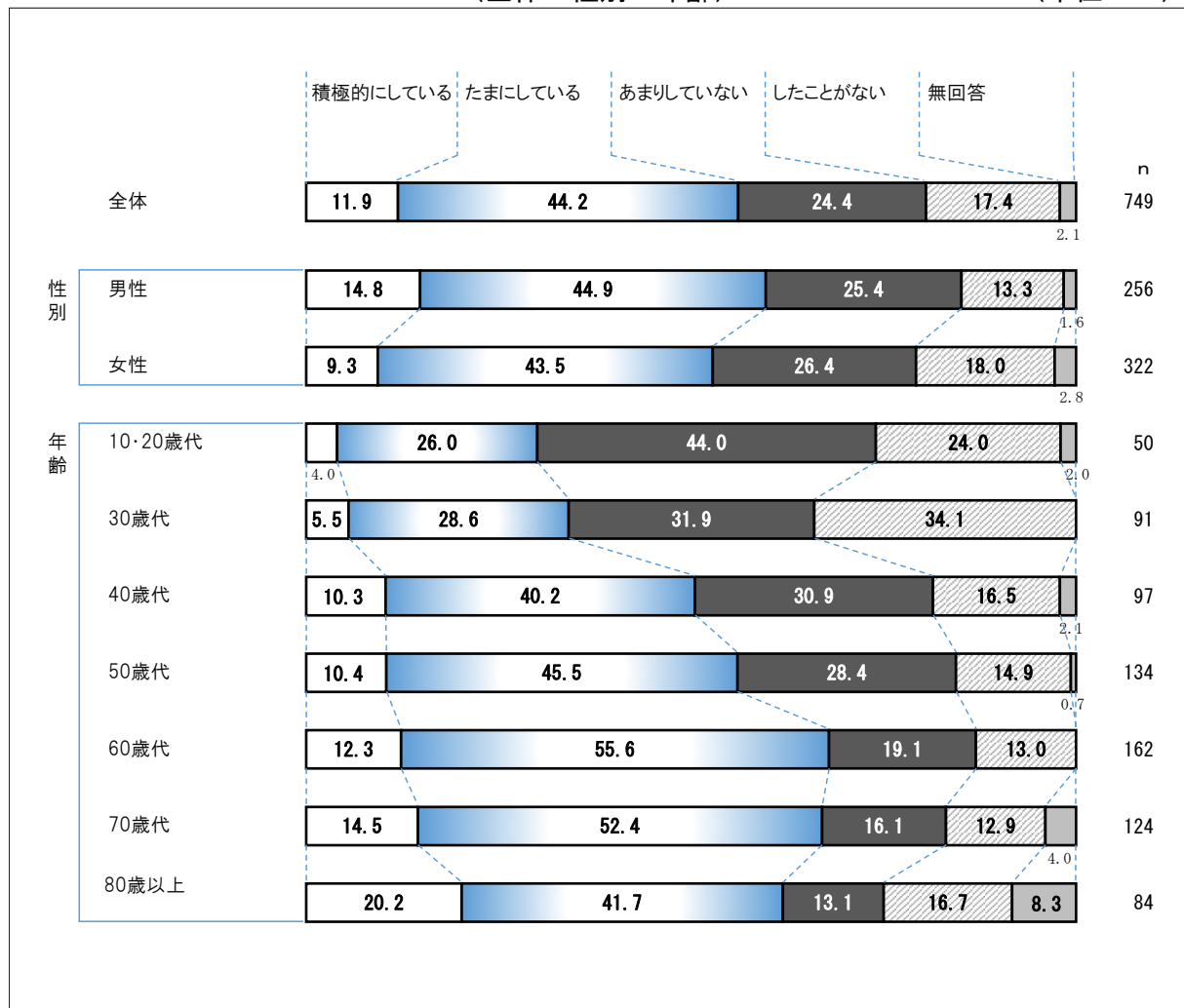
性別でみると、「積極的にしている」、「たまにしている」をあわせた率では、男性（59.8%）が女性（52.8%）を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的にしている」、「たまにしている」をあわせた率では、60歳代以上が高くなっており、40歳代以下が低くなっています。[図表 16]

図表 16 まちの景観保全のためにゴミ拾いなどの活動をしているか

(全体・性別・年齢)

(単位：%)



10) 本町は、河口湖・西湖・精進湖・本栖湖の富士五湖の内4湖が存在していますが、湖の保全のため、湖畔清掃活動等に参加したことがありますか。

● 湖の保全のため、湖畔清掃活動等に参加している人は38.5%。

湖の保全のため、湖畔清掃活動等に参加している人は、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせて38.5%、「あまり参加しない」が21.6%、「参加したことがない」が38.2%となっています。

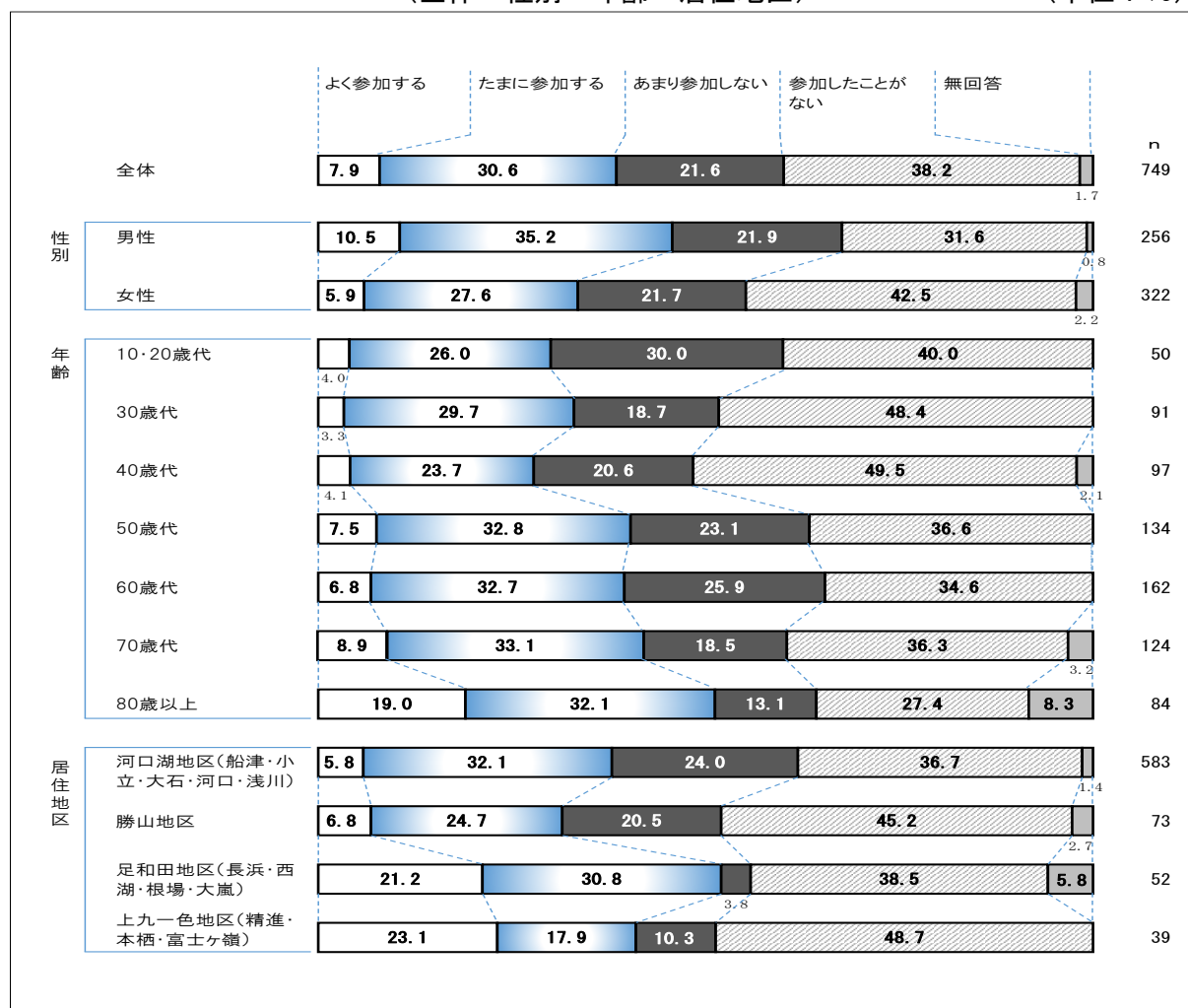
性別でみると、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた率では、男性(45.7%)が女性(33.5%)を大きく上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた率では、50歳代以上が高くなっており、40歳代以下が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた率では、足和田地区(長浜・西湖・根場・大嵐)(51.9%)、上九一色地区(精進・本栖・富士ヶ嶺)(41.0%)が高くなっており、勝山地区(31.5%)が低くなっています。

[図表 17]

図表 17 湖の保全のため、湖畔清掃活動等に参加したことがあるか
(全体・性別・年齢・居住地区) (単位：%)



11) 家庭では節水に配慮していますか。

● 家庭での節水に配慮している人は 75.0%。

家庭での節水に配慮している人は、「十分に配慮している」、「配慮している」をあわせて 75.0%、「あまり配慮していない」、「配慮していない」をあわせて 16.7%、「どちらともいえない」が 6.5%となっています。

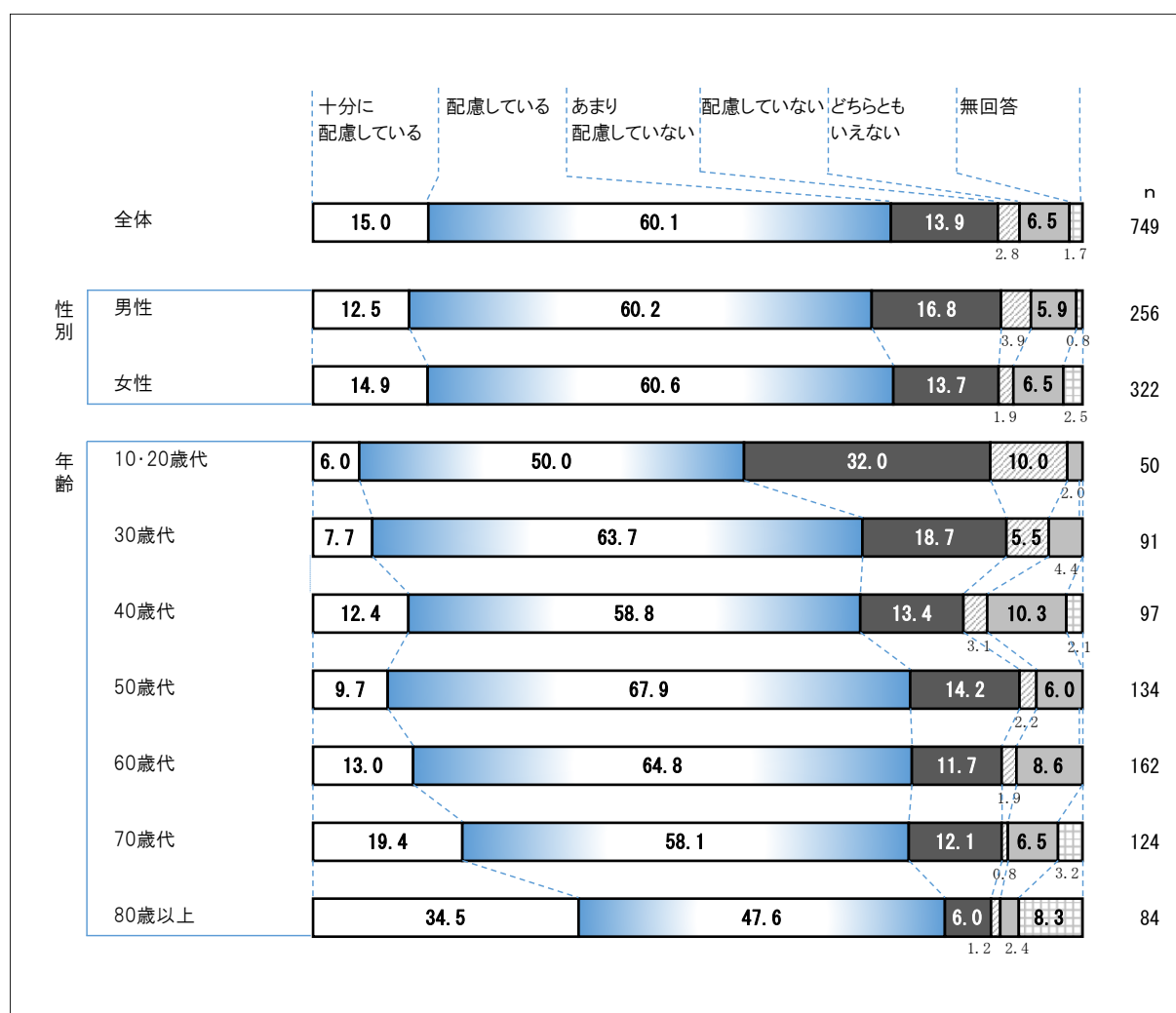
性別でみると、「十分に配慮している」、「配慮している」をあわせた率では、女性（75.5%）が男性（72.7%）をわずかに上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「十分に配慮している」、「配慮している」をあわせた率では、50 歳代以上が高くなっており、40 歳代以下が低くなっています。[図表 18]

図表 18 家庭では節水に配慮しているか

（全体・性別・年齢）

（単位：％）



12) 台所の野菜クズやお風呂場の髪の毛等、汚物を流さないように対策し、生活排水の処理について配慮していますか。

● 生活排水の処理について配慮している人は 86.5%。

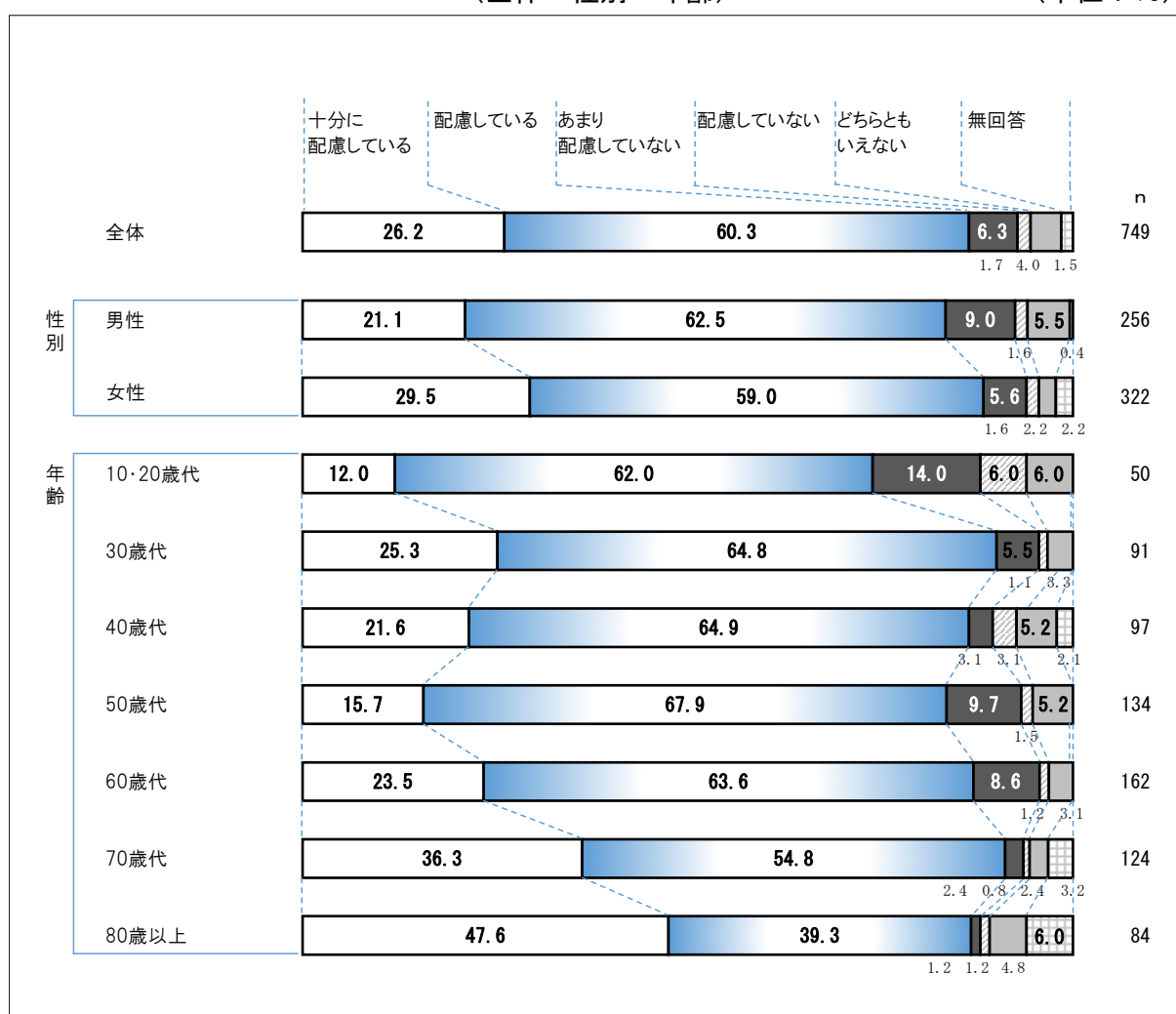
生活排水の処理について配慮している人は、「十分に配慮している」、「配慮している」があわせて 86.5%、「あまり配慮していない」、「配慮していない」があわせて 8.0%、「どちらともいえない」が 4.0%となっています。

性別でみると、「十分に配慮している」、「配慮している」をあわせた率では、女性（88.5%）が男性（83.6%）を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「十分に配慮している」、「配慮している」をあわせた率では、70 歳代（91.1%）と 30 歳代（90.1%）が高くなっており、10・20 歳代（74.0%）と 50 歳代（83.6%）が低くなっています。[図表 19]

図表 19 生活排水の処理について配慮
(全体・性別・年齢)

(単位：%)



13) 電気のムダ使いを気にかけるなど、環境に配慮していますか。

● 電気のムダ使いなど、環境に配慮している人は 85.3%。

電気のムダ使いなど、環境に配慮している人は、「十分に配慮している」、「配慮している」があわせて 85.3%、「あまり配慮していない」、「配慮していない」があわせて 9.1%、「どちらともいえない」が 4.1%となっています。

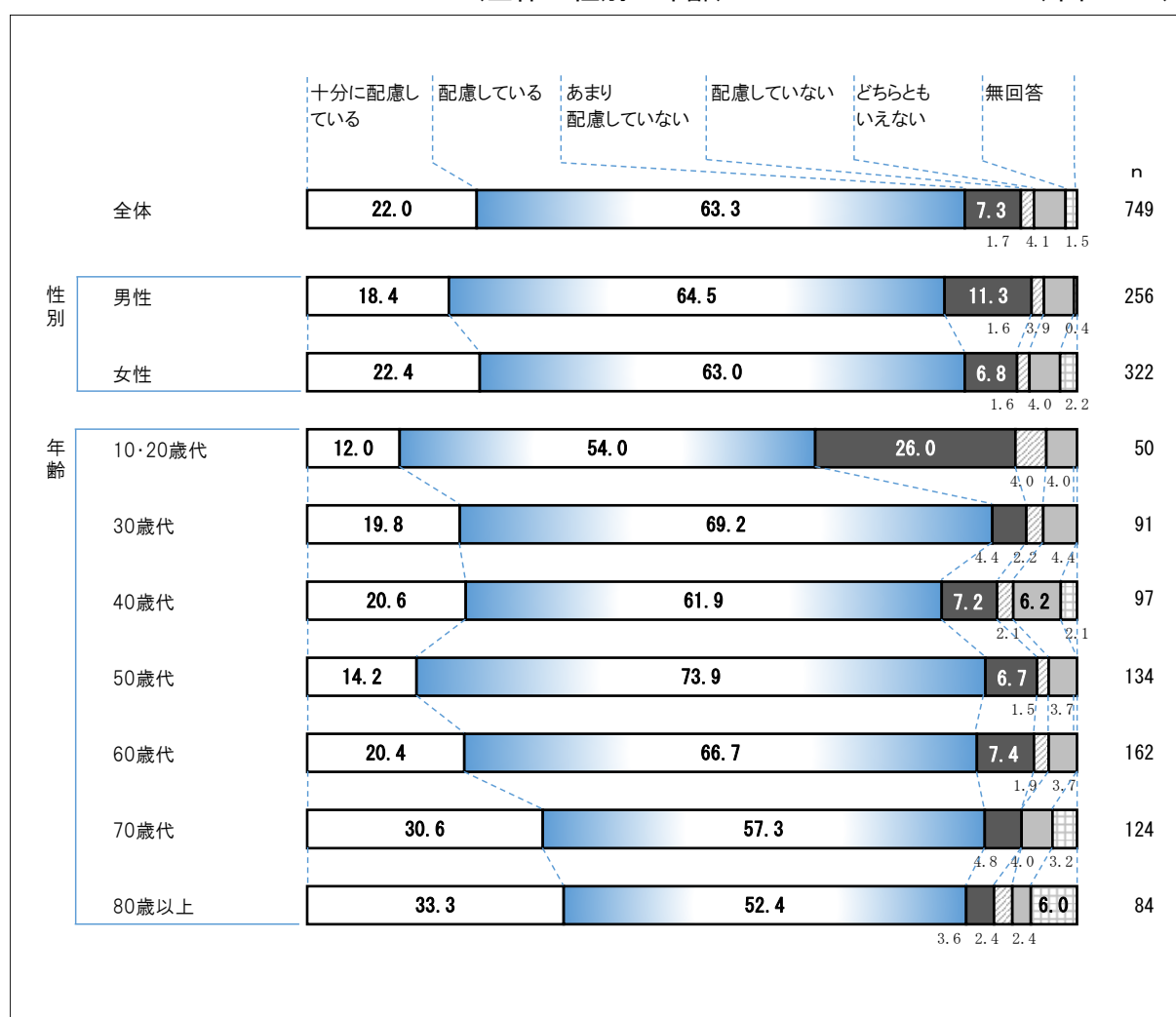
性別でみると、「十分に配慮している」、「配慮している」をあわせた率では、女性（85.4%）が男性（82.8%）をわずかに上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「十分に配慮している」、「配慮している」をあわせた率では、30 歳代（89.0%）、50 歳代（88.1%）、70 歳代（87.9%）、60 歳代（87.0%）が高くなっており、10・20 歳代（66.0%）が低くなっています。[図表 20]

図表 20 電気のムダ使いなど環境に配慮

（全体・性別・年齢）

（単位：％）



14) 製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいますか。

● 製品購入時に、環境に配慮したものを選んでいる人は62.2%。

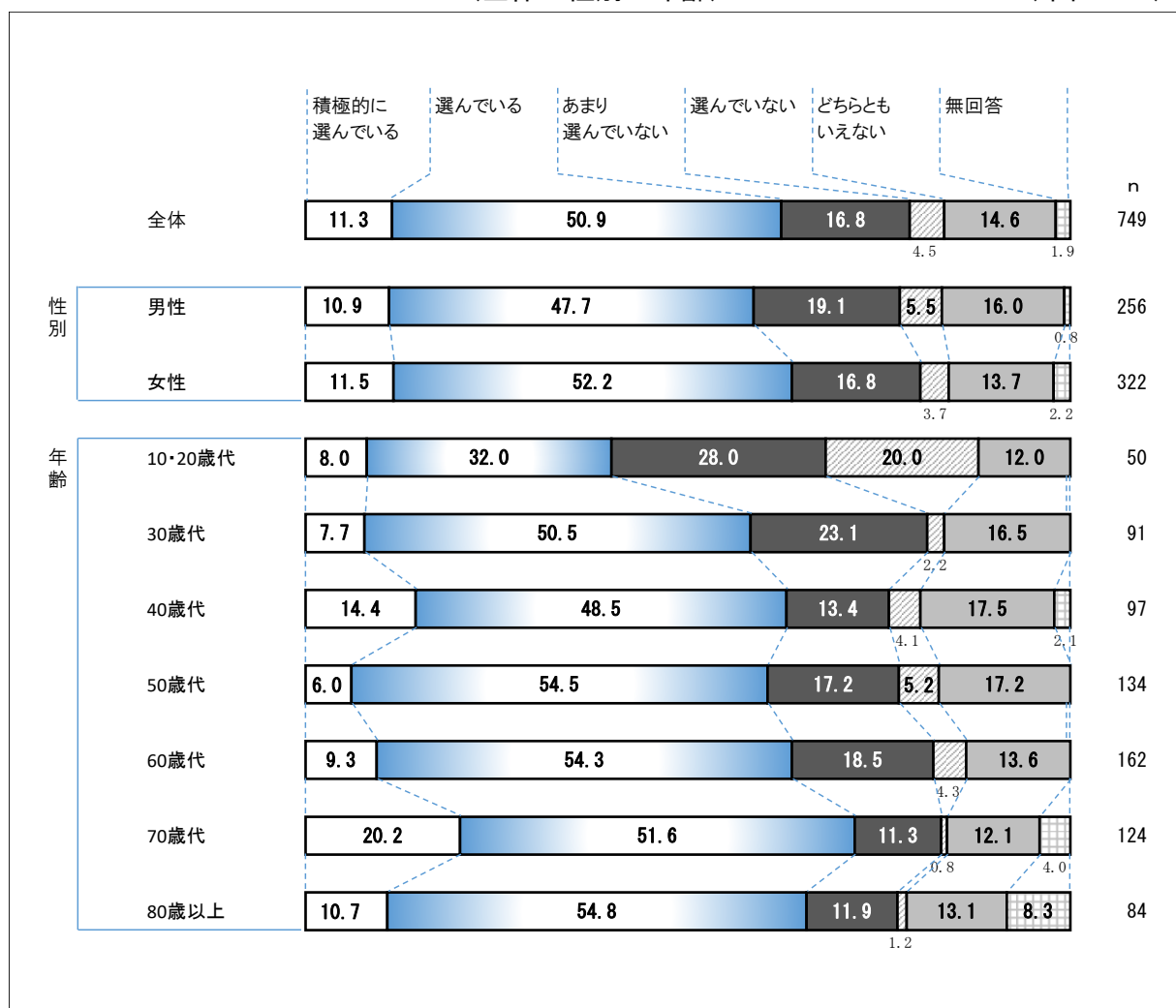
製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいる人は、「積極的に選んでいる」、「選んでいる」をあわせて62.2%、「あまり選んでいない」、「選んでいない」をあわせて21.4%、「どちらともいえない」が14.6%となっています。

性別でみると、「積極的に選んでいる」、「選んでいる」をあわせた率では、女性(63.7%)が男性(58.6%)を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に選んでいる」、「選んでいる」をあわせた率では、70歳代(71.8%)、80歳以上(65.5%)が高くなっており、10・20歳代(40.0%)、30歳代(58.2%)が低くなっています。[図表21]

図表 21 製品を購入時に環境に配慮
(全体・性別・年齢)

(単位：%)



15) 環境に優しい循環型社会の実現のため、リデュース（ごみの発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（ゴミの再生利用）などの3R活動に取り組んでいますか。

● 循環型社会の実現のため、3R活動に取り組んでいる人は64.0%。

循環型社会の実現のため、3R活動に取り組んでいる人は、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせて64.0%、「あまり取り組んでいない」、「取り組んでいない」をあわせて23.4%、「どちらともいえない」が10.5%となっています。

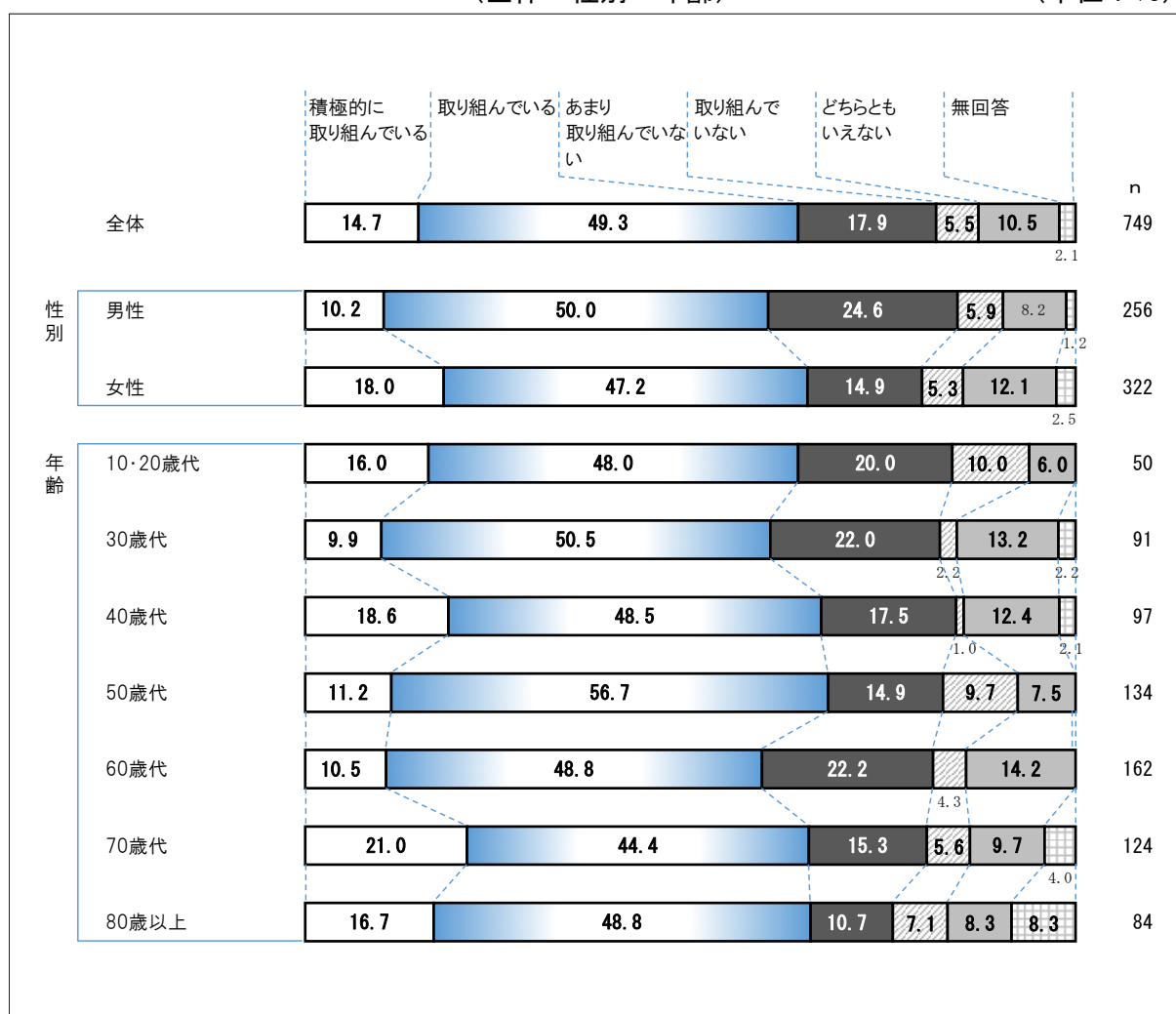
性別でみると、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせた率では、女性（65.2%）が男性（60.2%）を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせた率では、50歳代（67.9%）と40歳代（67.0%）、80歳以上（65.5%）、70歳代（65.3%）が高くなっており、60歳代（59.3%）と30歳代（60.4%）が低くなっています。[図表 22]

図表 22 3R活動への取り組み

（全体・性別・年齢）

（単位：％）



16) 町の商業の振興のため、意識して地域で買い物をするようにしていますか。

● 意識して地域（町内）で買い物をする人は64.1%。

町の商業の振興のため、意識して地域で買い物をする人は、「町内で買い物をする」、「できる限り町内で買い物をする」をあわせて64.1%、「あまり町内で買い物はしない」、「買い物は町外でする」をあわせて5.7%、「町内外を意識して買い物をするのではない」が26.3%となっています。

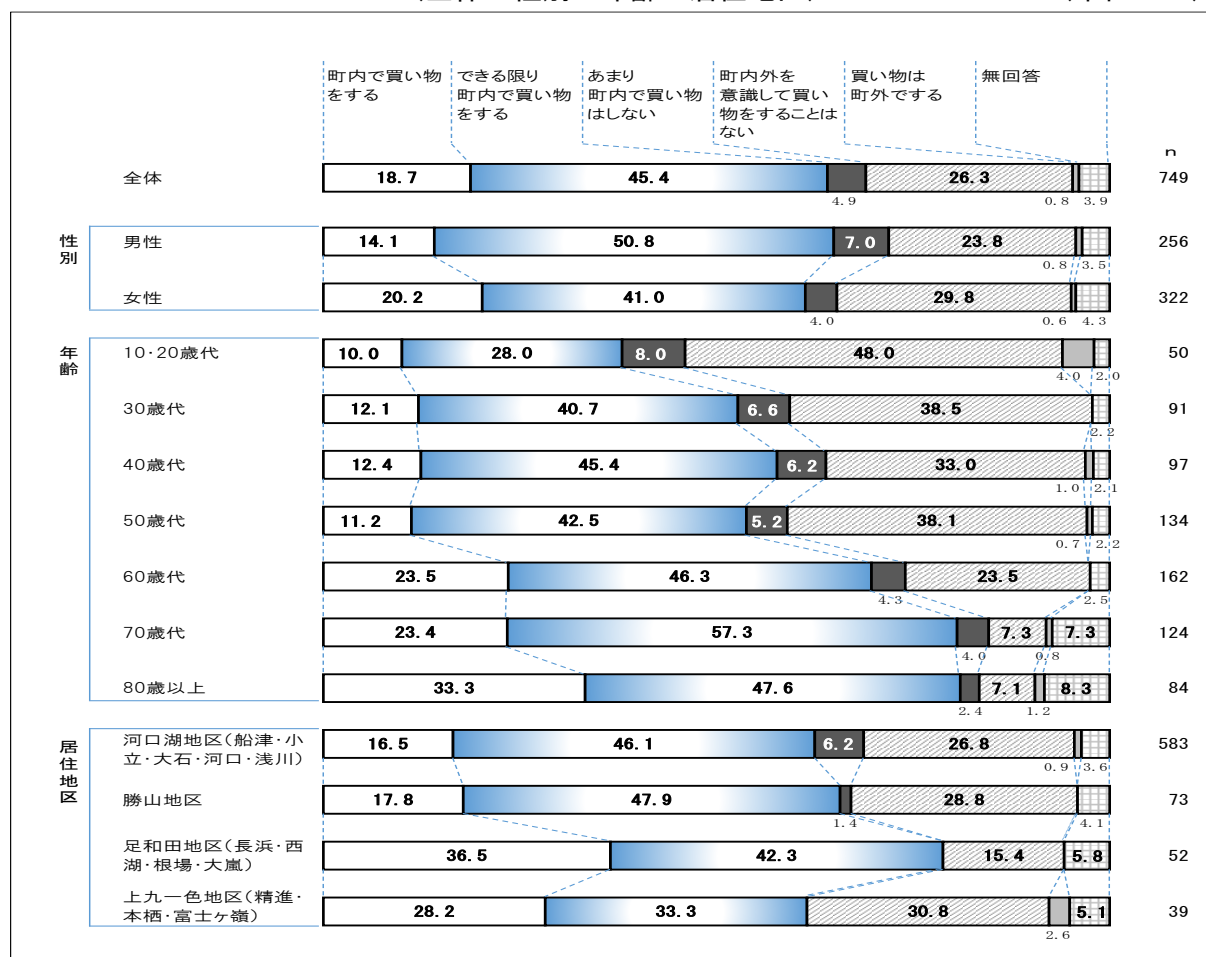
性別でみると、「町内で買い物をする」、「できる限り町内で買い物をする」をあわせた率では、男性（64.8%）が女性（61.2）をわずかに上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「町内で買い物をする」、「できる限り町内で買い物をする」をあわせた率では、60歳代以上が高くなっており、50歳代以下が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「町内で買い物をする」、「できる限り町内で買い物をする」をあわせた率では、足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐）（78.8%）が高くなっており、上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺）（61.5%）が低くなっています。

[図表 23]

図表 23 町内での買い物
(全体・性別・年齢・居住地区) (単位：%)



17) 工業の振興については、自然環境との調和を図ることが大切ですが、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、悪臭等の公害による、自然体系への影響について学んでいますか。

● 公害による、自然体系への影響について学んでいる人は 26.3%。

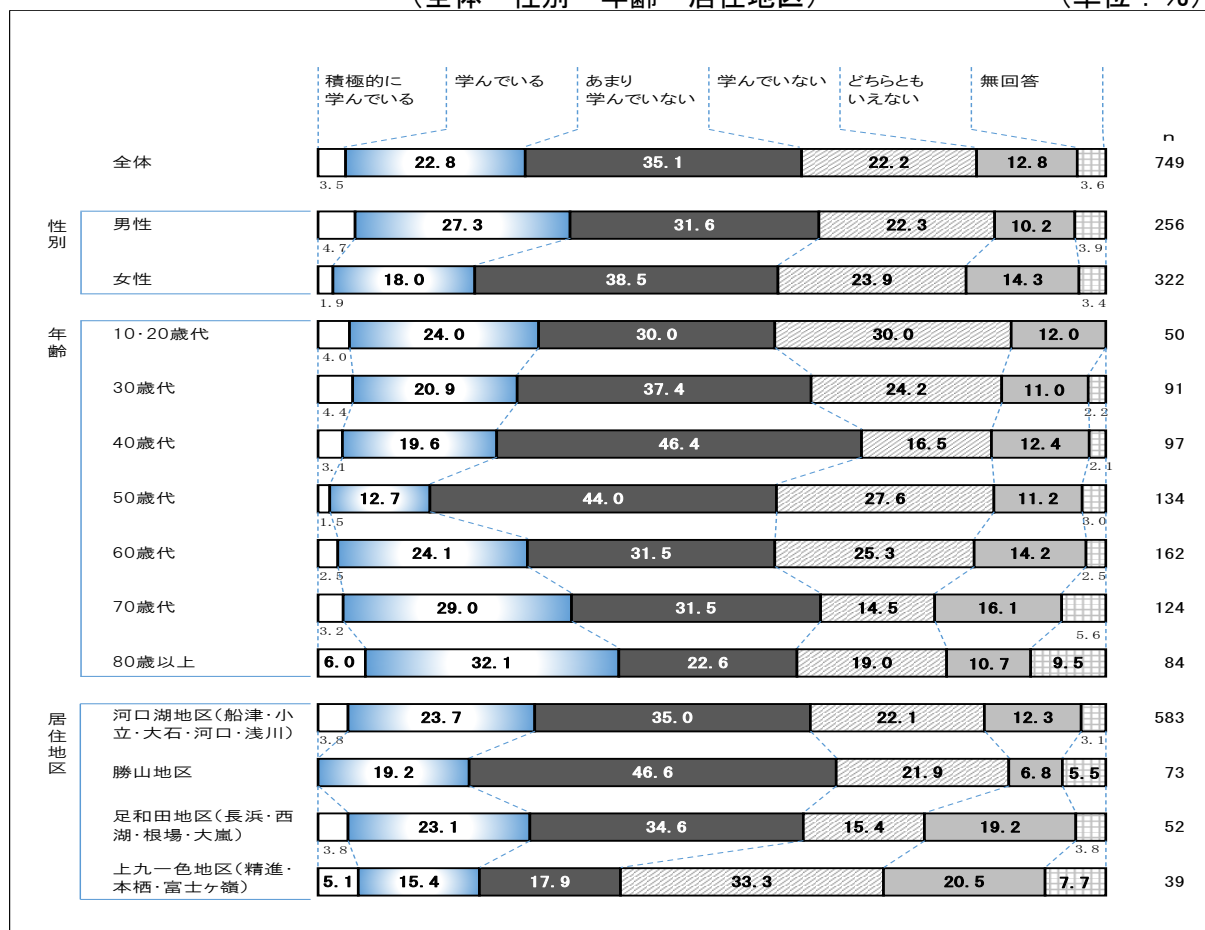
公害による、自然体系への影響について学んでいる人は、「積極的に学んでいる」、「学んでいる」をあわせて 26.3%、「あまり学んでいない」、「学んでいない」をあわせて 57.3%、「どちらともいえない」が 12.8%となっています。

性別でみると、「積極的に学んでいる」、「学んでいる」をあわせた率では、男性(32.0%)が女性(19.9%)を大きく上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に学んでいる」、「学んでいる」をあわせた率では、80歳以上(38.1%)、70歳代(32.3%)が高くなっており、50歳代(14.2%)、40歳代(22.7%)が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「積極的に学んでいる」、「学んでいる」をあわせた率では、河口湖地区(船津・小立・大石・河口・浅川)(27.4%)が高くなっており、勝山地区(19.2%)と上九一色地区(精進・本栖・富士ヶ嶺)(20.5%)が低くなっています。[図表 24]

図表 24 公害による、自然体系への影響について学んでいるか
(全体・性別・年齢・居住地区) (単位：%)



18) 町の観光の振興のため、観光客と住民がともに楽しめるイベントや案内などのボランティアに参加したいと思いますか。

- 観光客と住民がともに楽しめるイベントや案内などのボランティアに参加したいと思う人は、27.4%。

観光客と住民がともに楽しめるイベントや案内などのボランティアに参加したいと思う人は、「積極的に参加したい」、「参加したい」があわせて 27.4%、「あまり参加したくない」、「参加したくない」があわせて 35.6%、「どちらともいえない」が 33.0% となっています。

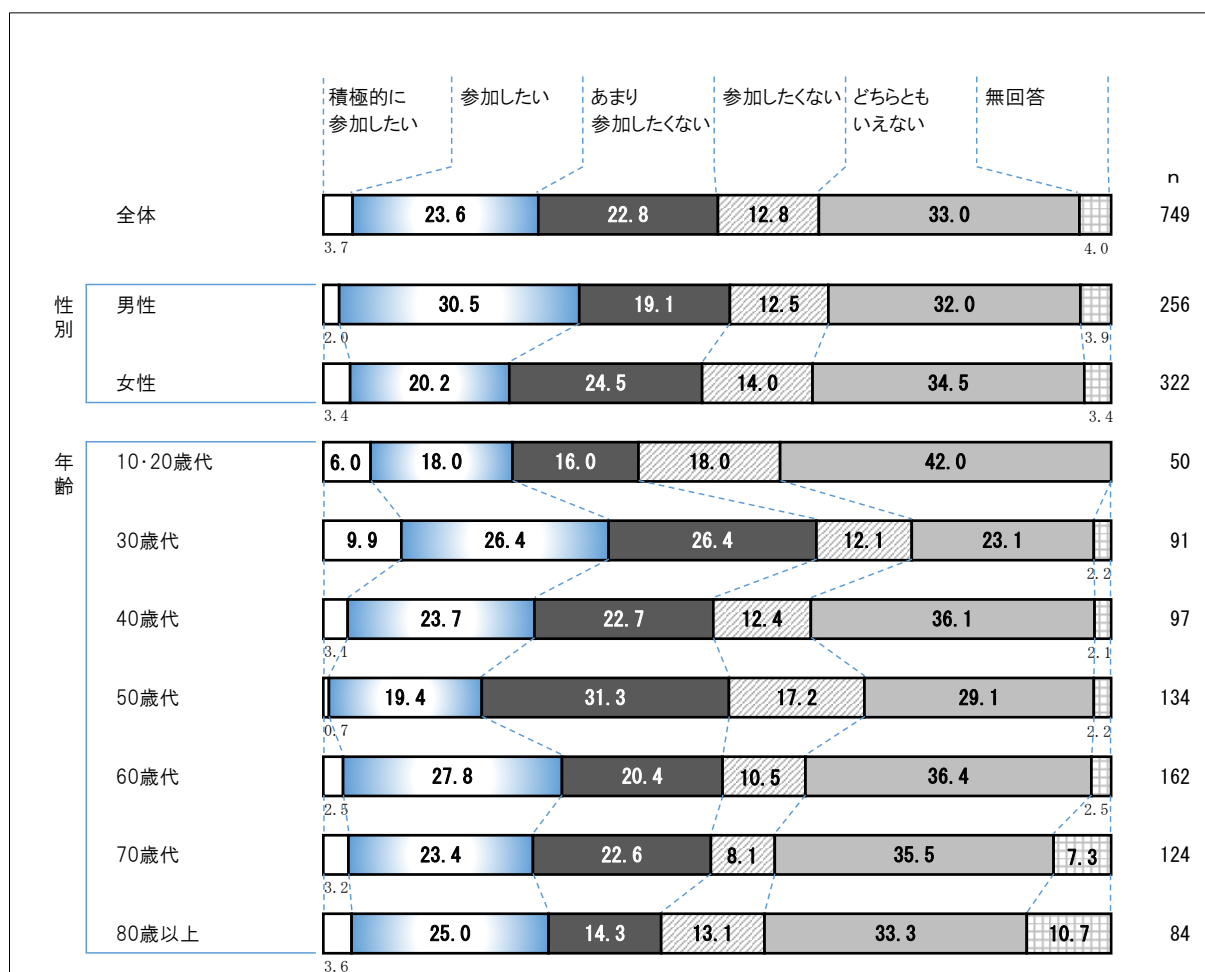
性別でみると、「積極的に参加したい」、「参加したい」をあわせた率では、男性（32.4%）が女性（23.6%）を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に参加したい」、「参加したい」をあわせた率では、30 歳代（36.3%）と 60 歳代（30.2%）が高くなっており、50 歳代（20.1%）と 10・20 歳代（24.0%）が低くなっています。[図表 25]

図表 25 ボランティアに参加

（全体・性別・年齢）

（単位：％）



19) 農林水産・畜産業の持続的発展のために、食糧生産や生態系の維持といった、その保有する機能を学びたいと思いますか。

● 農業の食糧生産や生態系の維持など保有する機能を学びたい人は 30.6%。

農業の食糧生産や生態系の維持など保有する機能を学びたいと思う人は、「積極的に学びたい」、「学びたい」をあわせて 30.6%、「あまり学びたくない」、「学びたくない」をあわせて 26.3%、「どちらともいえない」が 38.9%となっています。

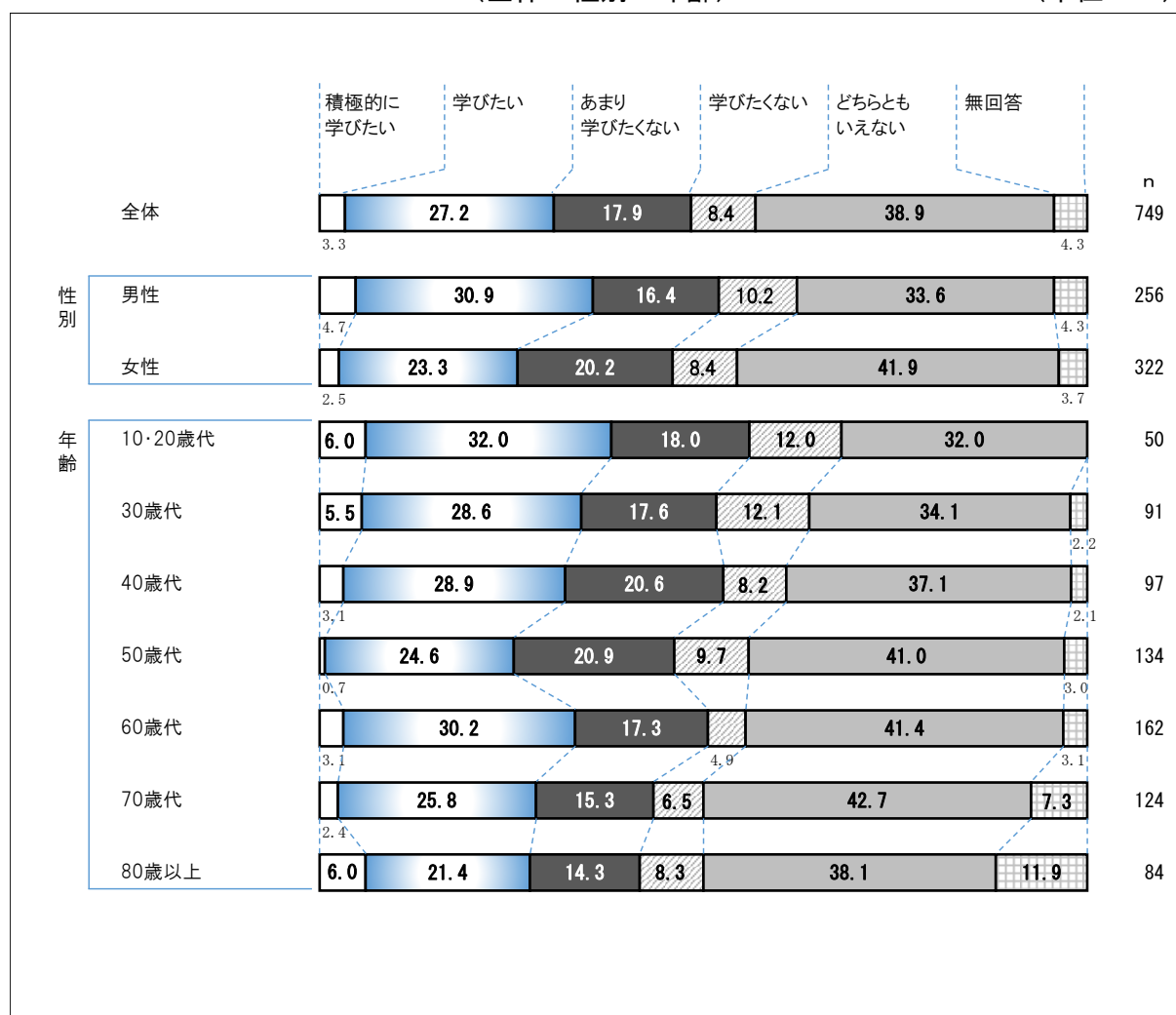
性別でみると、「積極的に学びたい」、「学びたい」をあわせた率では、男性（35.5%）が女性（25.8%）を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に学びたい」、「学びたい」をあわせた率では、10・20 歳代（38.0%）、30 歳代（34.1%）、60 歳代（33.3%）、40 歳代（32.0%）が高くなっており、50 歳代（25.4%）、80 歳以上（27.4%）、70 歳代（28.2%）が低くなっています。[図表 26]

図表 26 農業の食糧生産や生態系の維持など保有する機能学習

（全体・性別・年齢）

（単位：％）



20) 地域の活動・行事に参加していますか。

● 地域の活動・行事に参加している人は 63.7%。

地域の活動・行事に参加している人は、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせて 63.7%、「あまり参加しない」が 19.9%、「参加したことがない」が 12.8%となっています。

性別でみると、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた率では、男性（67.6%）が女性（60.2%）を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた率では、50 歳代以上が高くなっており、40 歳代以下が低くなっています。

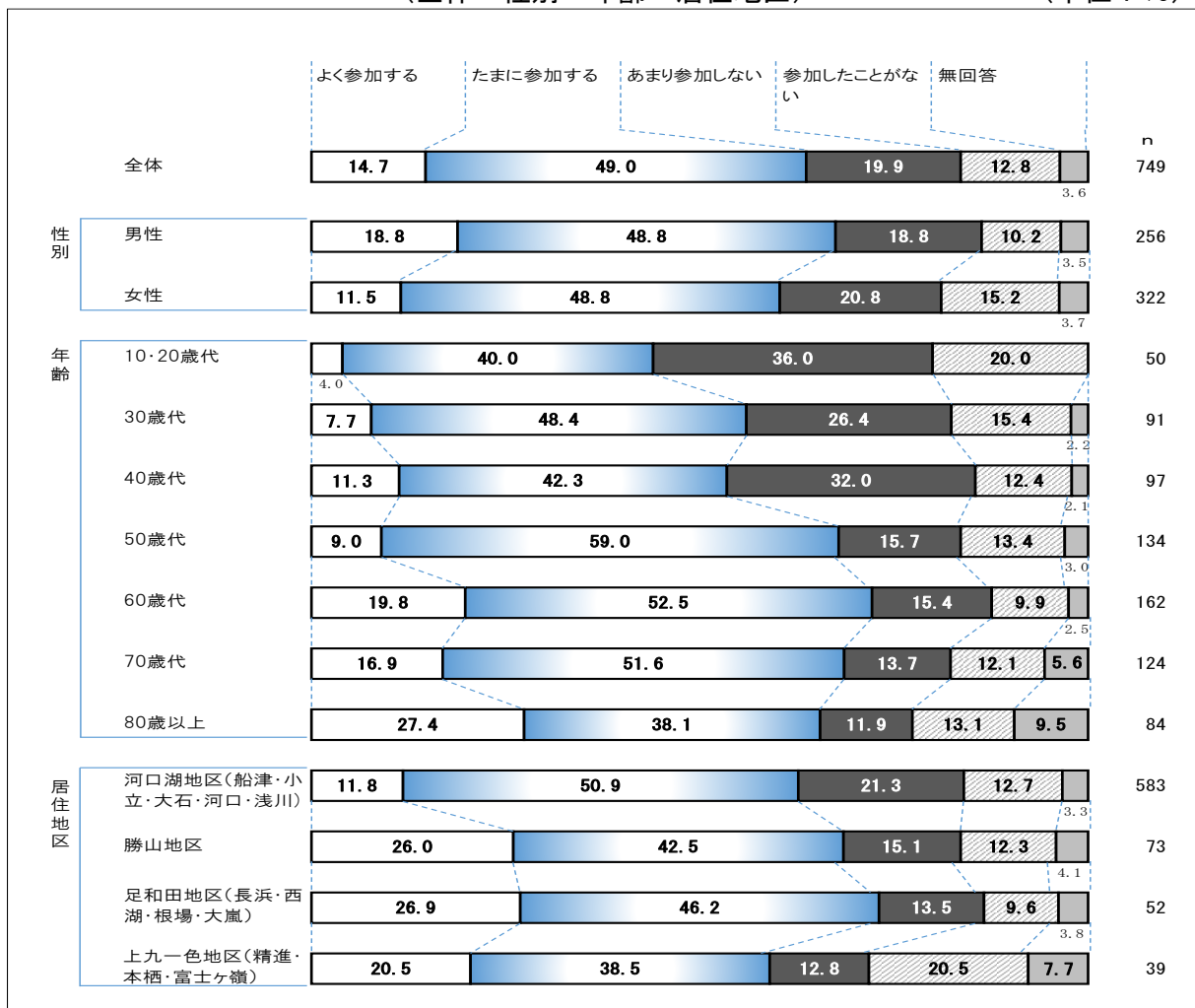
居住地区で見ると、全体と比較して、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた率では、足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐）（73.1%）と勝山地区（68.5%）が高くなっており、上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺）（59.0%）が低くなっています。

[図表 27]

図表 27 地域の活動・行事に参加

（全体・性別・年齢・居住地区）

（単位：％）



21) 国際交流や他市町村との交流を図るイベントなどに参加したことがありますか。

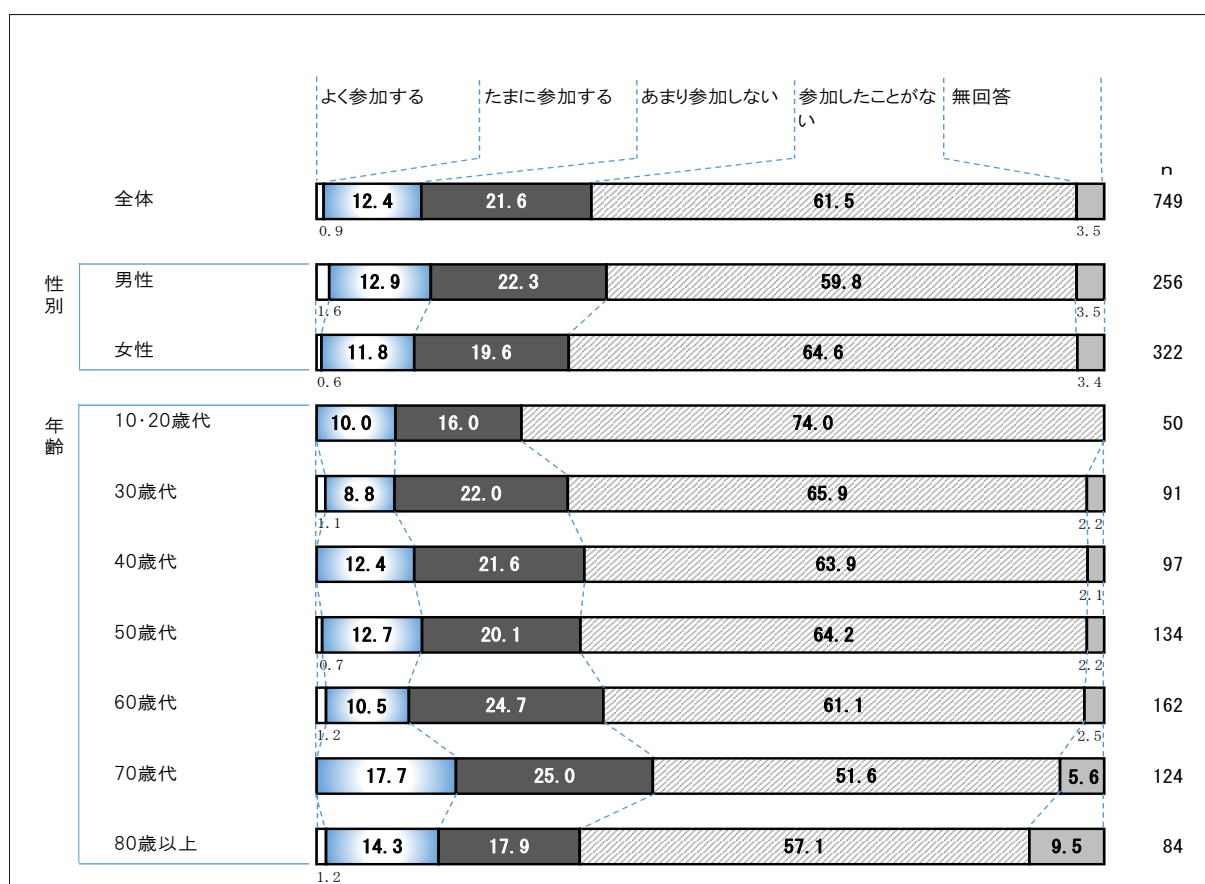
● 国際交流等の交流を図るイベントなどに参加したことがあるか 13.4%。

国際交流等の交流を図るイベントなどに参加したことがあるかについては、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせて 13.4%、「あまり参加しない」が 21.6%、「参加したことがない」が 61.5%となっています。

性別でみると、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた率では、男性（14.5%）が女性（12.4%）をわずかに上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた率では、70 歳代（17.7%）、80 歳以上（15.5%）が高くなっており、30 歳代（9.9%）、10・20 歳代（10.0%）が低くなっています。[図表 28]

図表 28 国際交流等の交流を図るイベントなどに参加したことがあるか
(全体・性別・年齢) (単位：%)



22) 男女共同参画社会の実現に向けての町の講座や職場での研修会に参加したことがありますか。

● 男女共同参画社会の講座や研修会に参加したことがある人は 10.9%。

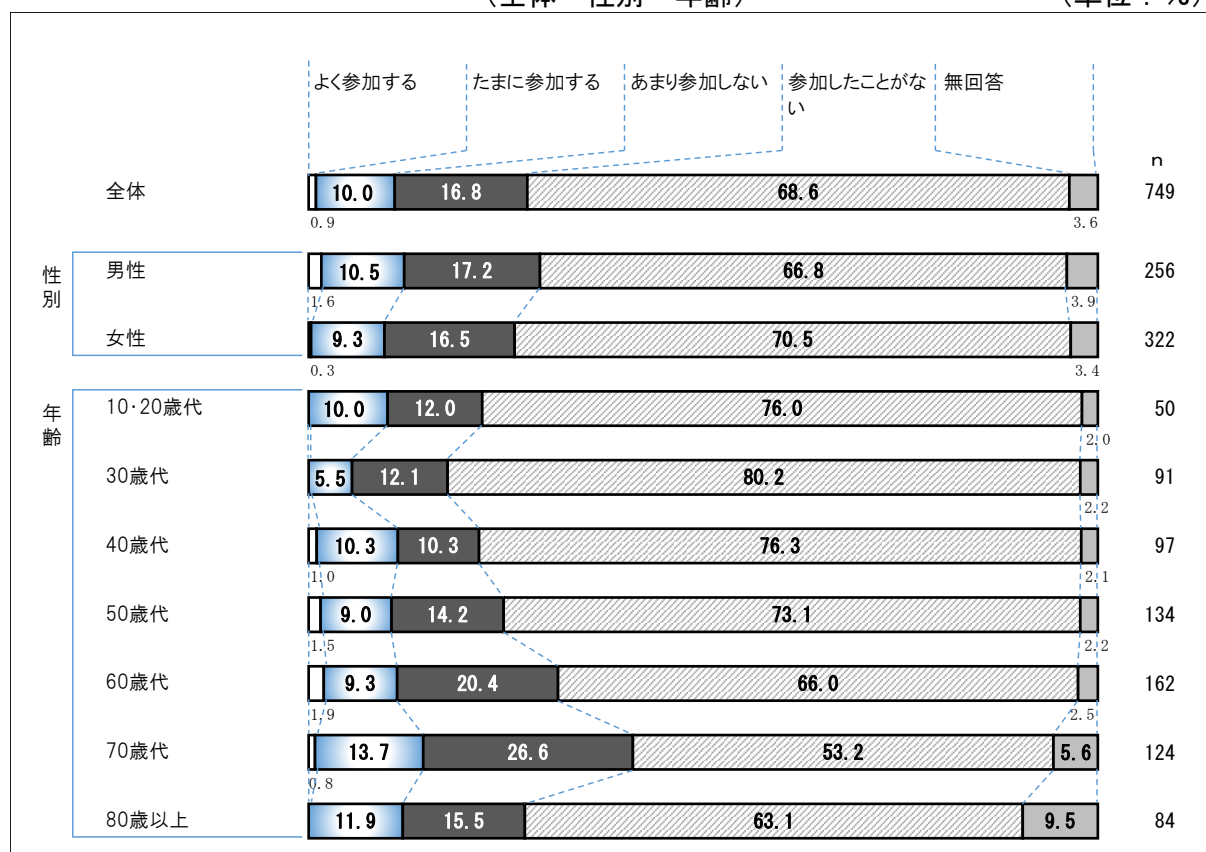
男女共同参画社会の実現に向けての町の講座や職場での研修会に参加したことがある人は、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせて 10.9%、「あまり参加しない」が 16.8%、「参加したことがない」が 68.6%となっています。

性別でみると、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた率では、男性（12.1%）が女性（9.6%）をわずかに上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた率では、70 歳代（14.5%）と 80 歳以上（11.9%）が高くなっており、30 歳代（5.5%）が低くなっています。[図表 29]

図表 29 男女共同参画社会の研修会に参加
(全体・性別・年齢)

(単位：%)



23) 子育てに関する学習や相談の場や機会があれば、活用したいと思いますか。



● 子育てに関する学習や相談の場や機会を活用したいと思う人は 32.4%。

子育てに関する学習や相談の場や機会を活用したいと思う人は、「積極的に活用したい」、「活用したい」が合わせて 32.4%、「あまり活用したくない」、「活用したくない」が合わせて 12.7%、「どちらともいえない」が 47.4%となっています。

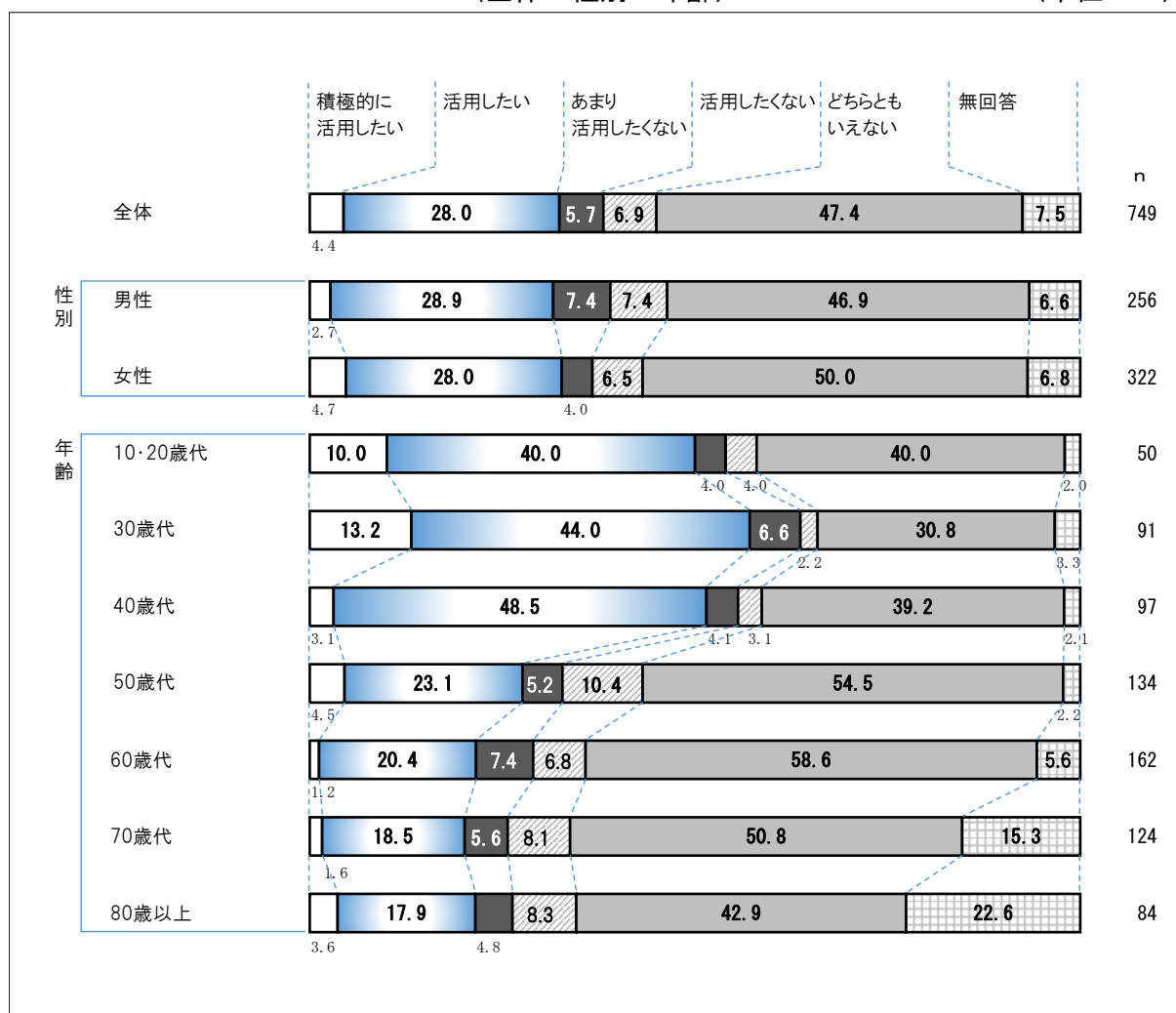
性別でみると、「積極的に活用したい」、「活用したい」をあわせた率では、女性(32.6%)が男性(31.6%)をわずかに上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に活用したい」、「活用したい」をあわせた率では、40 歳代以下が高くなっており、50 歳代以上では低くなっています。[図表 30]

図表 30 子育てに関する学習や相談の場や機会の活用

(全体・性別・年齢)

(単位：%)



24) 開かれた学校づくりや、PTA活動、子どもたちの校外活動などへの参加はしていますか。

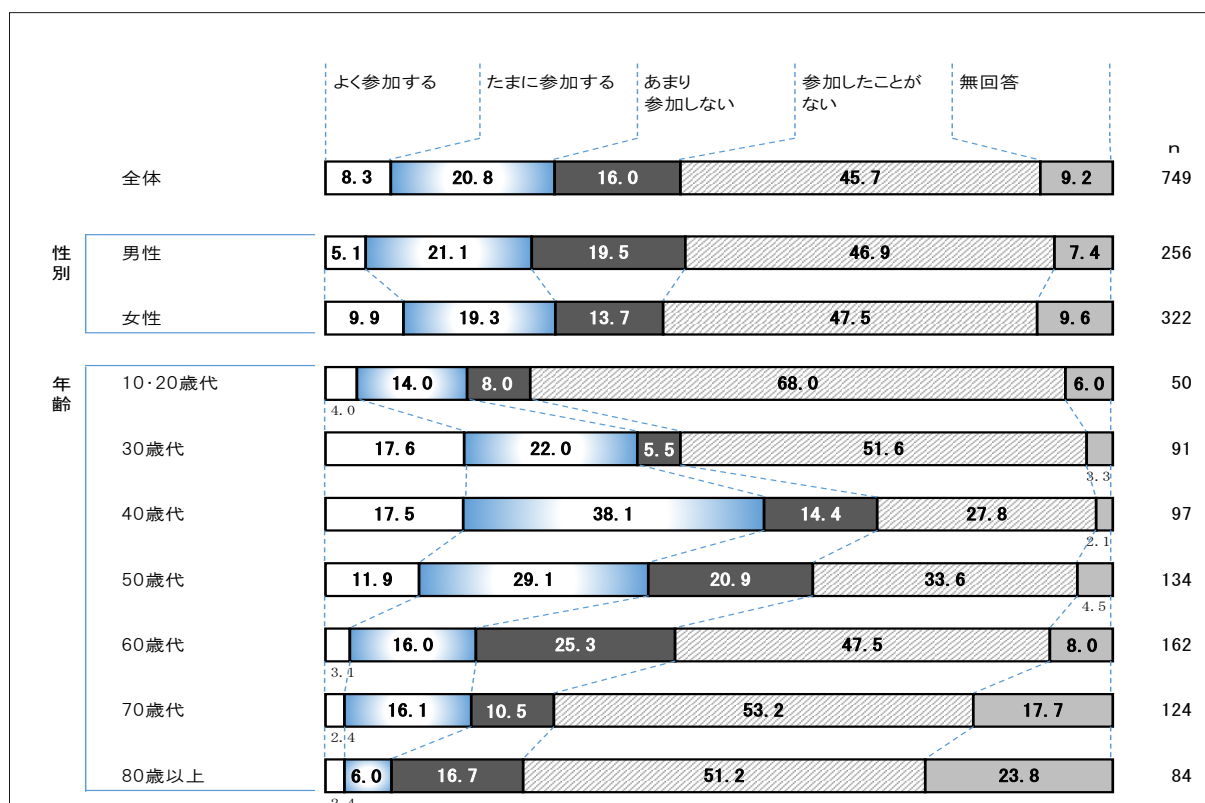
● PTA活動や子どもたちの校外活動などへの参加をしている人は29.1%。

PTA活動や子どもたちの校外活動などへの参加をしている人は、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせて29.1%、「あまり参加しない」が16.0%、「参加したことがない」が45.7%となっています。

性別でみると、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた率では、女性(29.2%)が男性(26.2%)を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた率では、40歳代(55.7%)と50歳代(41.0%)、30歳代(39.6%)が高くなっており、80歳以上(8.3%)と10・20歳代(18.0%)、70歳代(18.5%)、60歳代(19.1%)が低くなっています。[図表31]

図表31 PTA活動・子どもたちの校外活動・スポーツ少年団などへの参加
(全体・性別・年齢) (単位：%)



25) 栄養や食べ物の大切さ、マナーを身に付けるため、地域や家庭での食育は行われていますか。

● 地域や家庭での食育は行われていると思う人は 44.1%。

地域や家庭での食育は行われているかについては、「十分に行われている」、「行われている」をあわせて 44.1%、「あまり行われていない」、「行われていない」をあわせて 27.8%、「どちらともいえない」が 22.8%となっています。

性別でみると、「十分に行われている」、「行われている」をあわせた率では、女性（45.7%）が男性（39.8%）を上回っています。

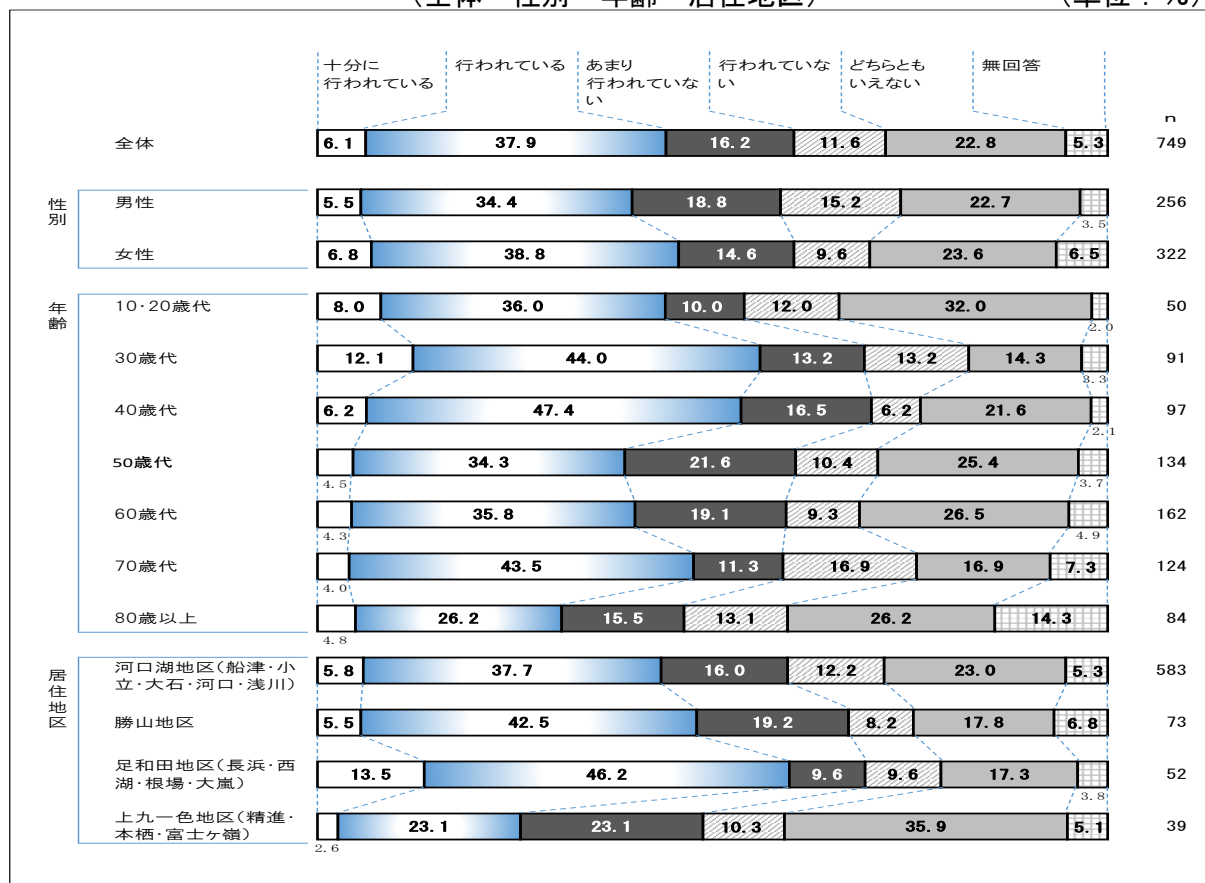
年齢でみると、全体と比較して、「十分に行われている」、「行われている」をあわせた率では、30 歳代（56.0%）と 40 歳代（53.6%）、70 歳代（47.6%）が高くなっており、80 歳以上（31.0%）と 50 歳代（38.8%）、60 歳代（40.1%）が低くなっています。

居住地区で見ると、全体と比較して、「十分に行われている」、「行われている」をあわせた率では、足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐）（59.6%）と勝山地区（47.9%）が高くなっており、上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺）（25.6%）が低くなっています。[図表 32]

図表 32 地域や家庭での食育は行われているか

（全体・性別・年齢・居住地区）

（単位：％）



26) 児童に対するいじめ・虐待等への対策が地域で十分に話し合われていますか。

- 児童に対するいじめ・虐待等への対策が地域で十分に話し合われているかは 12.8%。

児童に対するいじめ・虐待等への対策が地域で十分に話し合われているかについては、「十分に話し合われている」、「話し合われている」が合わせて 12.8%、「あまり話し合われていない」、「話し合われていない」が合わせて 39.7%、「どちらともいえない」が 40.5%となっています。

性別でみると、「十分に話し合われている」、「話し合われている」を合わせた率では、女性（13.4%）が男性（10.2%）を上回っています。

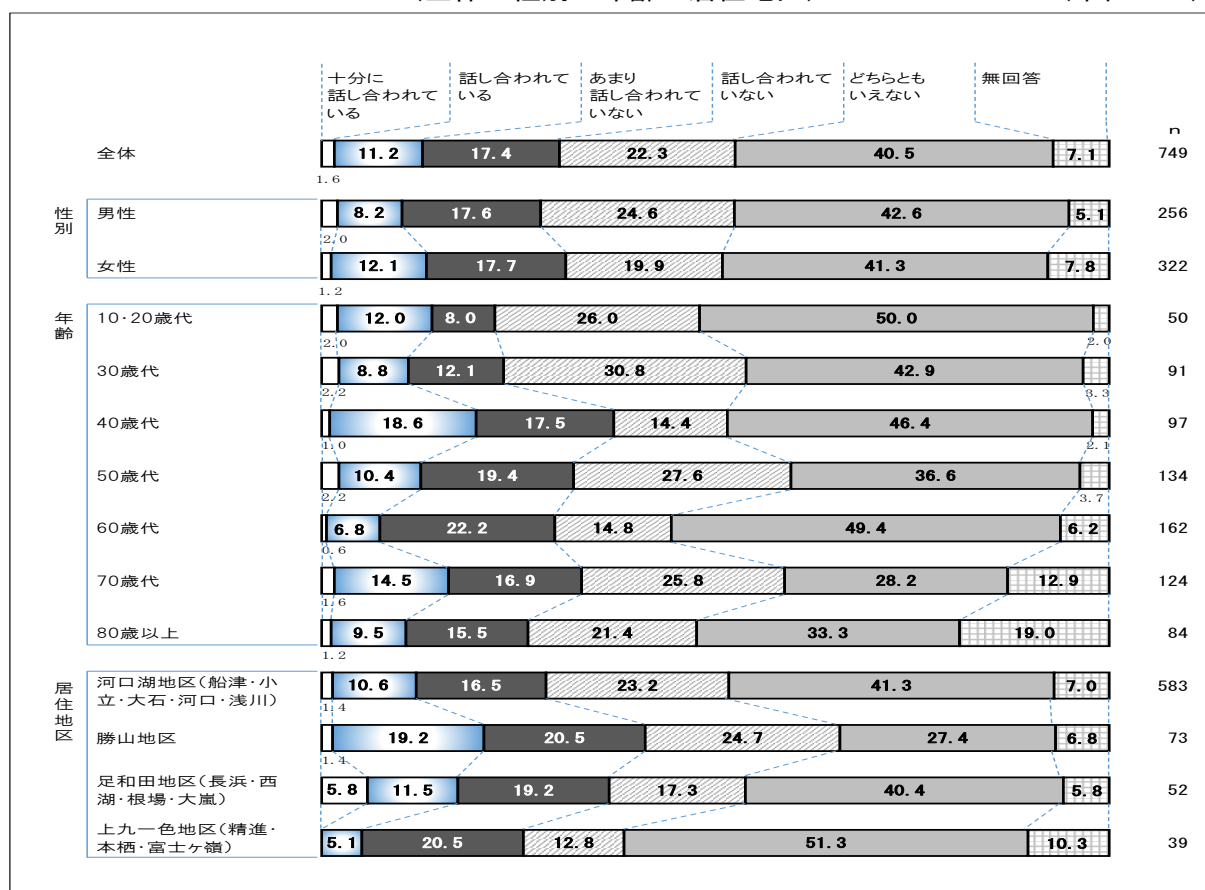
年齢でみると、全体と比較して、「十分に話し合われている」、「話し合われている」を合わせた率では、40 歳代（19.6%）と 70 歳代（16.1%）が高くなっており、60 歳代（7.4%）と 80 歳以上（10.7%）、30 歳代（11.0%）が低くなっています。

居住地区で見ると、全体と比較して、「十分に話し合われている」、「話し合われている」を合わせた率では、勝山地区（20.5%）と足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐）（17.3%）が高くなっており、上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺）（5.1%）が低くなっています。[図表 33]

図表 33 児童に対するいじめ・虐待等について地域での話し合い

（全体・性別・年齢・居住地区）

（単位：％）



27) 子どもの教育・子育て等について地域で支え合う雰囲気はありますか。

● 子どもの教育・子育て等について地域で支え合う雰囲気はあるかについては31.8%。

子どもの教育・子育て等について地域で支え合う雰囲気はあるかについては、「十分にある」、「どちらかといえばある」をあわせて31.8%、「どちらかといえばない」、「ない」をあわせて28.3%、「どちらともいえない」が33.1%となっています。

性別でみると、「十分にある」、「どちらかといえばある」をあわせた率では、男女で大きな違いはありません。

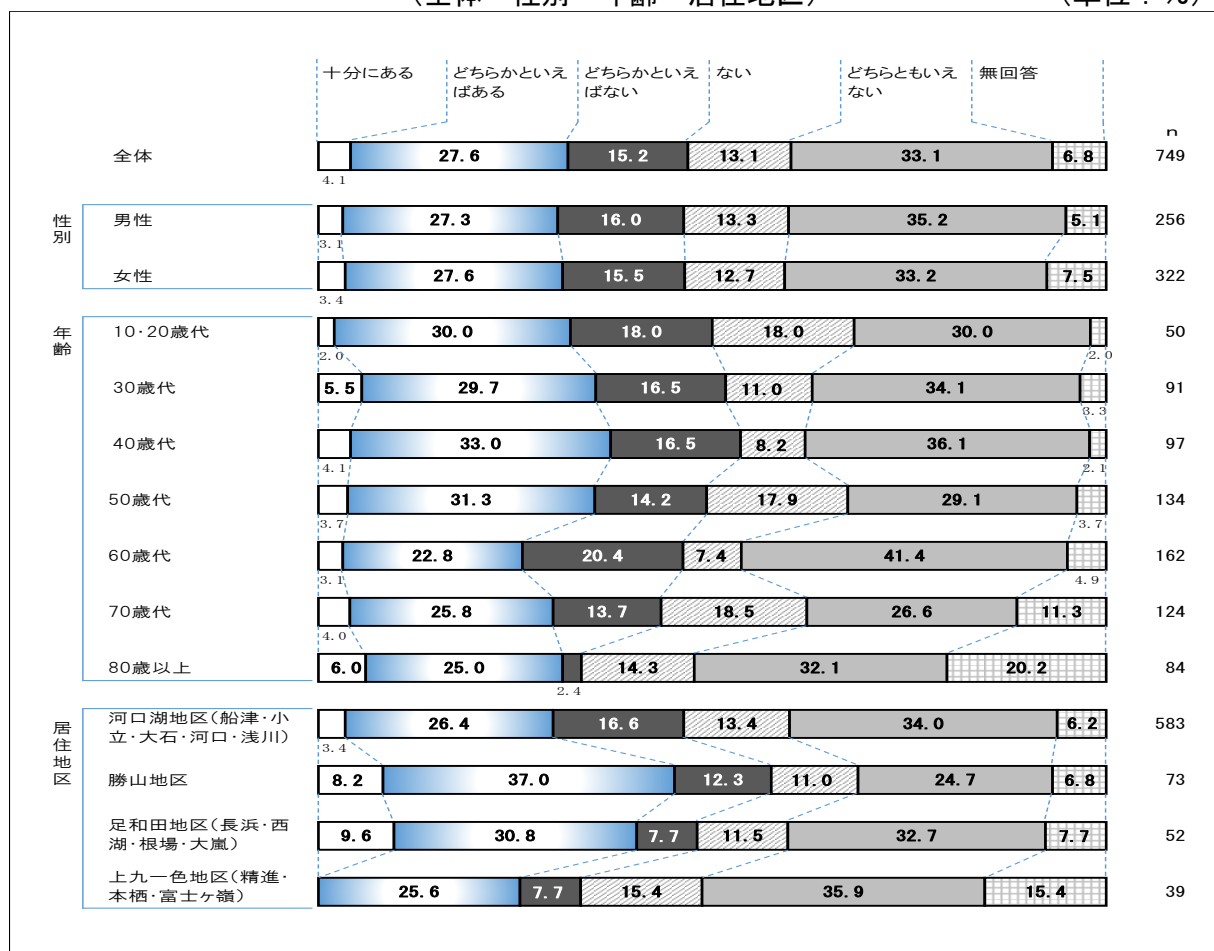
年齢でみると、全体と比較して、「十分にある」、「どちらかといえばある」をあわせた率では、50歳代以下が高くなっており、60歳代（25.9%）と70歳代（29.8%）が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「十分にある」、「どちらかといえばある」をあわせた率では、勝山地区（45.2%）と足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐）（40.4%）が高くなっており、上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺）（25.6%）が低くなっています。[図表 34]

図表 34 子どもの教育・子育て等地域で支え合う雰囲気

（全体・性別・年齢・居住地区）

（単位：％）



28) 地域では高齢者や障がい者、ひとり親家庭への見守り・声掛け・手助け等は行われていますか。

● 地域では見守り・声掛け・手助け等は行われていると思う人は 23.2%。

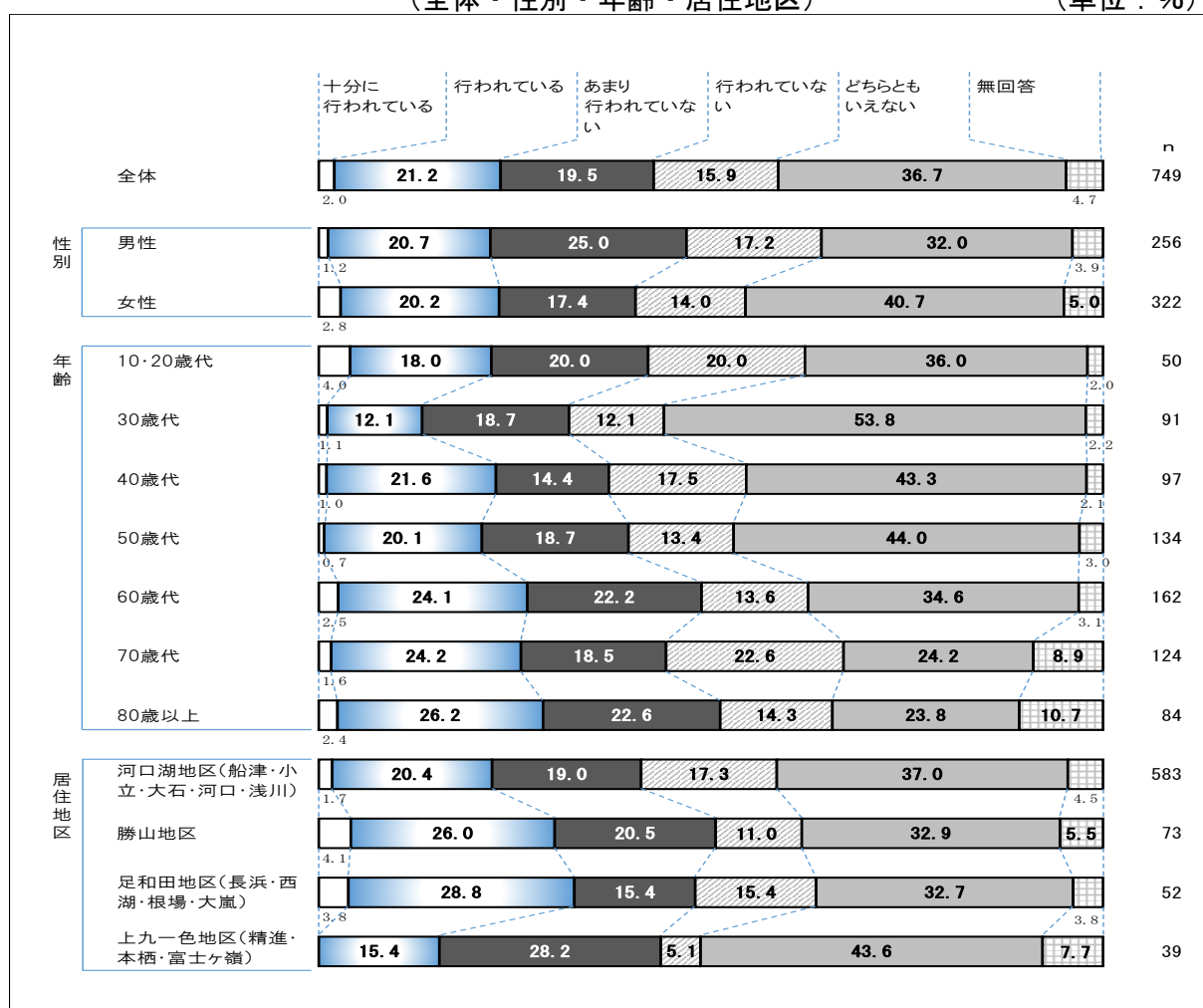
地域では高齢者や障がい者、ひとり親家庭への見守り・声掛け・手助け等は行われていると思う人は、「十分に行われている」、「行われている」をあわせて 23.2%、「あまり行われていない」、「行われていない」をあわせて 35.4%、「どちらともいえない」が 36.7%となっています。

性別でみると、「十分に行われている」、「行われている」をあわせた率では、女性（23.0%）が男性（21.9%）をわずかに上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「十分に行われている」、「行われている」をあわせた率では、60 歳代以上が高くなっており、30 歳代（13.2%）が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「十分に行われている」、「行われている」をあわせた率では、足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐）（32.7%）と勝山地区（30.1%）が高くなっており、上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺）（15.4%）が低くなっています。[図表 35]

図表 35 地域での見守り・声掛け・手助け等は行われているか
(全体・性別・年齢・居住地区) (単位：%)



29) 地域では人権が尊重されていると思いますか。

● 地域では人権が尊重されていると思う人は 39.0%。

地域では人権が尊重されていると思う人は、「十分に尊重されている」、「尊重されている」をあわせて 39.0%、「あまり尊重されていない」、「尊重されていない」をあわせて 18.8%、「どちらともいえない」が 37.8%となっています。

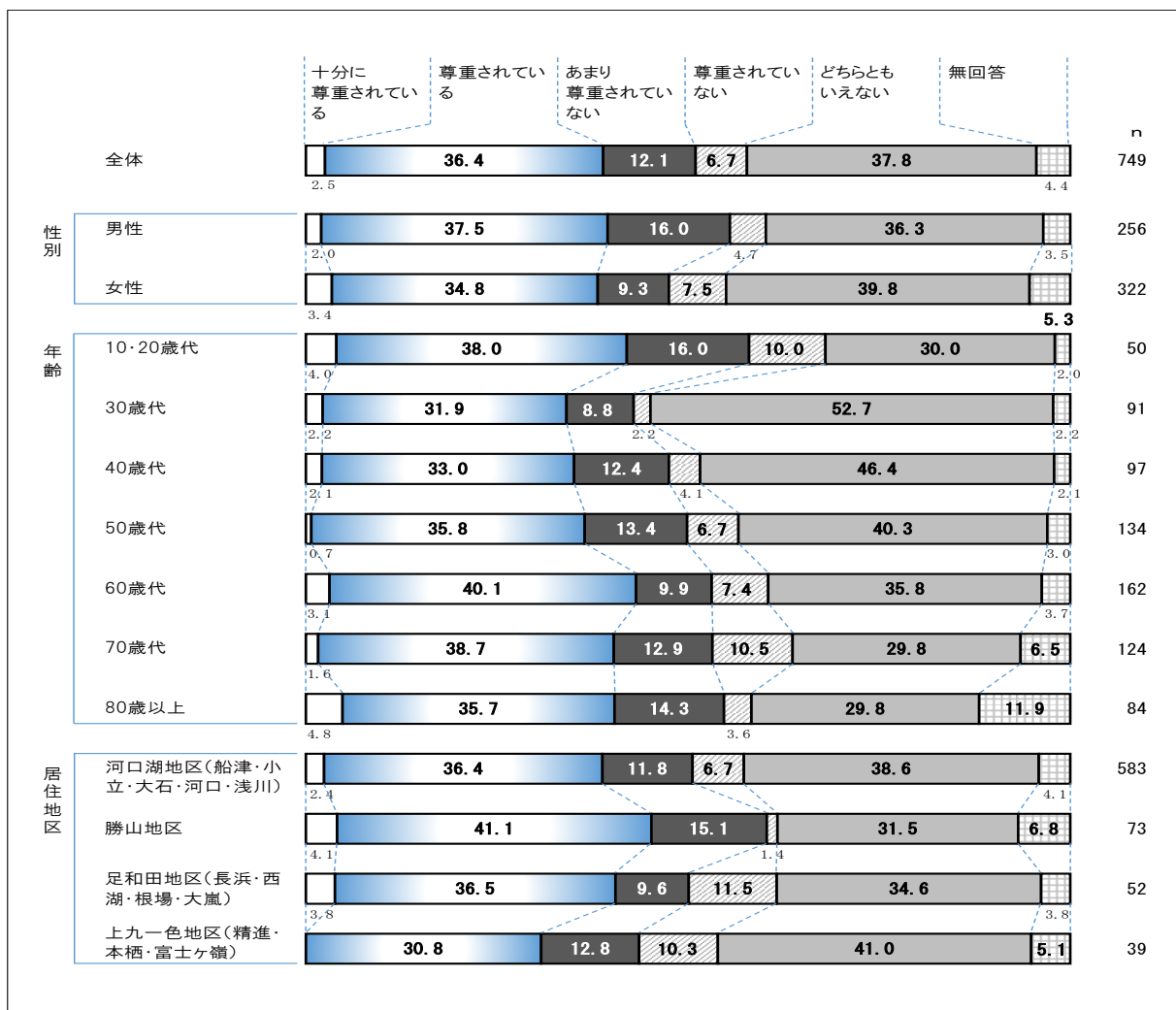
性別でみると、「十分に尊重されている」、「尊重されている」をあわせた率では、男女で大きな違いはありません。

年齢でみると、全体と比較して、「十分に尊重されている」、「尊重されている」をあわせた率では、60歳代以上と 10・20歳代(42.0%)が高くなっており、30歳代(34.1%)、40歳代(35.1%)、50歳代(36.6%)が低くなっています。

居住地区でみると、「十分に尊重されている」、「尊重されている」をあわせた率では、勝山地区(45.2%)と足和田地区(長浜・西湖・根場・大嵐)(40.4%)が高くなっており、上九一色地区(精進・本栖・富士ヶ嶺)(30.8%)が低くなっています。[図表 36]

図表 36 地域での人権尊重
(全体・性別・年齢・居住地区)

(単位：%)



30) 安心して働ける職場環境の実現のため、ご自身やご家族で育児休業や有給休暇の取得等、ワーク・ライフ・バランスのための制度を活用していますか。



- ワーク・ライフ・バランスのための制度を活用している人は 18.3%。

ワーク・ライフ・バランスのための制度を活用している人は、「十分に活用している」、「活用している」をあわせて 18.3%、「あまり活用していない」、「活用していない」をあわせて 49.3%、「どちらともいえない」が 23.0%となっています。

性別でみると、「十分に活用している」、「活用している」をあわせた率では、女性（21.4%）が男性（15.6%）を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「十分に活用している」、「活用している」をあわせた率では、50 歳代以下が高くなっており、60 歳代以上が低くなっています。

職業でみると、「十分に活用している」、「活用している」をあわせた率では、公務員（42.9%）と製造業（38.2%）が高くなっており、農林業（専業）（0.0%）と運輸・通信業（0.0%）、サービス業（公務を除く）（12.9%）が低くなっています。

[図表 37-1~2]

図表 37-1 就業者別ワーク・ライフ・バランス制度の活用状況

（単位：％）

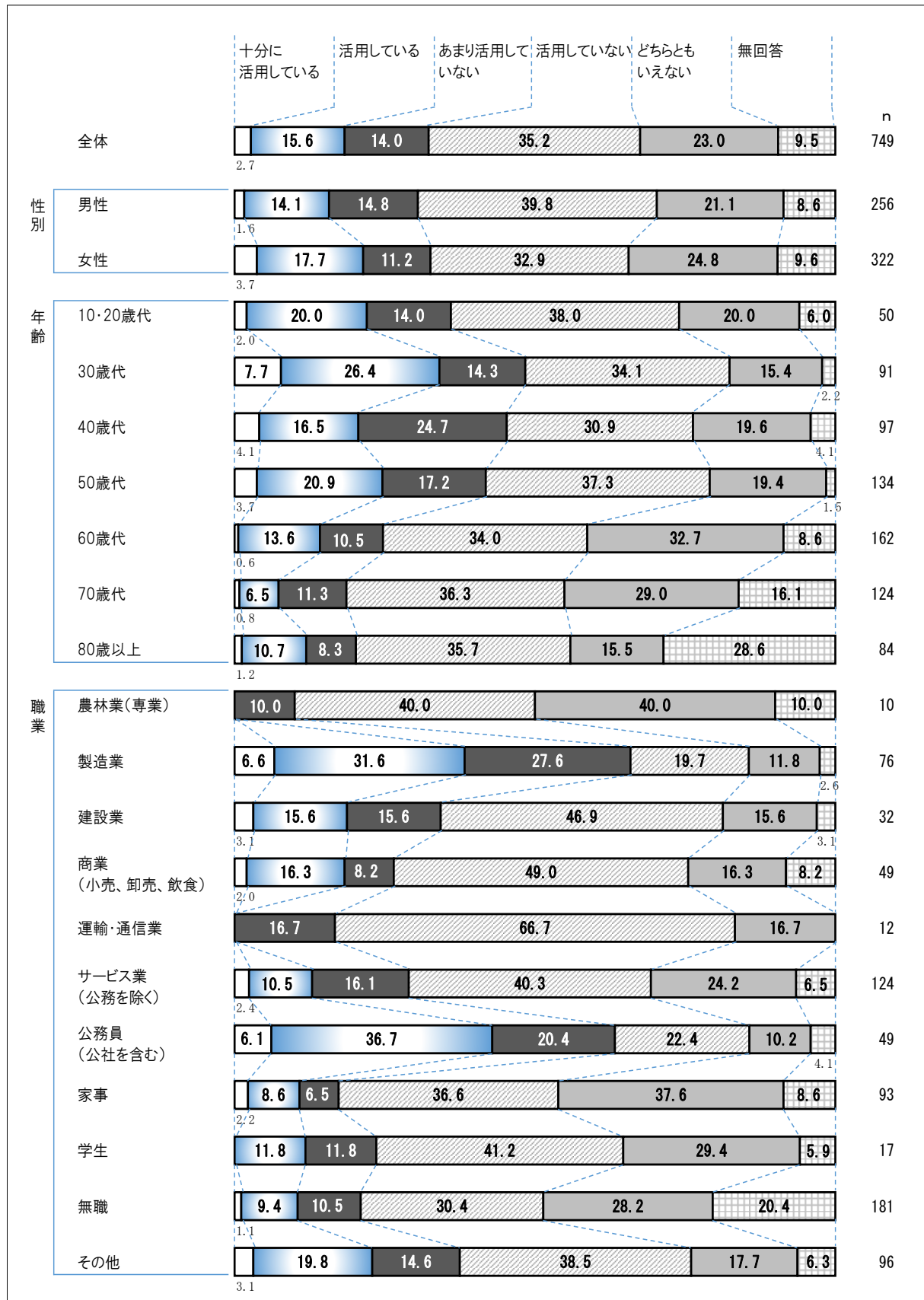
	「十分に活用している」、「活用している」の合計	「あまり活用していない」、「活用していない」の合計	どちらともいえない	無回答
全体	18.3	49.3	23.0	9.5
農林業（専業）	0.0	50.0	40.0	10.0
製造業	38.2	47.4	11.8	2.6
建設業	18.8	62.5	15.6	3.1
商業	18.4	57.1	16.3	8.2
運輸・通信業	0.0	83.3	16.7	0.0
サービス業	12.9	56.5	24.2	6.5
公務員	42.9	42.9	10.2	4.1
その他	22.9	53.1	17.7	6.3

※家事・学生・無職を除く。

図表 37-2 ワーク・ライフ・バランス制度の活用

(全体・性別・年齢・職業)

(単位：％)



31) 祭り・行事への参加等、町の歴史・伝統・文化の保護継承に対して取り組んでいますか。

● 町の歴史・伝統・文化の保護継承に対して取り組んでいる人は 33.0%。

町の歴史・伝統・文化の保護継承に対して取り組んでいる人は、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせて 33.0%、「あまり取り組んでいない」、「取り組んでいない」をあわせて 44.2%、「どちらともいえない」が 17.8%となっています。

性別でみると、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせた率では、男性（38.7%）が女性（28.0%）を大きく上回っています。

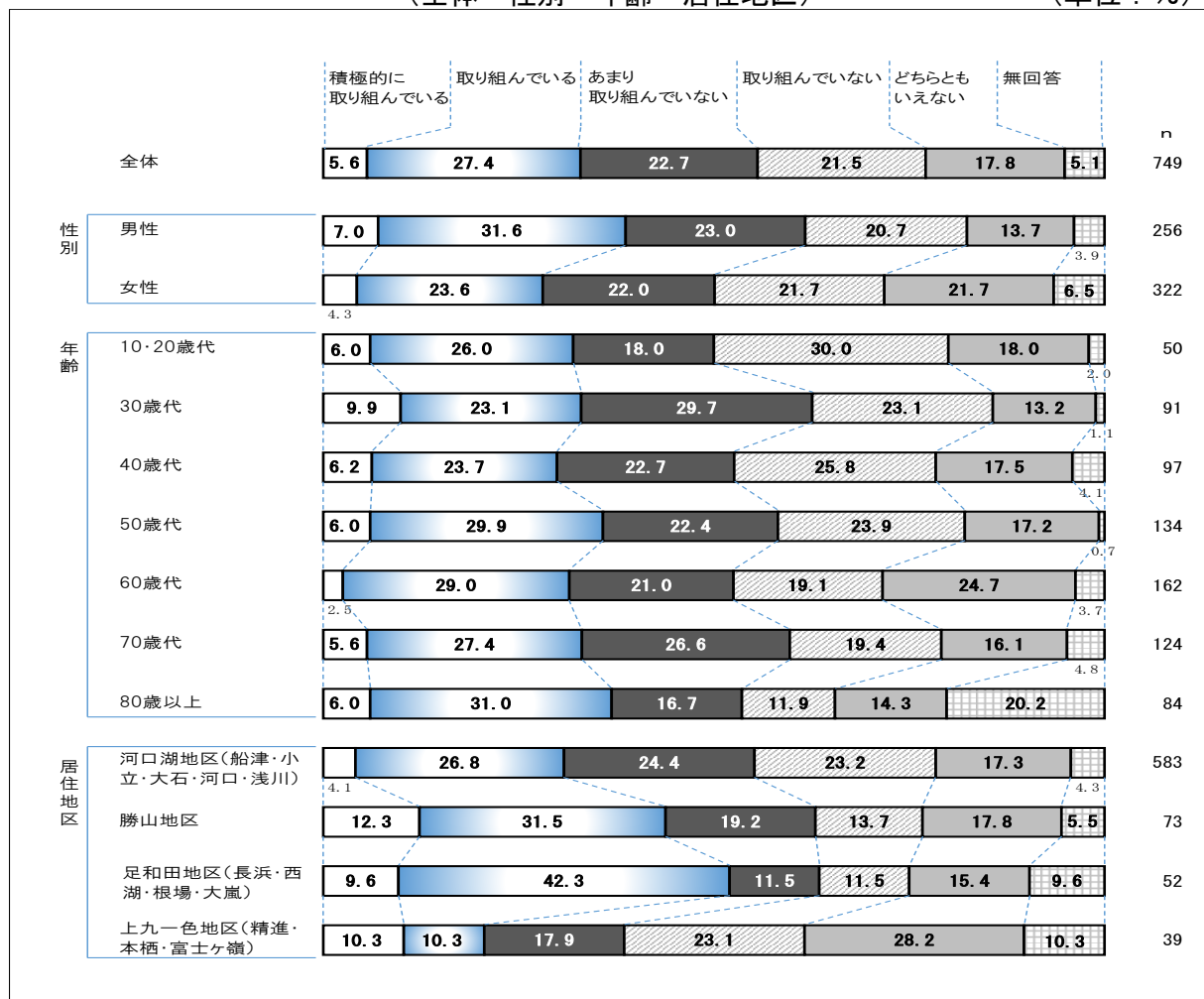
年齢でみると、全体と比較して、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせた率では、80 歳以上（36.9%）と 50 歳代（35.8%）が高くなっており、40 歳代（29.9%）が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせた率では、足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐）（51.9%）と勝山地区（43.8%）が高くなっており、上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺）（20.5%）が低くなっています。[図表 38]

図表 38 町の歴史・伝統・文化の保護継承への取り組み

（全体・性別・年齢・居住地区）

（単位：％）



32) 目的を持って学んでいるものがありますか。(学生の方は学校以外で)

- 目的を持って学んでいるものがある人は 36.0%。

目的を持って学んでいるものがある人は、「ある」、「どちらかといえばある」をあわせて 36.0%、「どちらかといえばない」、「ない」をあわせて 45.0%、「どちらともいえない」が 12.6%となっています。

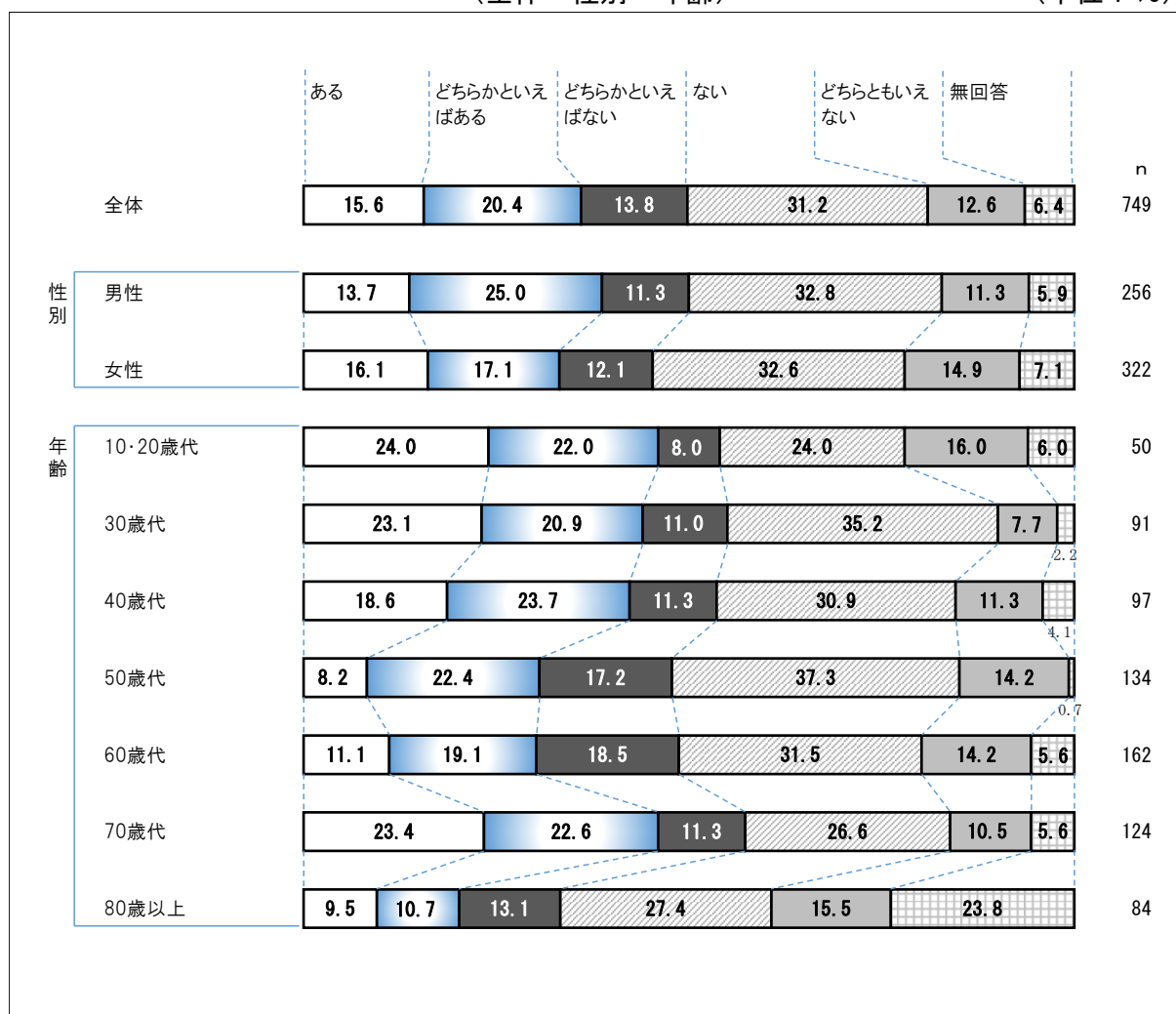
性別でみると、「ある」、「どちらかといえばある」をあわせた率では、男性（38.7%）が女性（33.2%）を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「ある」、「どちらかといえばある」をあわせた率では、10・20 歳代（46.0%）と 70 歳代（46.0%）、30 歳代（44.0%）、40 歳代（42.3%）が高くなっており、80 歳以上（20.2%）、60 歳代（30.2%）、50 歳代（30.6%）が低くなっています。[図表 39]

図表 39 目的を持って学んでいるものはあるか

(全体・性別・年齢)

(単位：%)



33) 住んでいる地域は高齢者や障がい者にも暮らしやすいと思いますか。

● 地域は高齢者や障がい者にも暮らしやすいと思う人は 29.6%。

地域は高齢者や障がい者にも暮らしやすいと思う人は、「十分に暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいと思う」をあわせて 29.6%、「あまり暮らしやすいと思わない」、「暮らしやすいと思わない」をあわせて 39.9%、「どちらともいえない」が 26.3%となっています。

性別でみると、「十分に暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいと思う」をあわせた率では、男性（31.3%）が女性（29.2%）をわずかに上回っています。

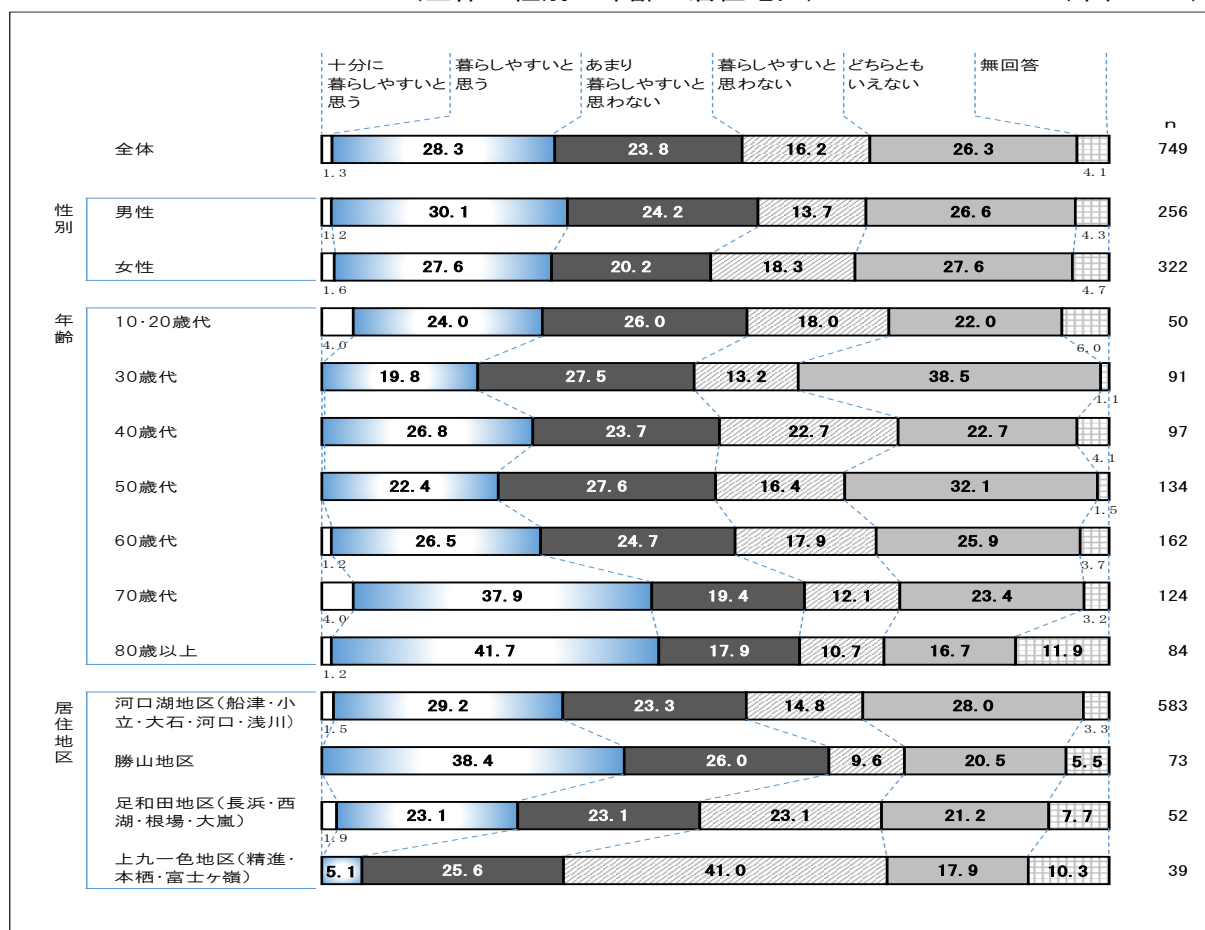
年齢でみると、全体と比較して、「十分に暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいと思う」をあわせた率では、80 歳以上（42.9%）と 70 歳代（41.9%）が高くなっており、30 歳代（19.8%）と 50 歳代（22.4%）が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「十分に暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいと思う」をあわせた率では、勝山地区（38.4%）、河口湖地区（船津・小立・大石・河口・浅川）（30.7%）が高くなっており、上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺）（5.1%）、足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐）（25.0%）が低くなっています。[図表 40]

図表 40 地域は高齢者や障がい者にも暮らしやすいか

（全体・性別・年齢・居住地区）

（単位：％）



34) 地域での登下校時の見守り・パトロールや街灯整備等の安全・安心を守る取組みに参加したことがありますか。

● 地域での安全・安心を守る取組みに参加したことがある人は 15.0%。

地域での登下校時の見守り・パトロールや街灯整備等の安全・安心を守る取組みに参加したことがある人は、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせて 15.0%、「あまり参加しない」が 17.1%、「参加したことがない」が 62.1%となっています。

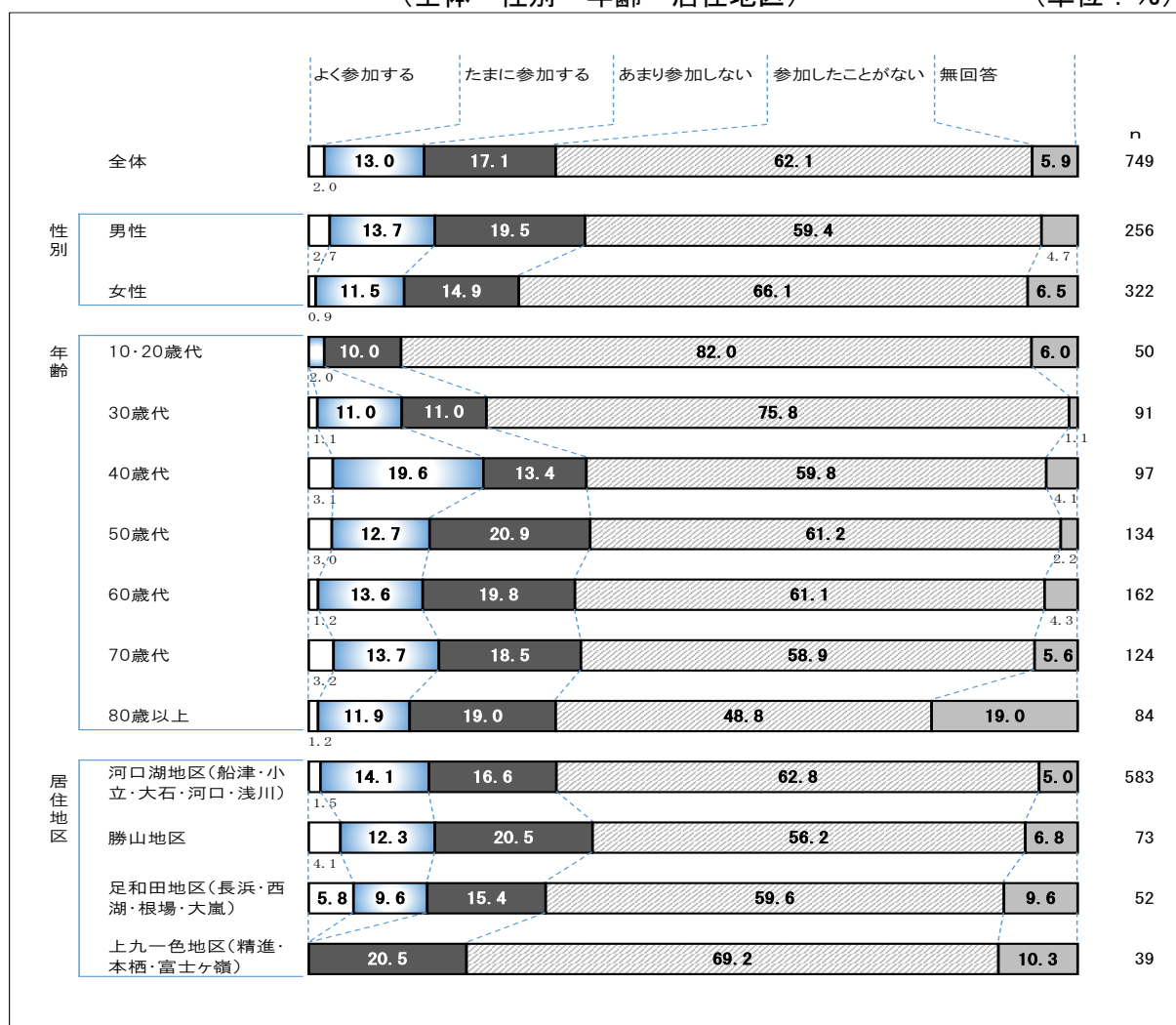
性別でみると、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた率では、男性（16.4%）が女性（12.4%）をわずかに上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた率では、40 歳代（22.7%）と 70 歳代（16.9%）が高くなっており、10・20 歳代（2.0%）と 30 歳代（12.1%）が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「よく参加する」、「たまに参加する」をあわせた率では、勝山地区（16.4%）が高くなっており、上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺）（0.0%）が低くなっています。[図表 41]

図表 41 地域での安全・安心を守る取組みに参加
(全体・性別・年齢・居住地区)

(単位：%)



35) クーリングオフ制度、消費者保護、消費者啓発等の消費に関わる学習に取り組んでいますか。

- 消費に関わる学習に取り組んでいる人は 9.5%。

クーリングオフ制度、消費者保護、消費者啓発等の消費に関わる学習に取り組んでいる人は、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせて 9.5%、「あまり取り組んでいない」、「取り組んでいない」をあわせて 65.2%、「どちらともいえない」が 19.8%となっています。

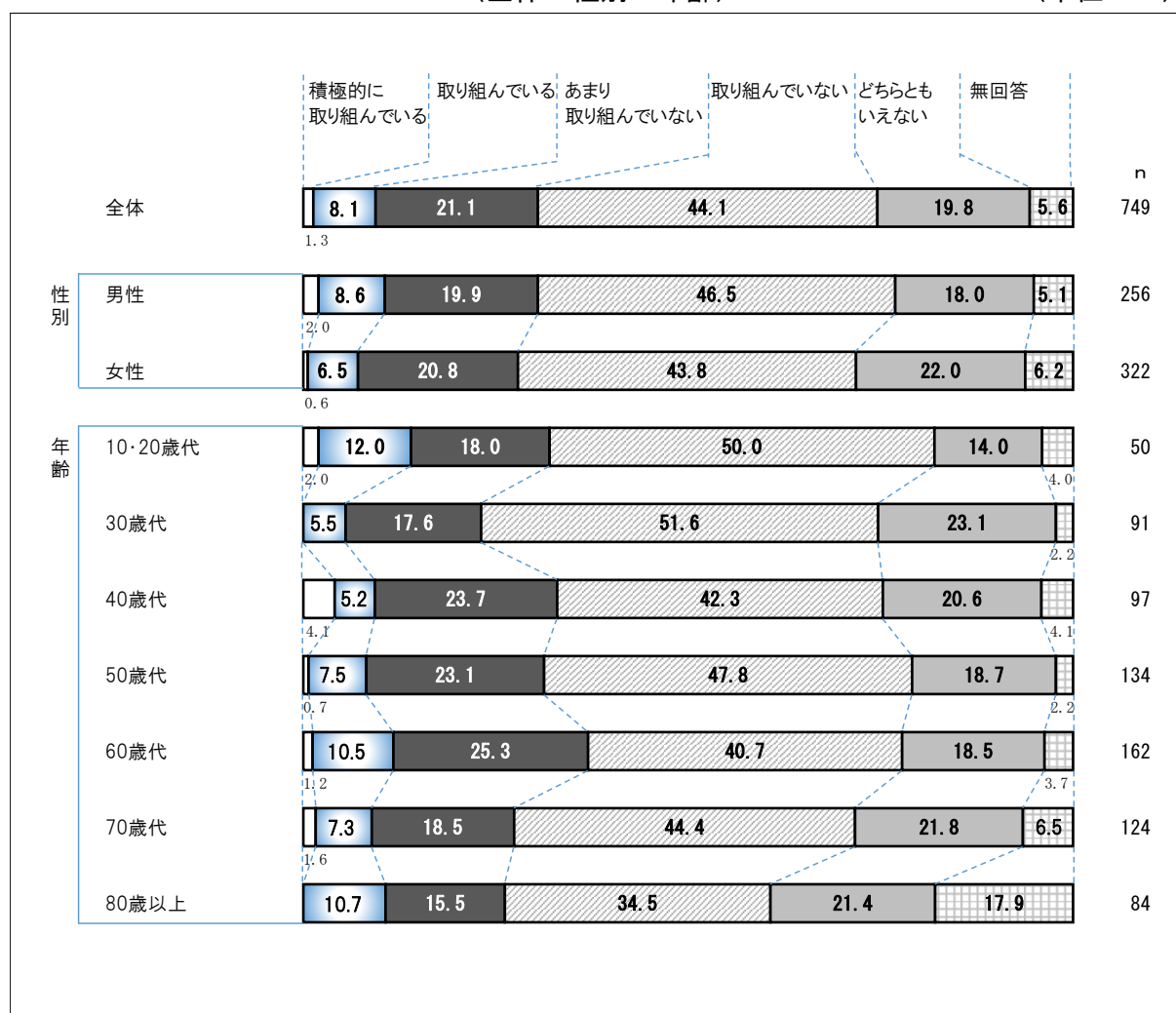
性別でみると、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせた率では、男性（10.5%）が女性（7.1%）をわずかに上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に取り組んでいる」、「取り組んでいる」をあわせた率では、10・20 歳代（14.0%）、60 歳代（11.7%）が高くなっており、30 歳代（5.5%）が低くなっています。[図表 42]

図表 42 消費に関わる学習への取り組み

（全体・性別・年齢）

（単位：％）



36) 火災・救急時に備えて消火栓、応急手当等の訓練を受けたことがありますか。

● 火災・救急時に備えて消火栓、応急手当等の訓練を受けたことがある人は49.0%。

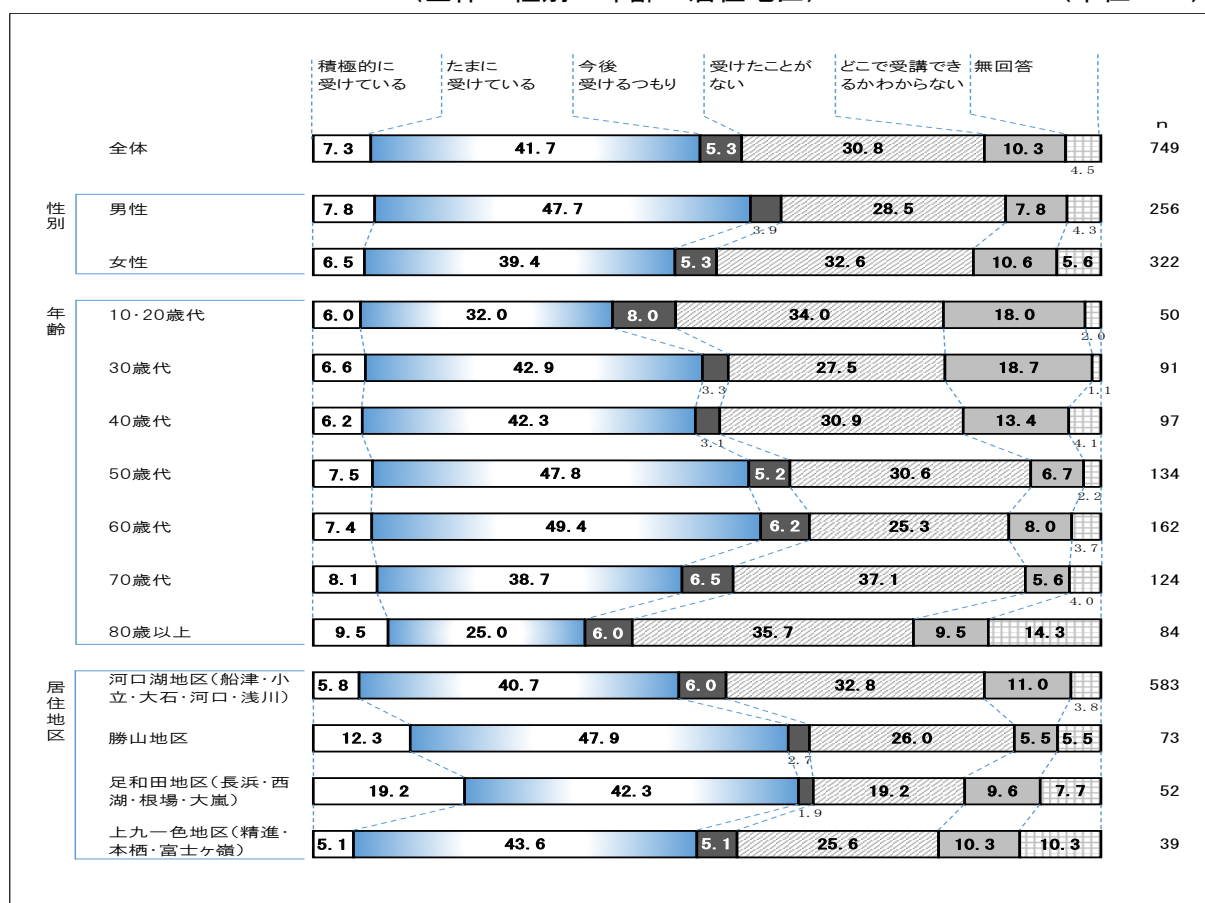
火災・救急時に備えて消火栓、応急手当等の訓練を受けたことがある人は、「積極的に受けている」、「たまに受けている」をあわせて49.0%、「今後受けるつもり」、「受けたことがない」をあわせて36.2%、「どこで受講できるかわからない」が10.3%となっています。

性別でみると、「積極的に受けている」、「たまに受けている」をあわせた率では、男性（55.5%）が女性（46.0%）を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に受けている」、「たまに受けている」をあわせた率では、60歳代（56.8%）と50歳代（55.2%）が高くなっており、80歳以上（34.5%）と10・20歳代（38.0%）が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「積極的に受けている」、「たまに受けている」をあわせた率では、足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐）（61.5%）と勝山地区（60.3%）が高くなっており、河口湖地区（船津・小立・大石・河口・浅川）（46.5%）が低くなっています。[図表 43]

図表 43 火災・救急時に備えて消火栓、応急手当等の訓練を受けたことがあるか
(全体・性別・年齢・居住地区) (単位：%)



37) 災害時の備蓄品、持ち出し物を準備していますか。

- 災害時の備蓄品や持ち出し物を準備している人、または準備しようと思っている人は76.4%。

災害時の備蓄品、持ち出し物を準備している人、または準備しようと思っている人は、「準備している」、「準備しようと思っている」をあわせて76.4%、「準備していない」、「必要ないと思っている」をあわせて18.0%、「準備品がわからない」が2.1%となっています。

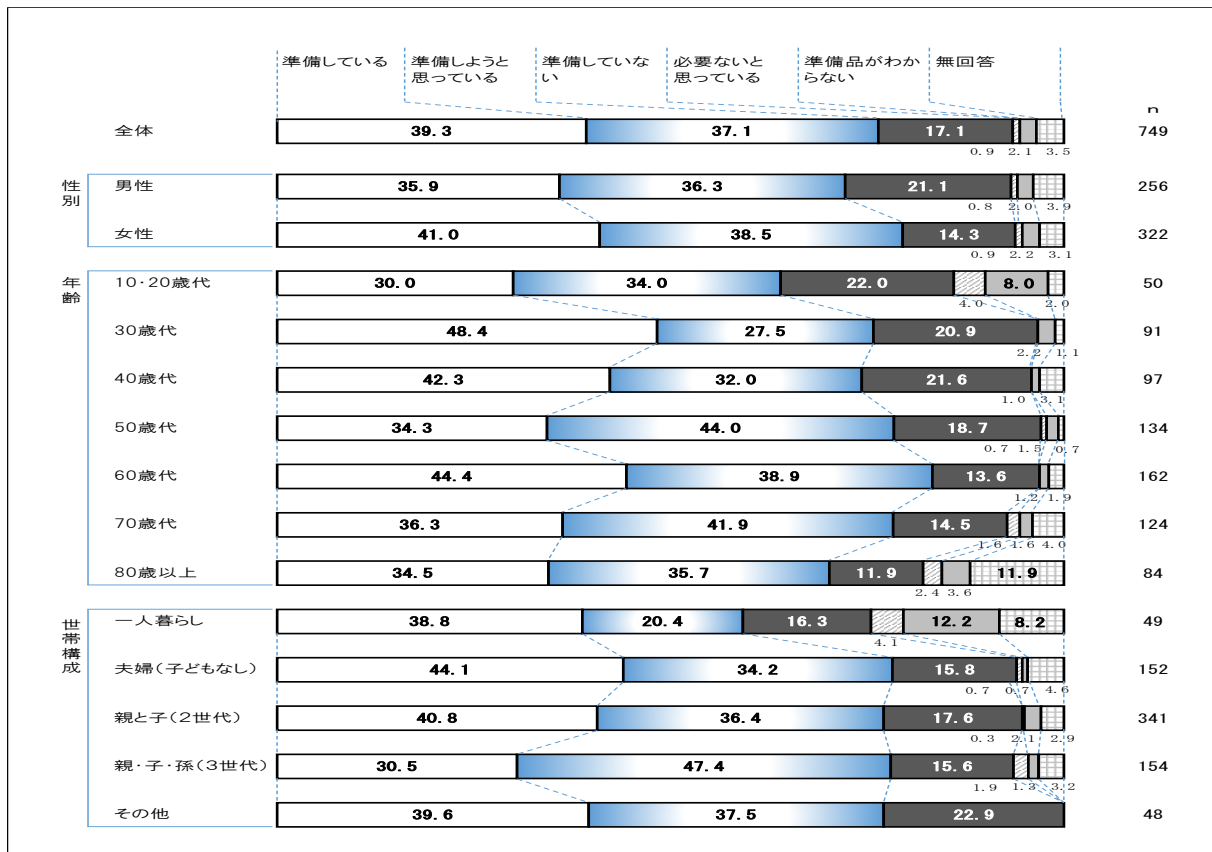
性別でみると、「準備している」、「準備しようと思っている」をあわせた率では、女性（79.5%）が男性（72.3%）を上回っています。

年齢でみると、「準備している」、「準備しようと思っている」をあわせた率では、全体と比較して60歳代（83.3%）と50歳代（78.4%）、70歳代（78.2%）が高くなっており、10・20歳代（64.0%）と80歳以上（70.2%）が低くなっています。なお、「準備している」率だけをみると、最も高かったのは30歳代（48.4%）でした。

世帯構成でみると、「準備している」、「準備しようと思っている」をあわせた率では、全体と比較して、夫婦（子どもなし）（78.3%）と親・子・孫（3世代）（77.9%）、親と子（2世代）（77.1%）、その他（77.1%）が高くなっており、一人暮らし（59.2%）が低くなっています。[図表 44]

図表 44 災害時の備蓄品、持ち出し物を準備しているか
(全体・性別・年齢・世帯構成)

(単位：%)



38) 少子高齢化などの問題を踏まえ、国民年金や介護保険等、将来の社会保障制度について不安はありますか。

● 将来の社会保障制度について不安のある人は 86.5%。

国民年金や介護保険等、将来の社会保障制度について不安のある人は、「すごく不安である」、「不安である」をあわせて 86.5%、「あまり不安ではない」、「不安はない」をあわせて 4.9%、「どちらともいえない」が 4.9%となっています。

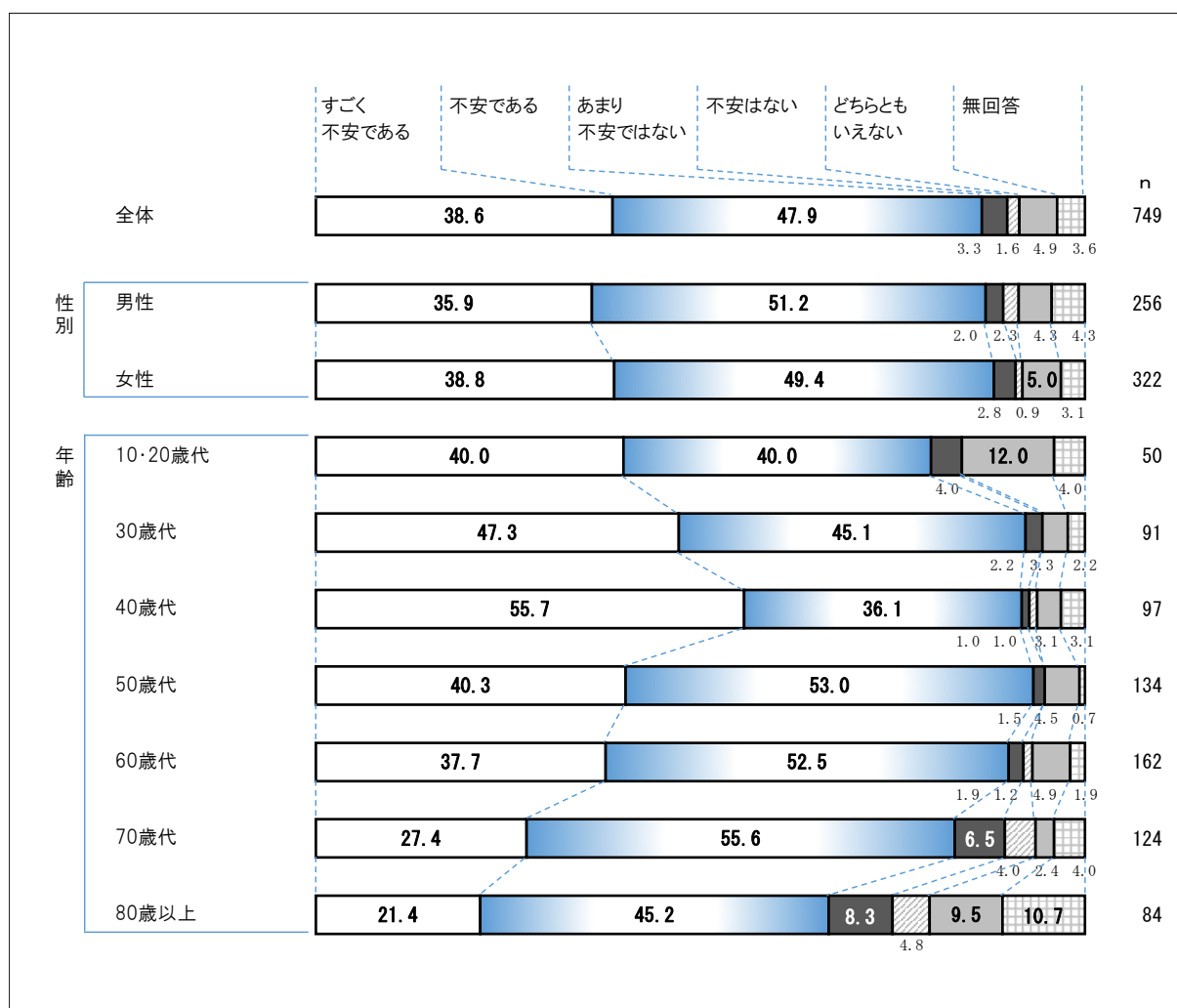
性別でみると、「すごく不安である」、「不安である」をあわせた率では、女性(88.2%)が男性(87.1%)をわずかに上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「すごく不安である」、「不安である」をあわせた率では、50 歳代(93.3%)と 30 歳代(92.3%)、40 歳代(91.8%)、60 歳代(90.1%)が高くなっており、80 歳以上(66.7%)、10・20 歳代(80.0%)、70 歳代(83.1%)が低くなっています。[図表 45]

図表 45 将来の社会保障制度への不安はあるか

(全体・性別・年齢)

(単位：%)



39) 市街地の再生を町民が自分たちの問題としてとらえ、行政との連携のもと、地域が主体となったまちづくりが行われていますか。

● 地域が主体となったまちづくりが行われていると思った人は 13.4%。

行政との連携のもと、地域が主体となったまちづくりが行われていると思った人は、「十分に行われている」、「行われている」をあわせて 13.4%、「あまり行われていない」、「行われていない」をあわせて 41.7%、「どちらともいえない」が 40.6%となっています。

性別でみると、「十分に行われている」、「行われている」をあわせた率では、大きな違いはありません。

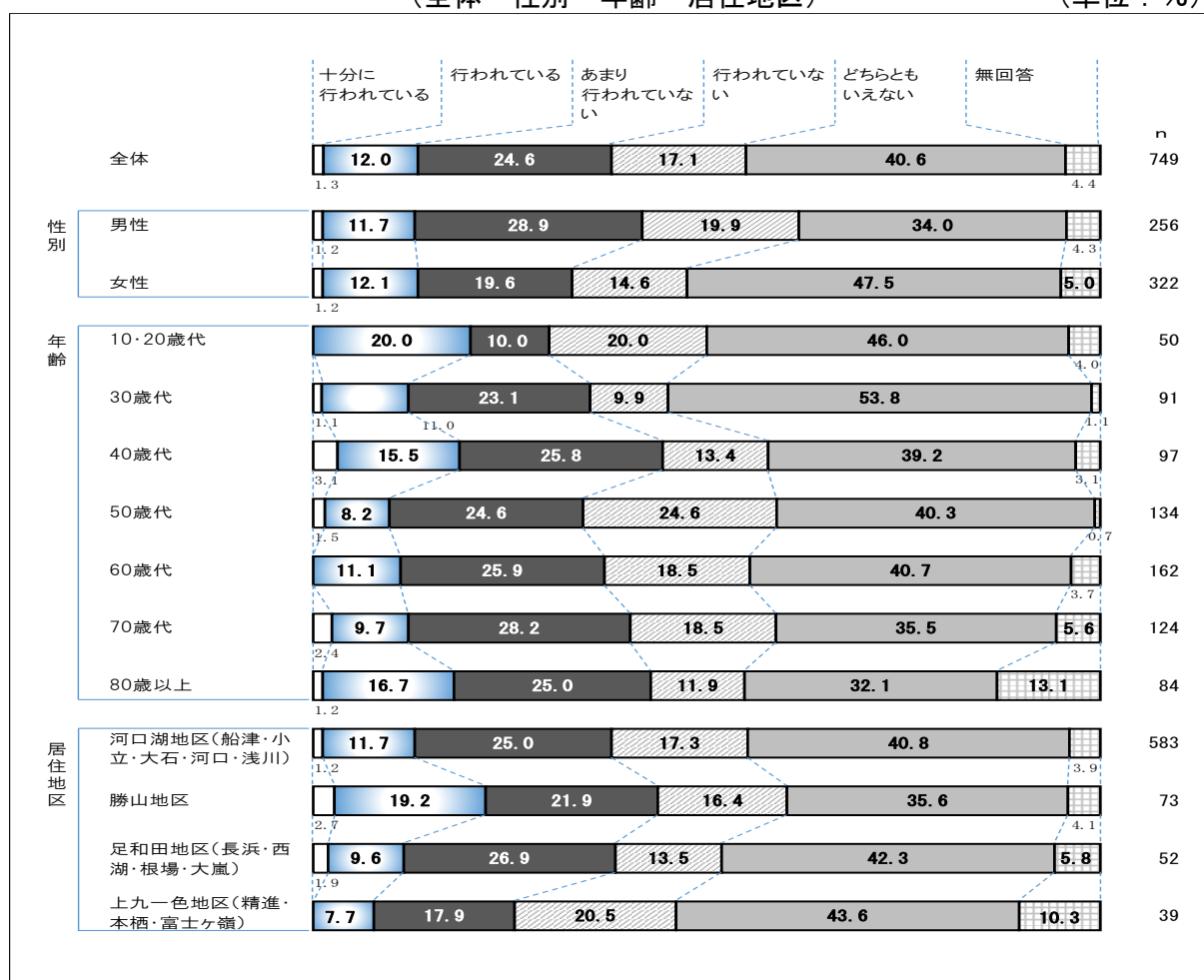
年齢でみると、全体と比較して、「十分に行われている」、「行われている」をあわせた率では、10・20 歳代（20.0%）と 40 歳代（18.6%）、80 歳以上（17.9%）が高くなっており、50 歳代（9.7%）と 60 歳代（11.1%）が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「十分に行われている」、「行われている」をあわせた率では、勝山地区（21.9%）が高くなっており、上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺）（7.7%）が低くなっています。[図表 46]

図表 46 地域が主体となったまちづくりが行われているか

（全体・性別・年齢・居住地区）

（単位：％）



40) 町の各種計画策定における、ワークショップや検討委員会に参加してみたいと思いますか。

- ワークショップや検討委員会に参加してみたいと思う人は 20.8%。

ワークショップや検討委員会に参加してみたいと思う人は、「積極的に参加したい」、「参加したい」をあわせて 20.8%、「あまり参加したくない」、「参加したくない」をあわせて 31.6%、「どちらともいえない」が 42.9%となっています。

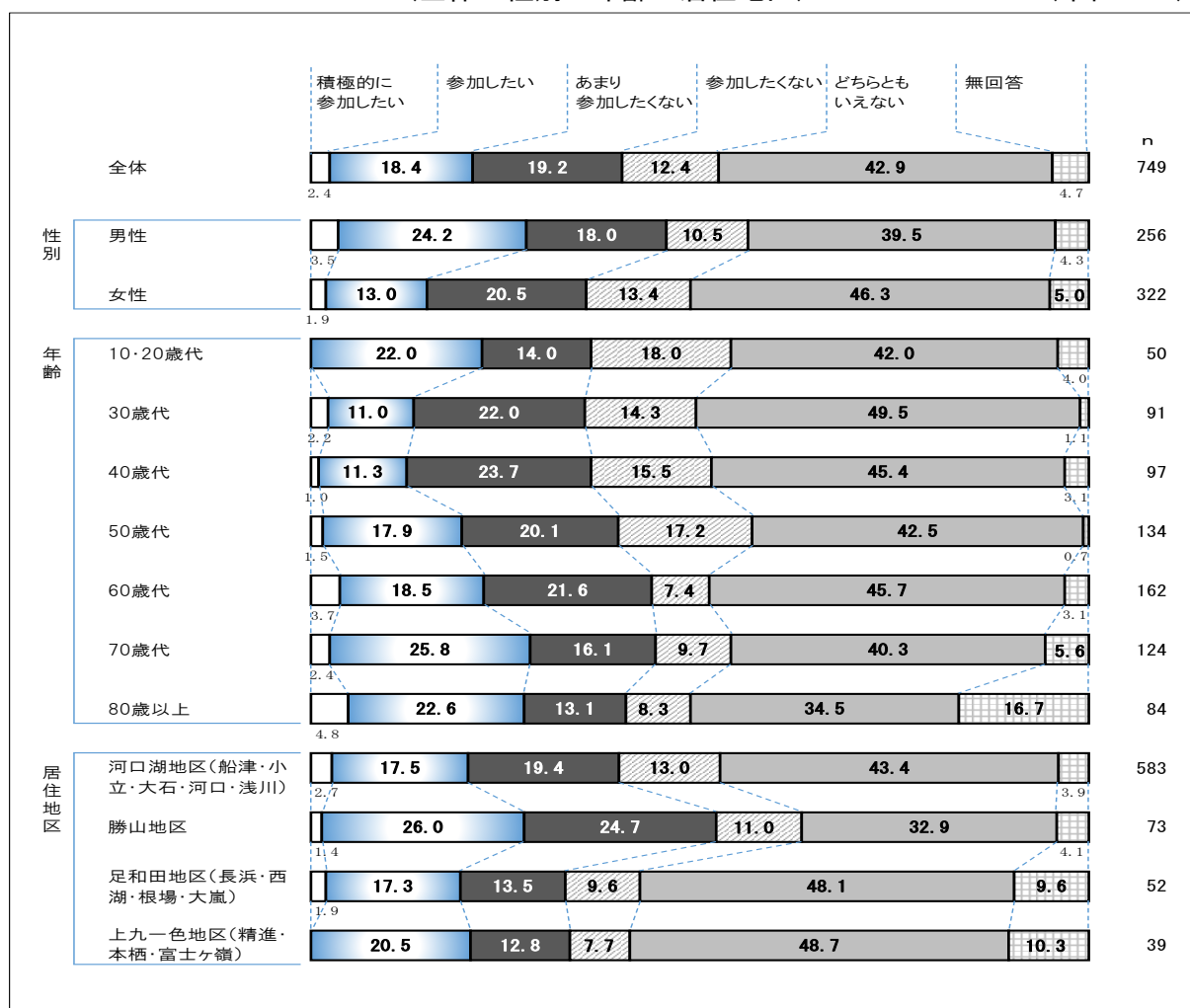
性別でみると、「積極的に参加したい」、「参加したい」をあわせた率では、男性（27.7%）が女性（14.9%）を大きく上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「積極的に参加したい」、「参加したい」をあわせた率では、70 歳代（28.2%）、80 歳以上（27.4%）、60 歳代（22.2%）、10・20 歳代（22.0%）が高くなっており、40 歳代（12.4%）、30 歳代（13.2%）が低くなっています。

居住地区でみると、全体と比較して、「積極的に参加したい」、「参加したい」をあわせた率では、勝山地区（27.4%）が高くなっています。[図表 47]

図表 47 ワークショップや検討委員会に参加
(全体・性別・年齢・居住地区)

(単位：%)



41) 今まで役場の窓口で行っていた各種の申請や手続きをパソコン等で電子申請ができることを知っていますか、また利用したことはありますか。



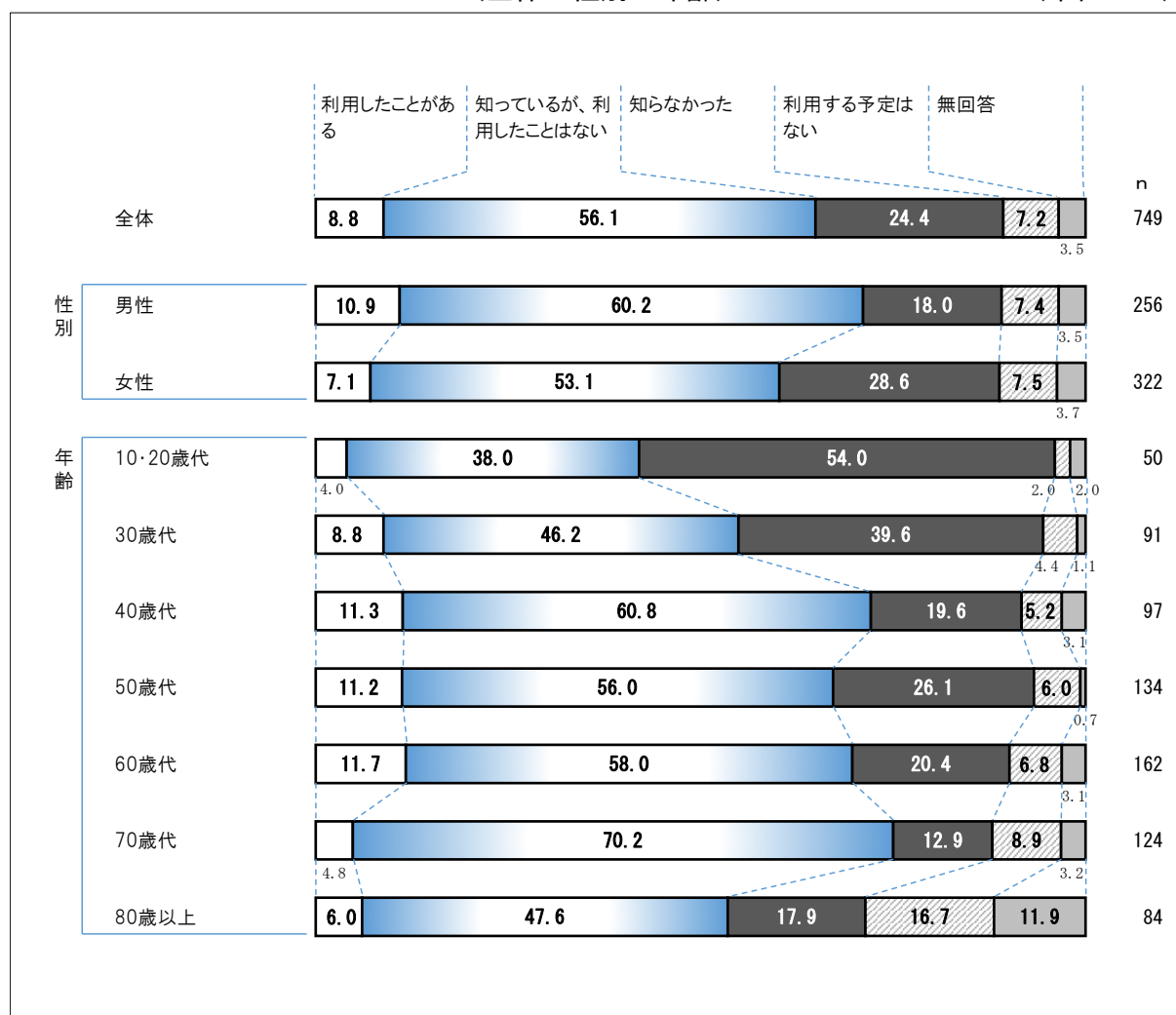
- 各種の申請や手続きをパソコン等で電子申請したことがある人は 8.8%。

各種の申請や手続きをパソコン等で電子申請したことがある人は、「利用したことがある」が 8.8%、「知っているが、利用したことはない」、「利用する予定はない」があわせて 63.3%、「知らなかった」が 24.4%となっています。

性別でみると、「利用したことがある」では、男性（10.9%）が女性（7.1%）を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して、「利用したことがある」では、60 歳代（11.7%）、40 歳代（11.3%）、50 歳代（11.2%）が高くなっており、10・20 歳代（4.0%）、70 歳代（4.8%）、80 歳以上（6.0%）が低くなっています。[図表 48]

図表 48 各種の申請や手続きをパソコン等で電子申請したことがあるか
(全体・性別・年齢) (単位：%)



42) 町の行財政に関する情報について、広報などを読んで関心を深めていますか。

- 町の行財政に関する情報について、広報などを読んで関心を深めている人は66.9%。

町の行財政に関する情報について、広報などを読んで関心を深めている人は、「大いに興味がある」、「まあ興味がある」をあわせて66.9%、「あまり興味がない」、「内容が良く分からない」をあわせて18.8%、「ほとんど見ていない」が10.5%となっています。

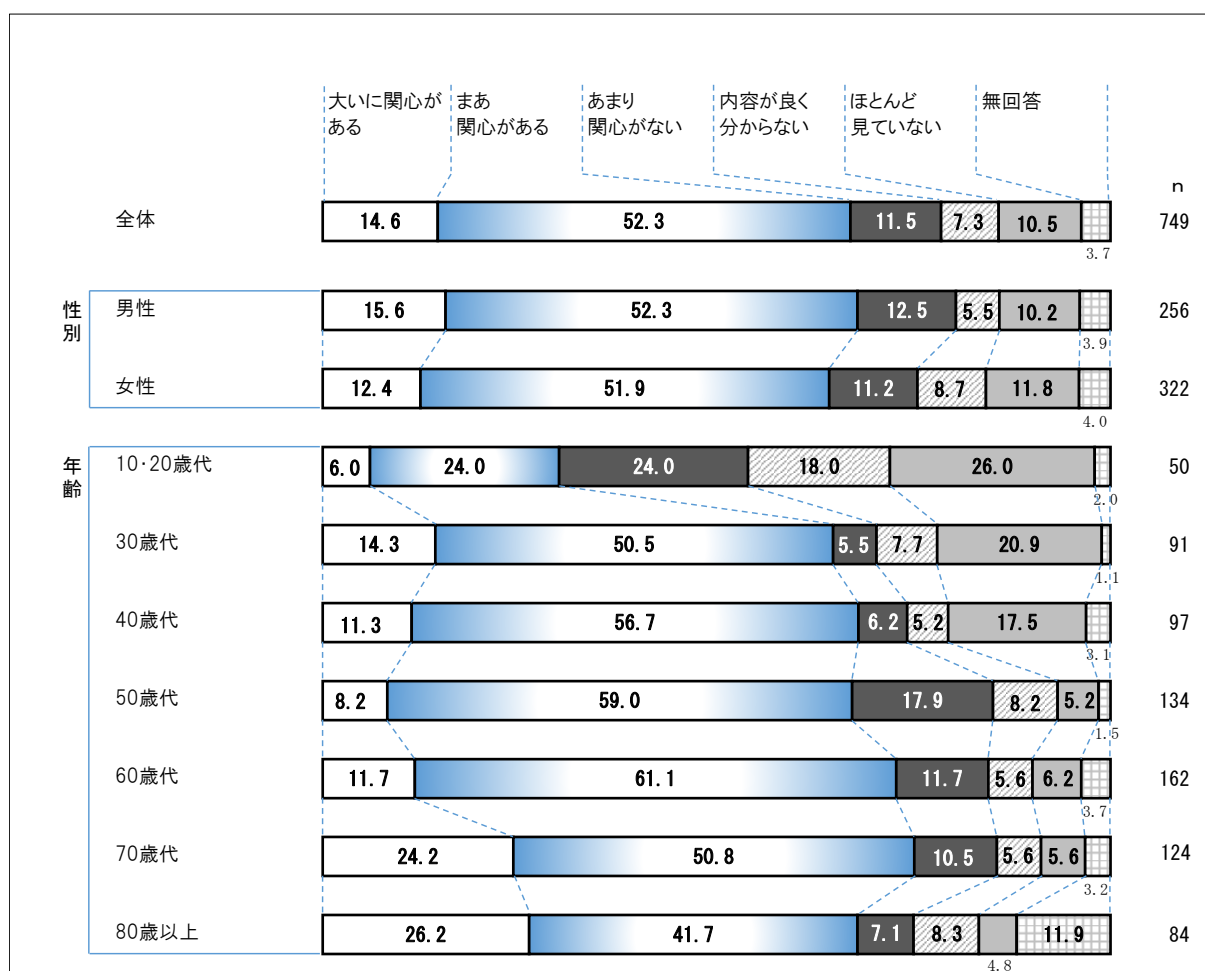
性別でみると、「大いに興味がある」、「まあ興味がある」をあわせた率では、男性（68.0%）が女性（64.3%）を上回っています。

年齢でみると、全体と比較して「大いに興味がある」、「まあ興味がある」をあわせた率では、70歳代（75.0%）と60歳代（72.8%）が高くなっており、10・20歳代（30.0%）が低くなっています。[図表 49]

図表 49 町の行財政に関する情報について関心を深めているか

（全体・性別・年齢）

（単位：％）



43) 町の様々な情報を収集するとき、特にどのように収集しますか。



- 「役場の情報誌」(62.5%)が第1位、次いで「近隣住民・知人・友人」(38.1%)の順。

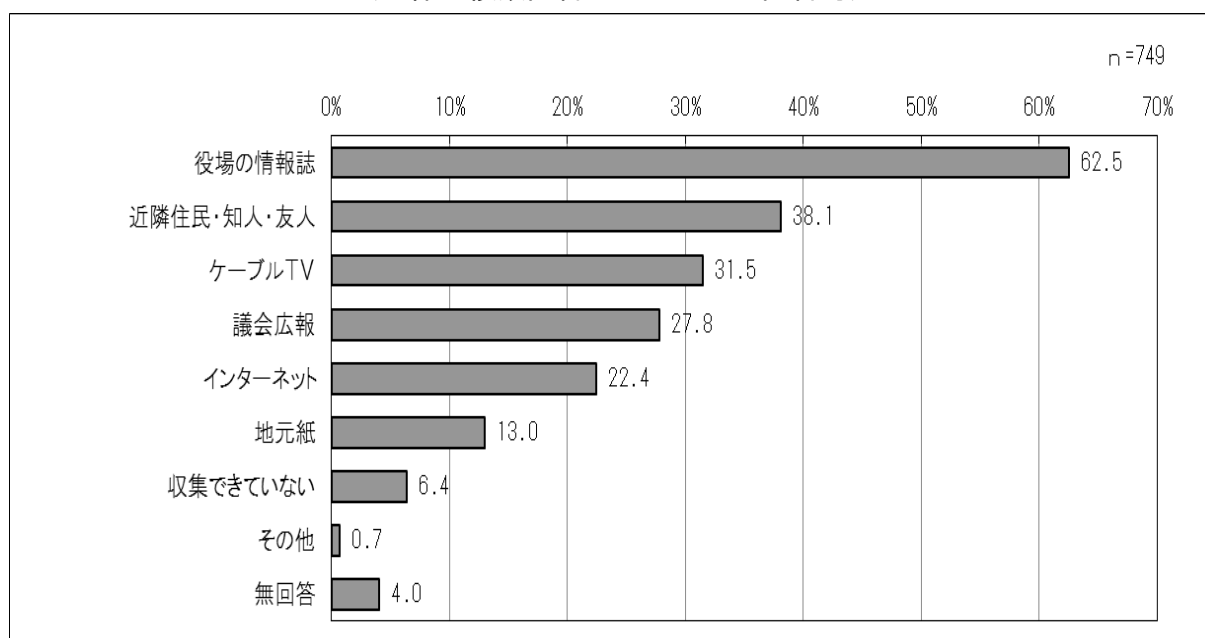
町の様々な情報を収集するとき、どのように収集するかたずねたところ、「役場の情報誌」(62.5%)が第1位、次いで「近隣住民・知人・友人」(38.1%)、「ケーブルTV」(31.5%)、「議会広報」(27.8%)、「インターネット」(22.4%)などの順となっています。[図表 50-1]

性別でみると、男女ともに第1位が「役場の情報誌」となっています。第2位は、男性が「ケーブルTV」、女性が「近隣住民・知人・友人」となっています。

年齢でみると、10・20歳代では「インターネット」が第1位となっており、30歳代以上では「役場の情報誌」が第1位となっています。また、第2位、第3位には、「議会広報」、「ケーブルTV」、「近隣住民・知人・友人」などがあげられています。

居住地区でみると、全ての地区で「役場の情報誌」が第1位となっています。また、第2位は全ての地区で「近隣住民・知人・友人」となっています。[図表 50-2]

図表 50-1 町の様々な情報の収集について
(全体/複数回答：いくつでも回答可)



図表 50-2 町の様々な情報の収集について
 (全体・性別・年齢・居住地区／複数回答：いくつでも回答可)
 (上位3位、単位：%)

		第1位	第2位	第3位
全 体		役場の情報誌	近隣住民・知人・友人	ケーブルＴＶ
		62.5%	38.1%	31.5%
性 別	男性	役場の情報誌	ケーブルＴＶ	近隣住民・知人・友人
		64.5%	34.8%	33.6%
	女性	役場の情報誌	近隣住民・知人・友人	ケーブルＴＶ
		62.7%	42.5%	30.4%
年 齢	10・20 歳代	インターネット	役場の情報誌	ケーブルＴＶ
		36.0%	30.0%	26.0%
	30 歳代	役場の情報誌	インターネット	近隣住民・知人・友人
		50.5%	45.1%	38.5%
	40 歳代	役場の情報誌	インターネット	近隣住民・知人・友人
		58.8%	41.2%	39.2%
	50 歳代	役場の情報誌	近隣住民・知人・友人	議会広報
		63.4%	38.1%	26.9%
	60 歳代	役場の情報誌	近隣住民・知人・友人	ケーブルＴＶ
		75.3%	37.0%	34.6%
	70 歳代	役場の情報誌	近隣住民・知人・友人	議会広報
		75.0%	49.2%	38.7%
	80 歳以上	役場の情報誌	議会広報	ケーブルＴＶ/近隣住民・知人・友人
		57.1%	32.1%	29.8%
居 住 地 区	河口湖地区(船津・小立・大石・河口・浅川)	役場の情報誌	近隣住民・知人・友人	ケーブルＴＶ
		63.3%	38.9%	33.3%
	勝山地区	役場の情報誌	近隣住民・知人・友人	議会広報
		60.3%	34.2%	32.9%
	足和田地区(長浜・西湖・根場・大嵐)	役場の情報誌	近隣住民・知人・友人	議会広報/ケーブルＴＶ
		65.4%	32.7%	26.9%
	上九一色地区(精進・本栖・富士ヶ嶺)	役場の情報誌	近隣住民・知人・友人	議会広報
		51.3%	38.5%	33.3%

Ⅲ 自由意見

■富士河口湖町のまちづくりに対する要望・意見・提案等

問9 現在、もしくは将来に向けて町政に望むことや、まちづくりに関するご意見・ご提案等がありましたら、ご自由にご記入ください。

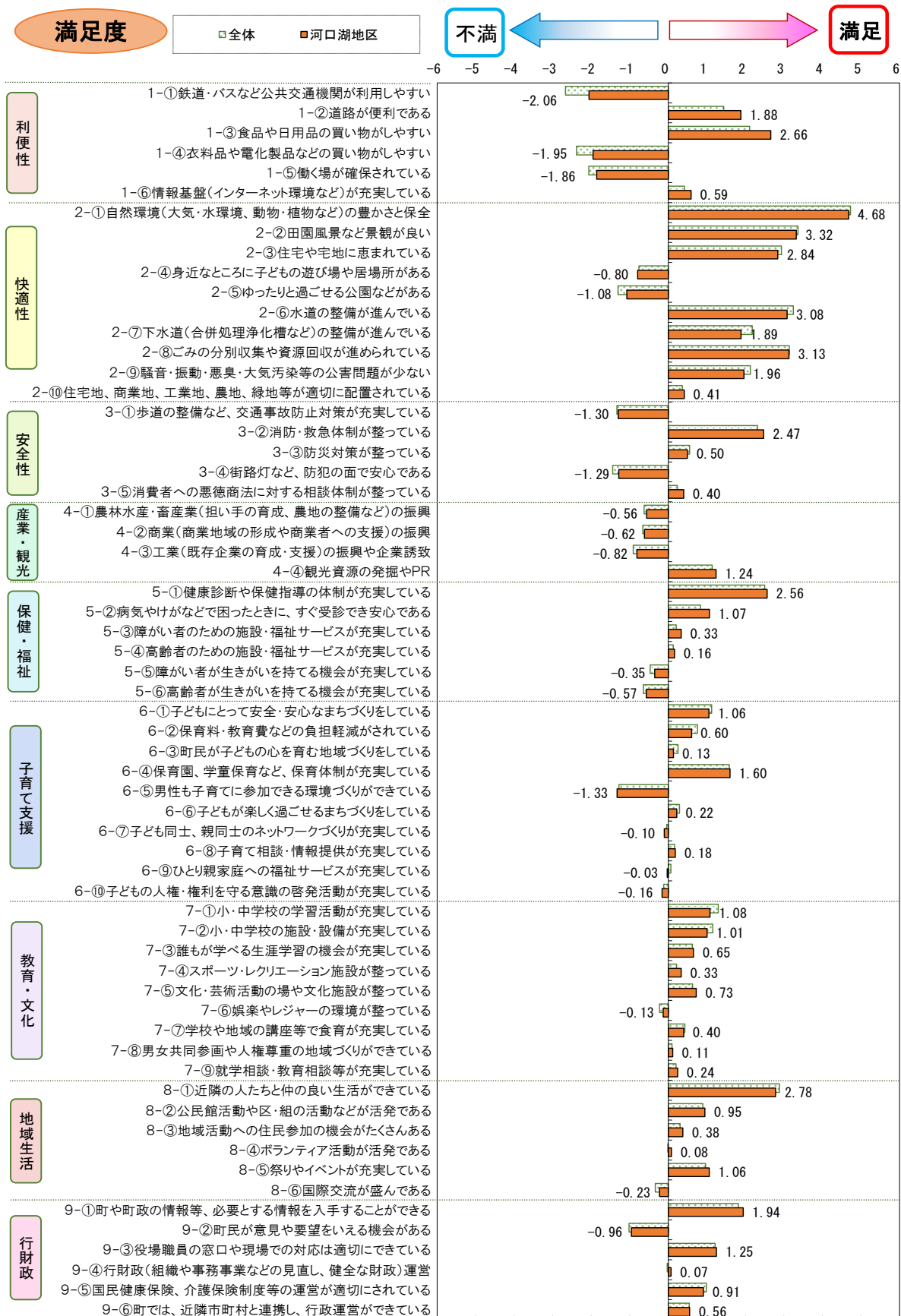


本町の町政に対する要望、まちづくりに対して寄せられた意見・提案等をテキストマイニング方式により単語やフレーズを抽出し、該当する各分野へ分類したところ、下表のように「2 快適性」への要望・意見・提案等が多くみられました。

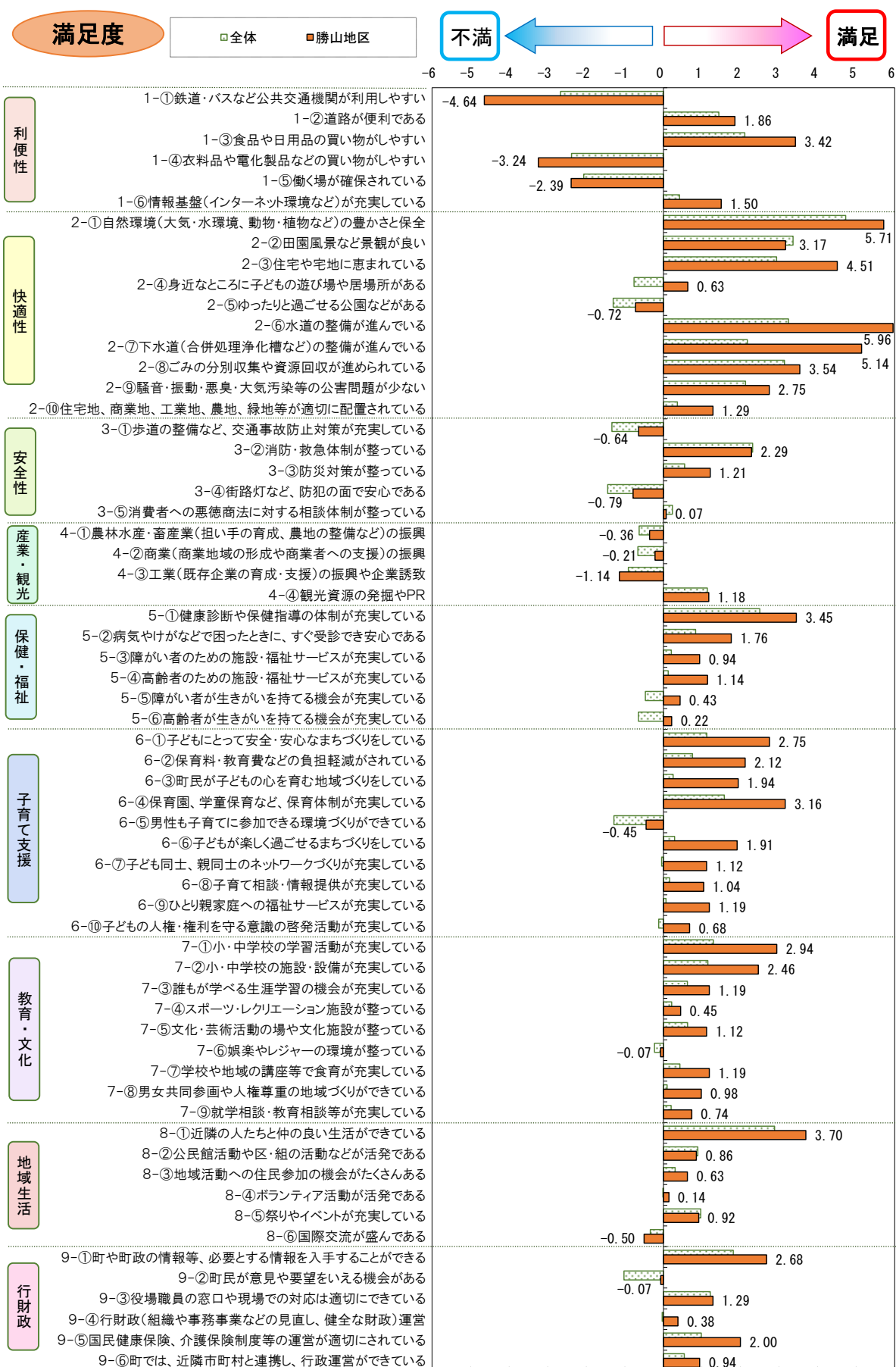
分野	該当項目等	計	比率 %
1 利便性	公共交通機関（鉄道・バスなど）・道路・買い物（食品、日用品、衣料品、電化製品）・働く場の確保・情報基盤（インターネット環境など）などの状況に関すること	44	10.7
2 快適性	自然環境（大気・水環境、動物・植物など）・景観・住宅や宅地・子どもの遊び場や居場所・公園・水道の整備・下水道の整備・ごみの分別収集や資源回収・公害問題（騒音・振動・悪臭・大気汚染等）・土地利用や市街地整備などの状況に関すること	96	23.2
3 安全性	交通事故防止対策・消防・救急体制・防災対策・悪徳商法に対する相談体制などの状況に関すること	30	7.3
4 産業・観光	農林水産・畜産業（担い手の育成、農地の整備など）の振興・商業（商業地域の形成や事業者への支援）の振興・工業（既存企業の育成・支援）の振興や企業誘致・観光資源の発掘やPRなどの状況に関すること	30	7.3
5 保健・福祉	医療・健康づくりに取り組む機会・健康診断や保健指導の体制・受診体制・障がい者（児）や高齢者のための施設・福祉サービス、生きがいを持てる機会などの状況に関すること	29	7.0
6 子育て支援	子どもにとって安全・安心なまちづくり・保育料・教育費などの負担軽減・住民が子どもの心を育む地域づくり・保育体制の充実・男性も子育てに参加できる環境づくり・子どもが楽しく過ごせるまちづくり・子や親のネットワークづくりの充実・子育て相談・情報提供・ひとり親家庭への福祉サービス・子どもの人権・権利を守る意識の啓発活動などの状況に関すること	17	4.1
7 教育・文化	小・中学校の学習活動や施設・設備・生涯学習の機会・スポーツ、レクリエーション施設・文化・芸術活動の場や文化施設整備・娯楽やレジャーの環境整備・食育の講座等充実・男女共同参画や人権尊重の地域づくり・就学相談・教育相談等の充実などの状況に関すること	14	3.4
8 地域生活	近隣付き合い・公民館活動や区、組の活動・地域活動への住民参加の機会・ボランティア活動・祭りやイベントの充実・国際交流などの状況に関すること	15	3.6
9 行財政	情報等の入手・町民が意見や要望を言える機会・役場職員の窓口や現場での対応・行財政（組織や事務事業などの見直し、健全な財政）運営・国民健康保険、介護保険制度等の運営・広域行政運営などの状況に関すること	43	10.4
10 その他	上記に該当しないもの	95	23.0
合 計		413	100

Ⅳ 地区別満足度・重要度・優先度グラフ

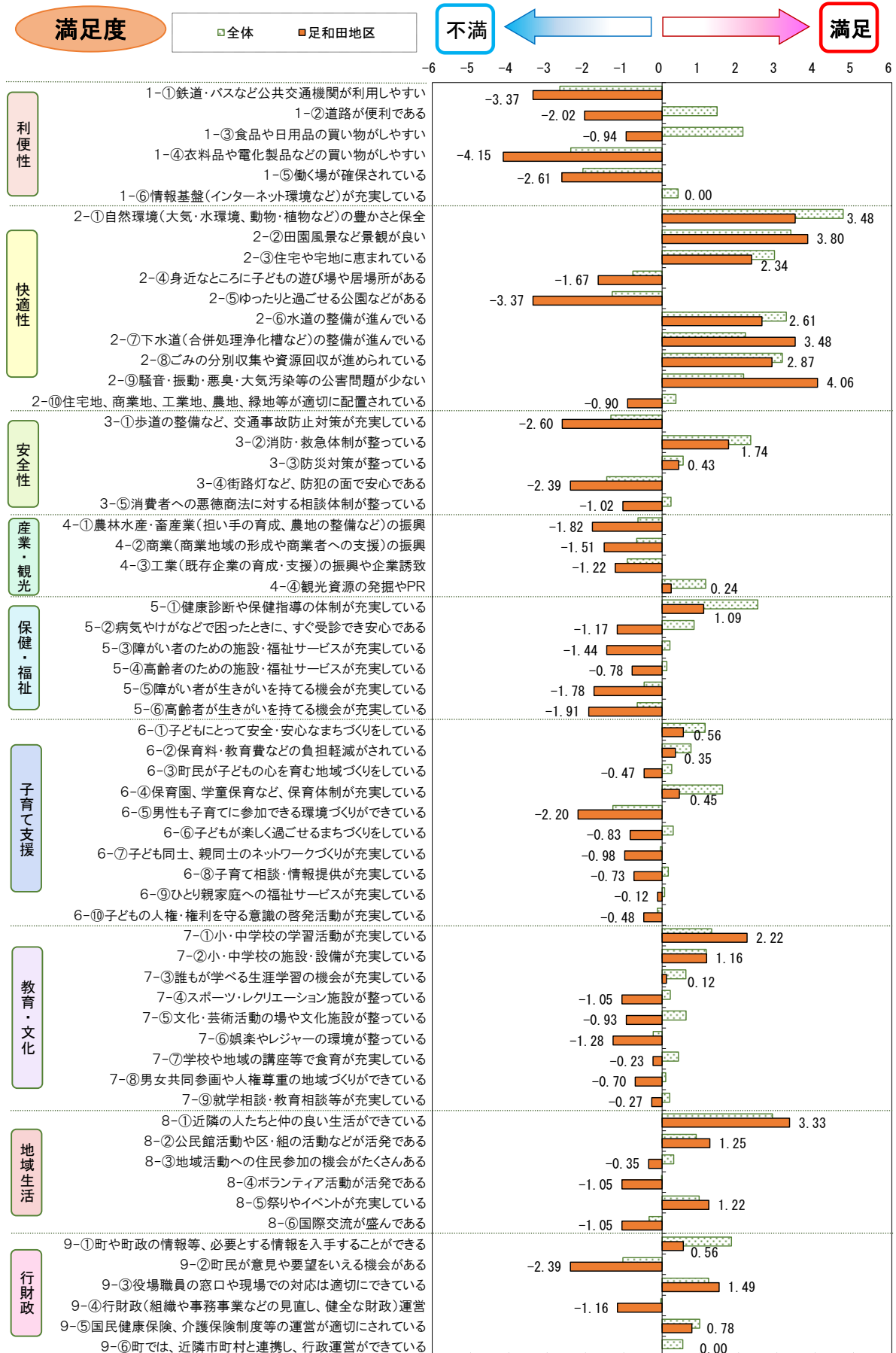
まちの各環境に関する満足度（河口湖地区（船津・小立・大石・河口・浅川））



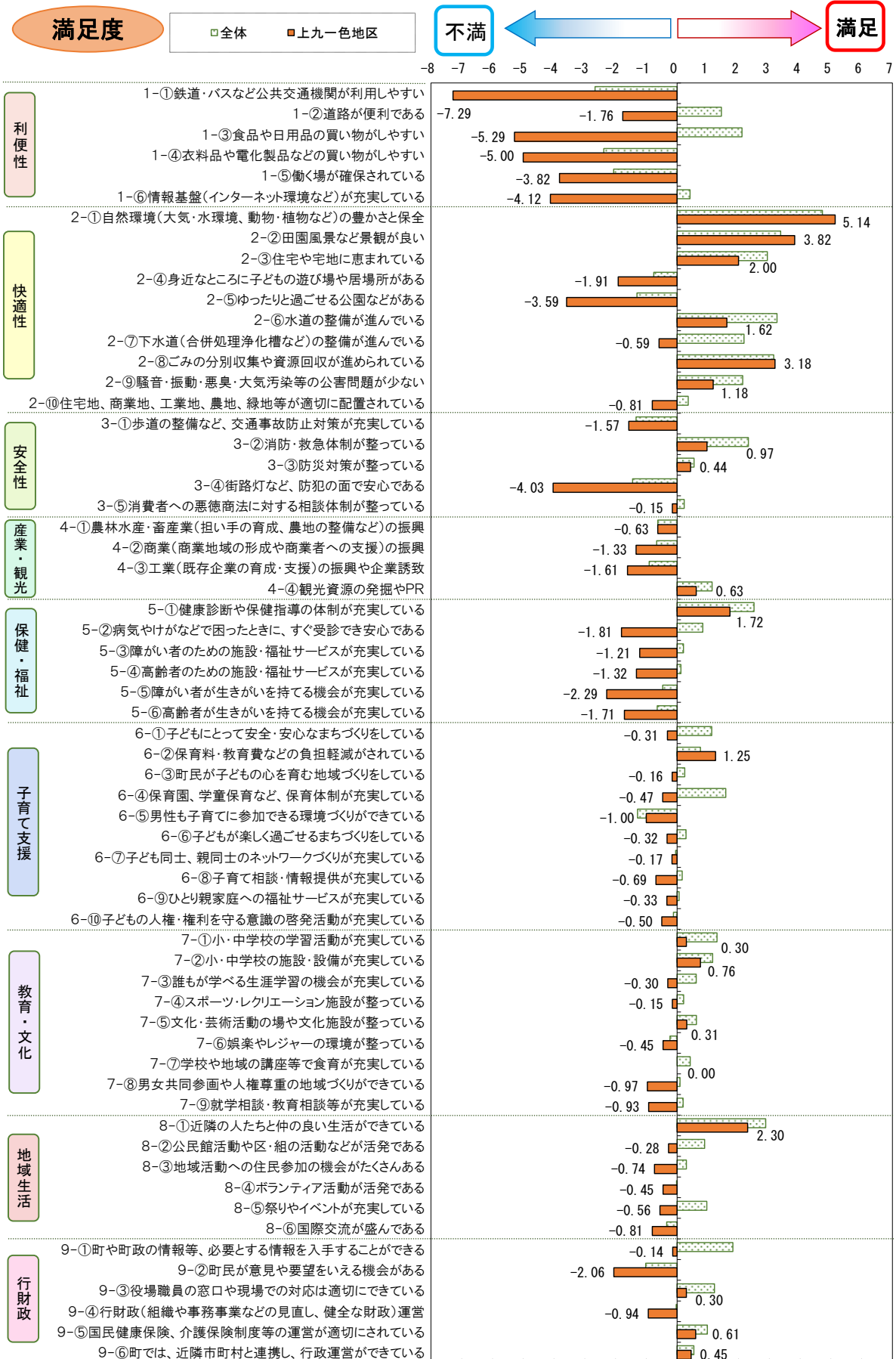
まちの各環境に関する満足度（勝山地区）



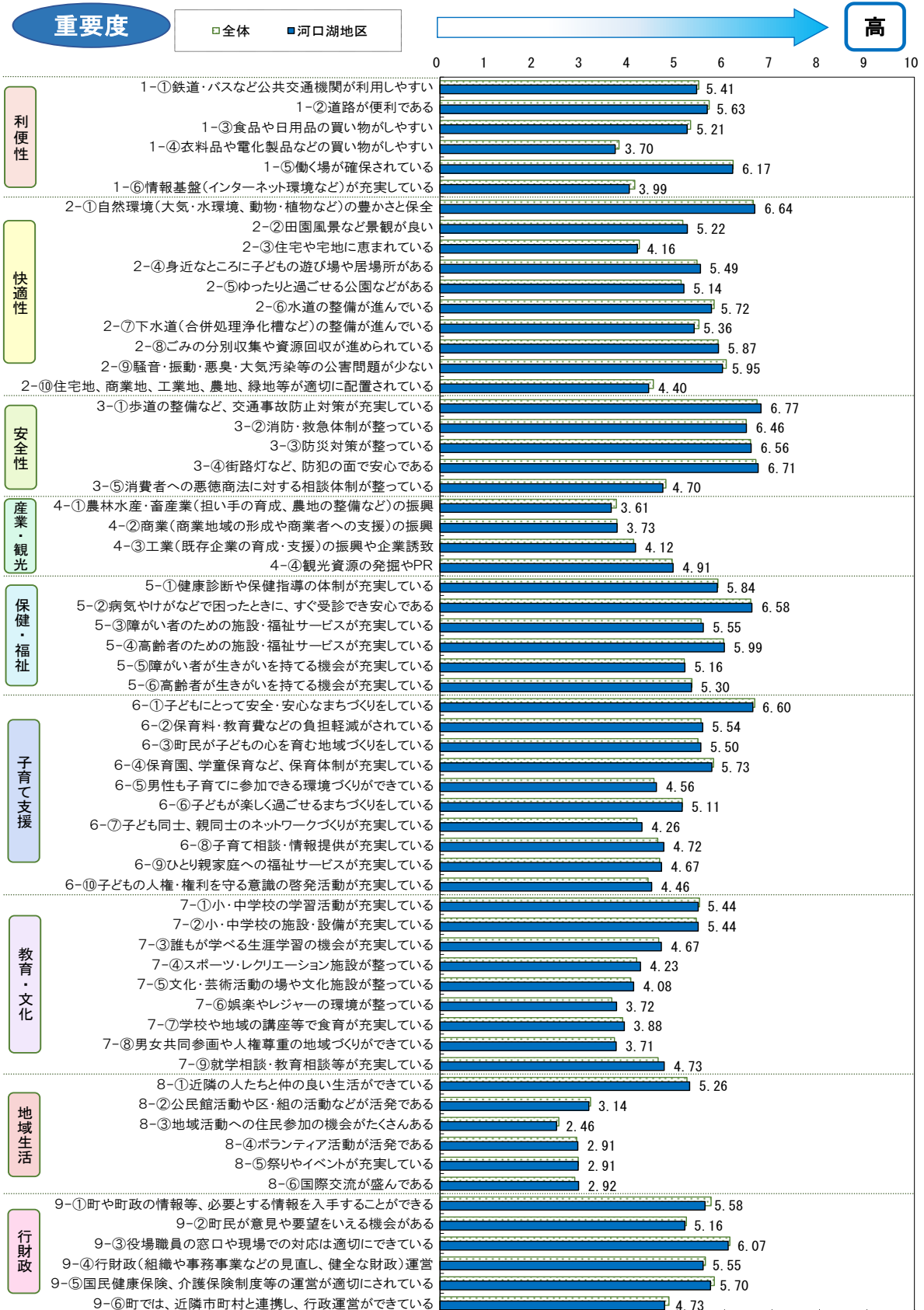
まちの各環境に関する満足度（足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐））



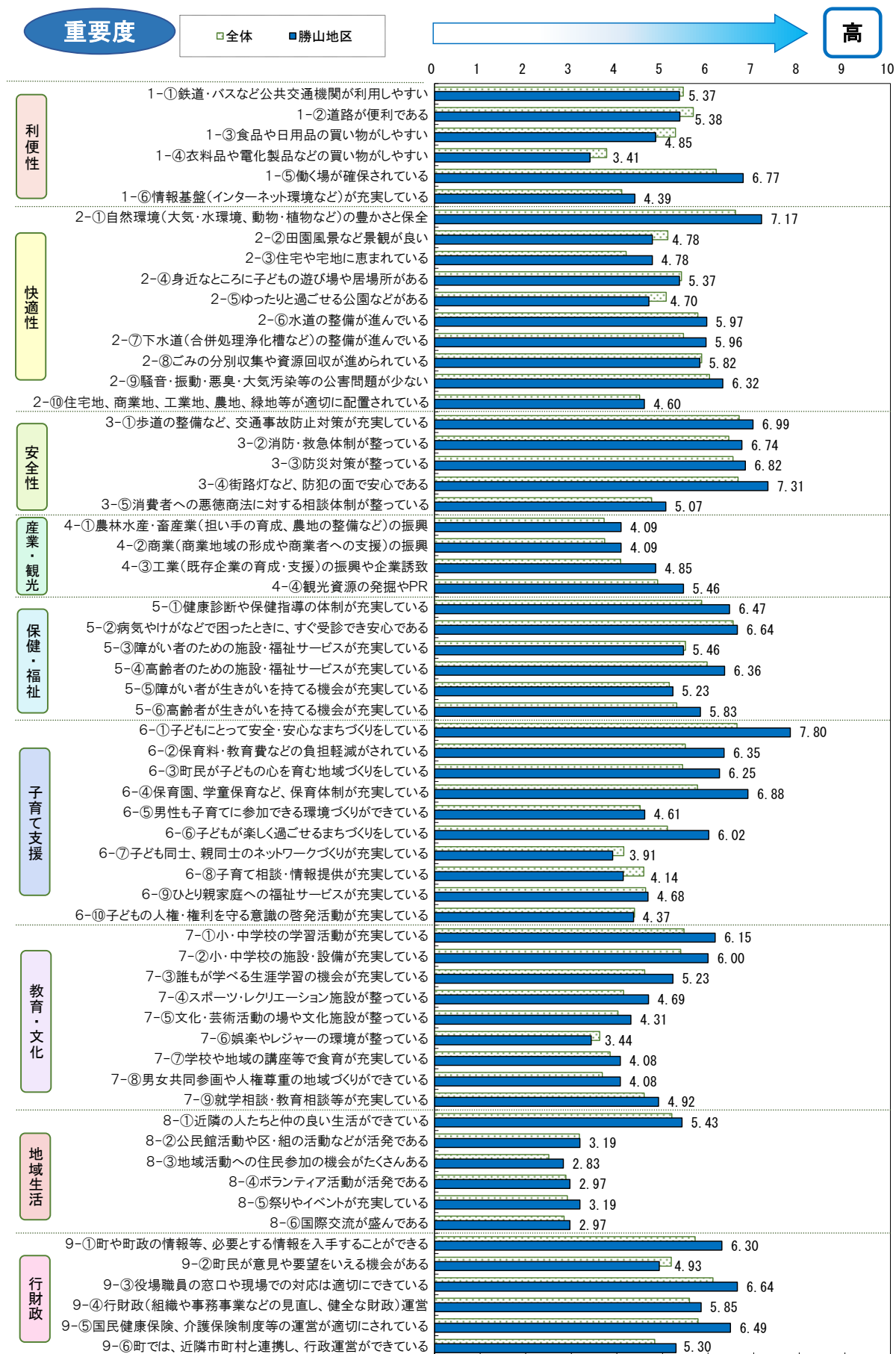
まちの各環境に関する満足度（上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺））



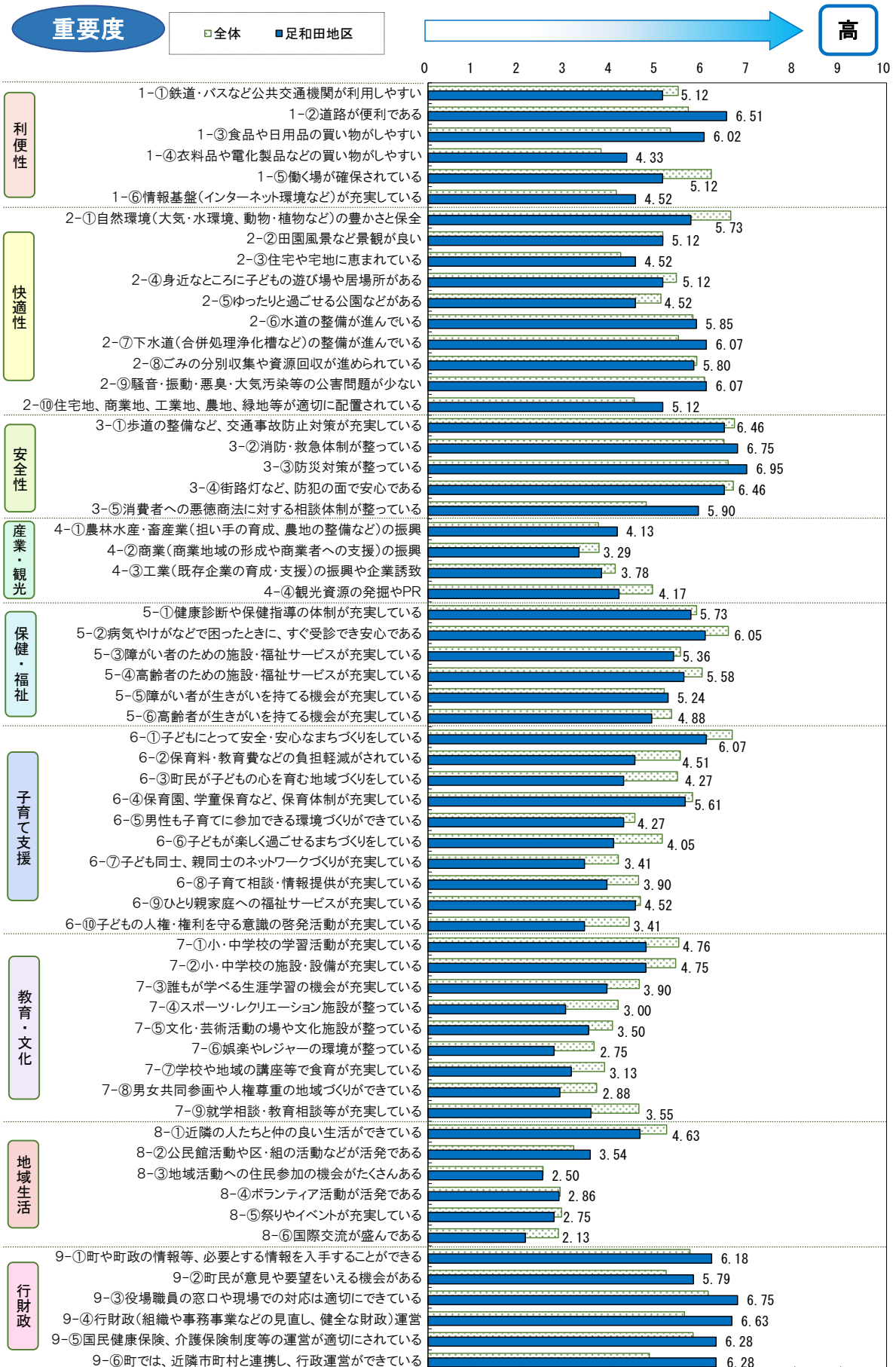
まちの各環境に関する重要度（河口湖地区（船津・小立・大石・河口・浅川））



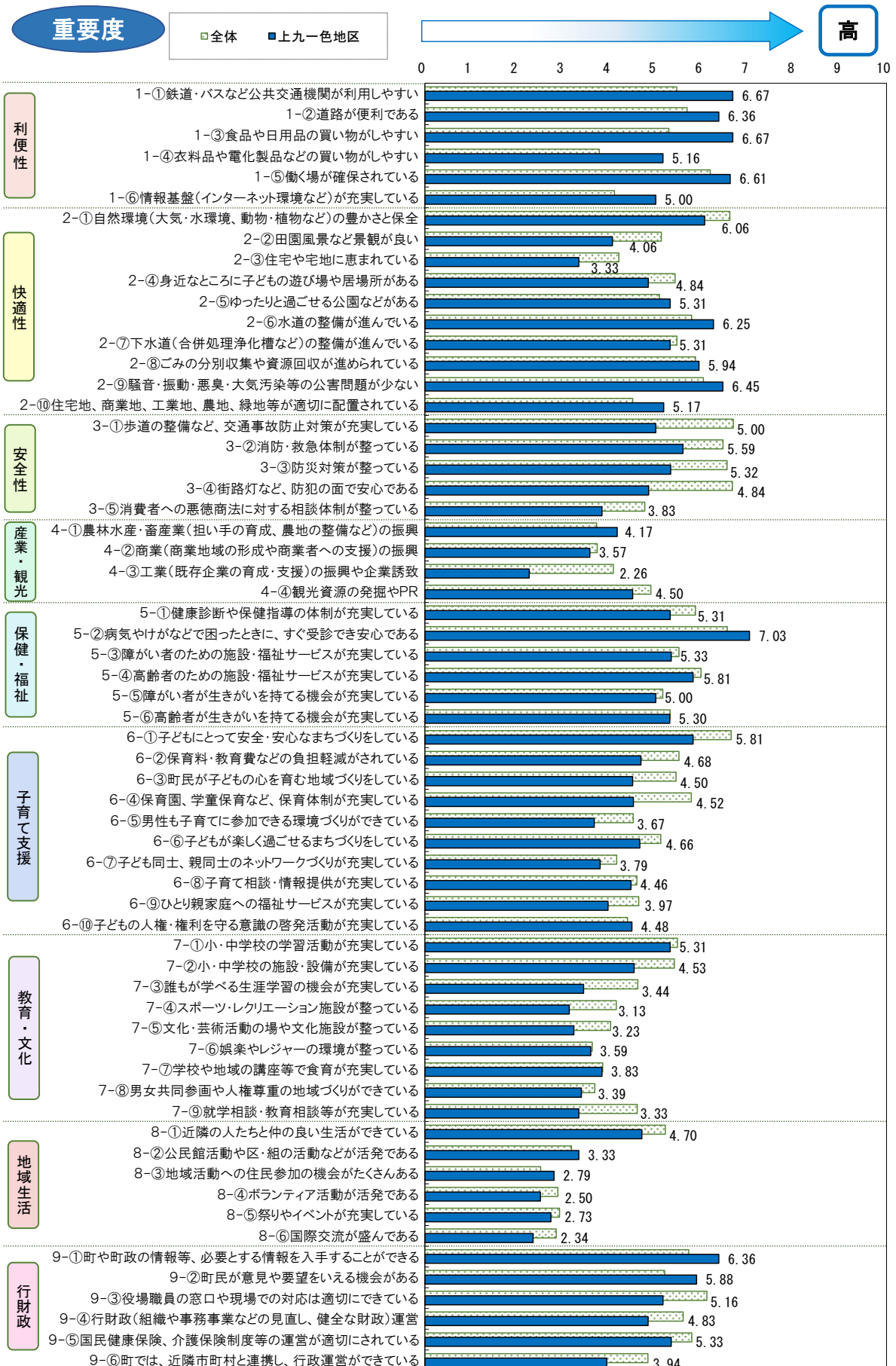
まちの各環境に関する重要度（勝山地区）



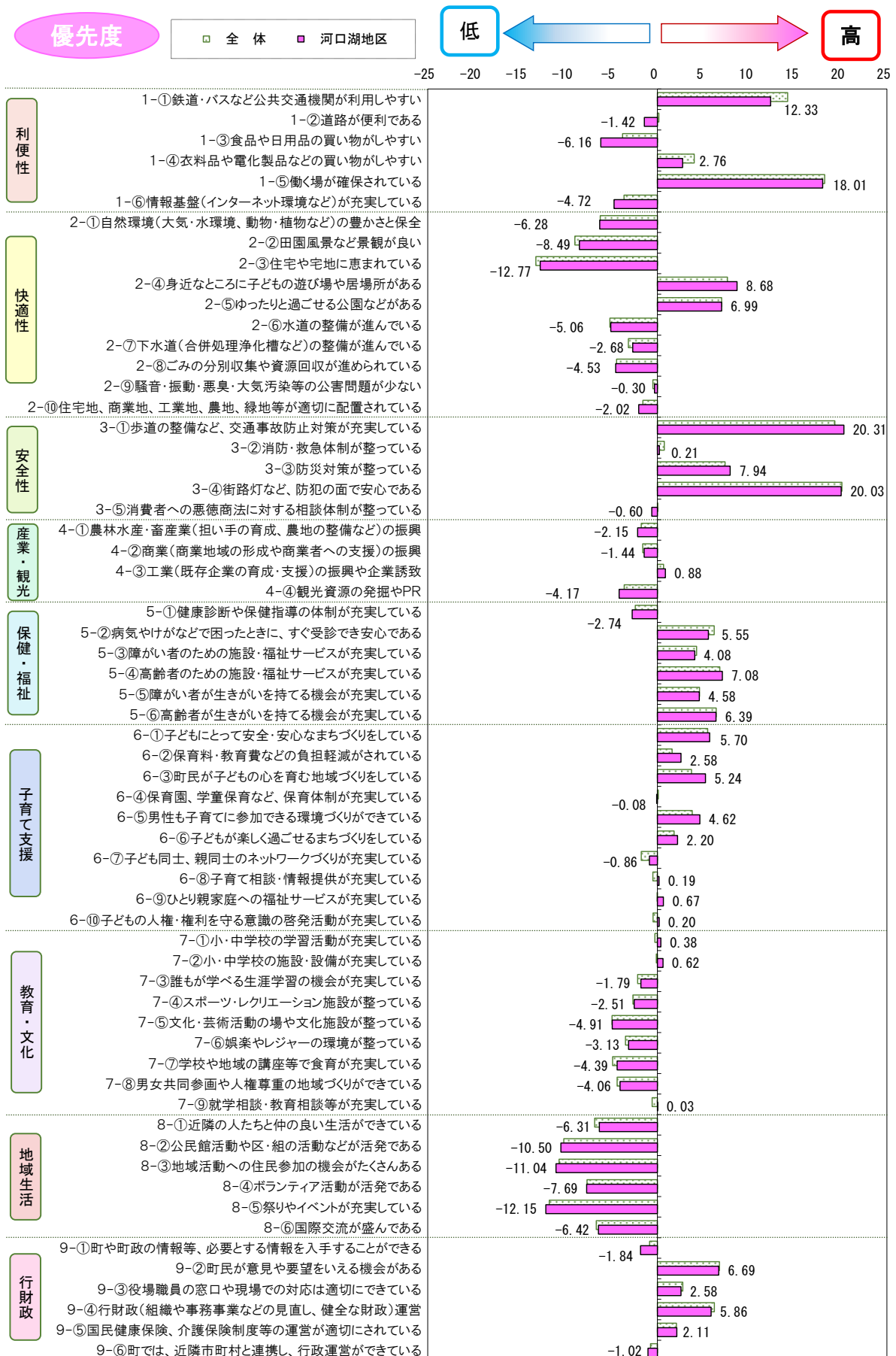
まちの各環境に関する重要度（足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐））



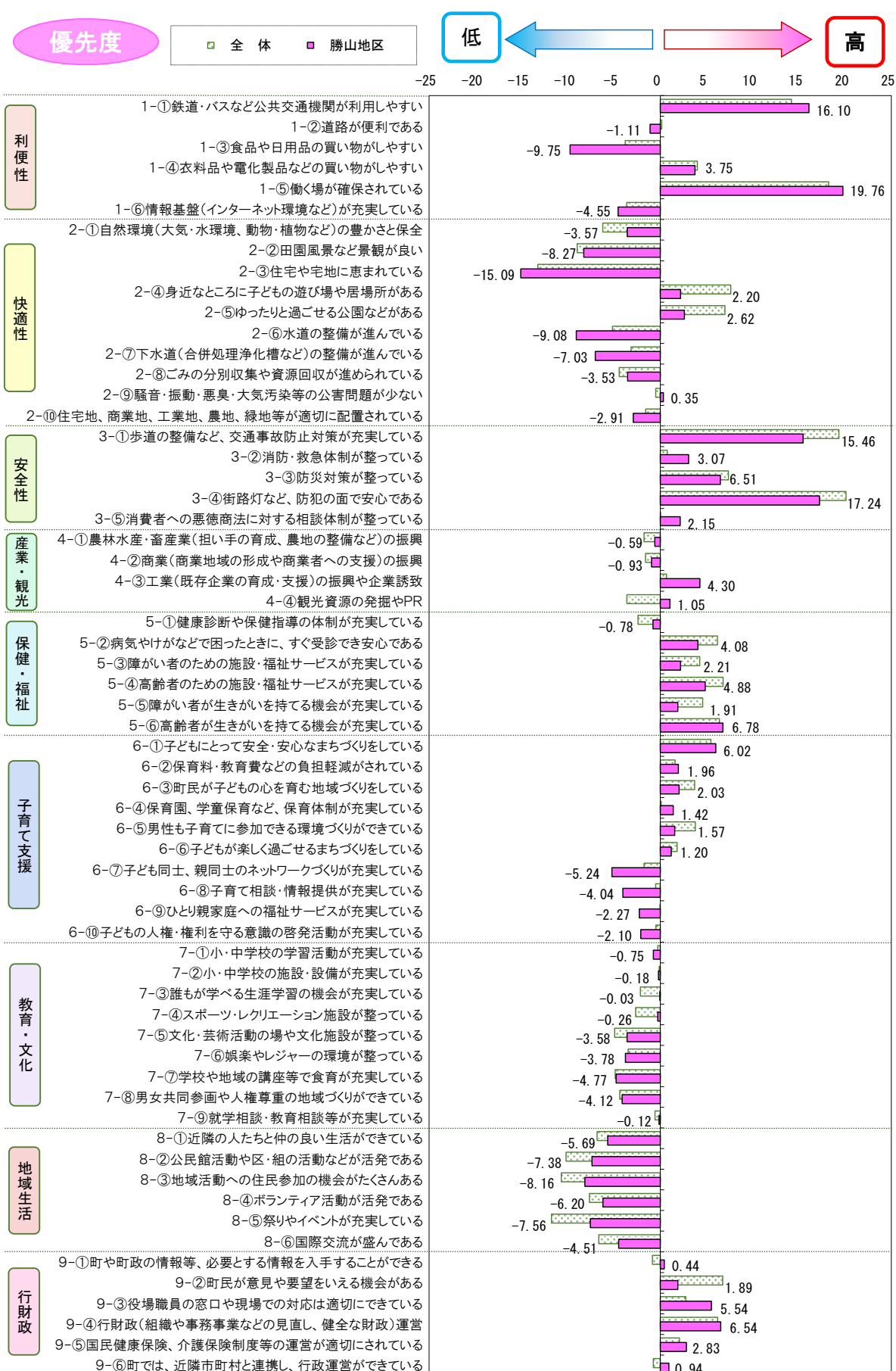
まちの各環境に関する重要度（上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺））



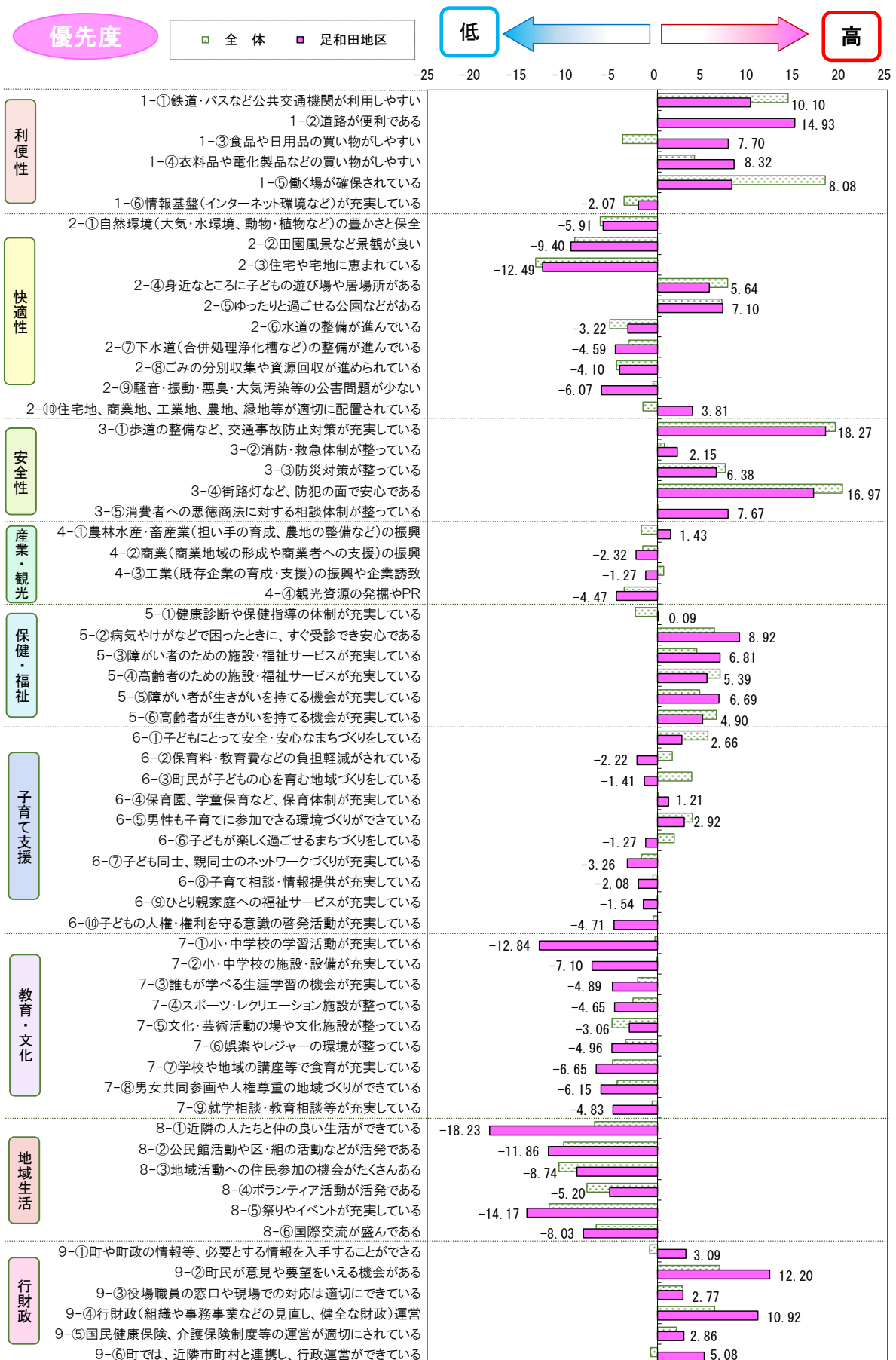
まちの各環境に関する優先度（河口湖地区（船津・小立・大石・河口・浅川））



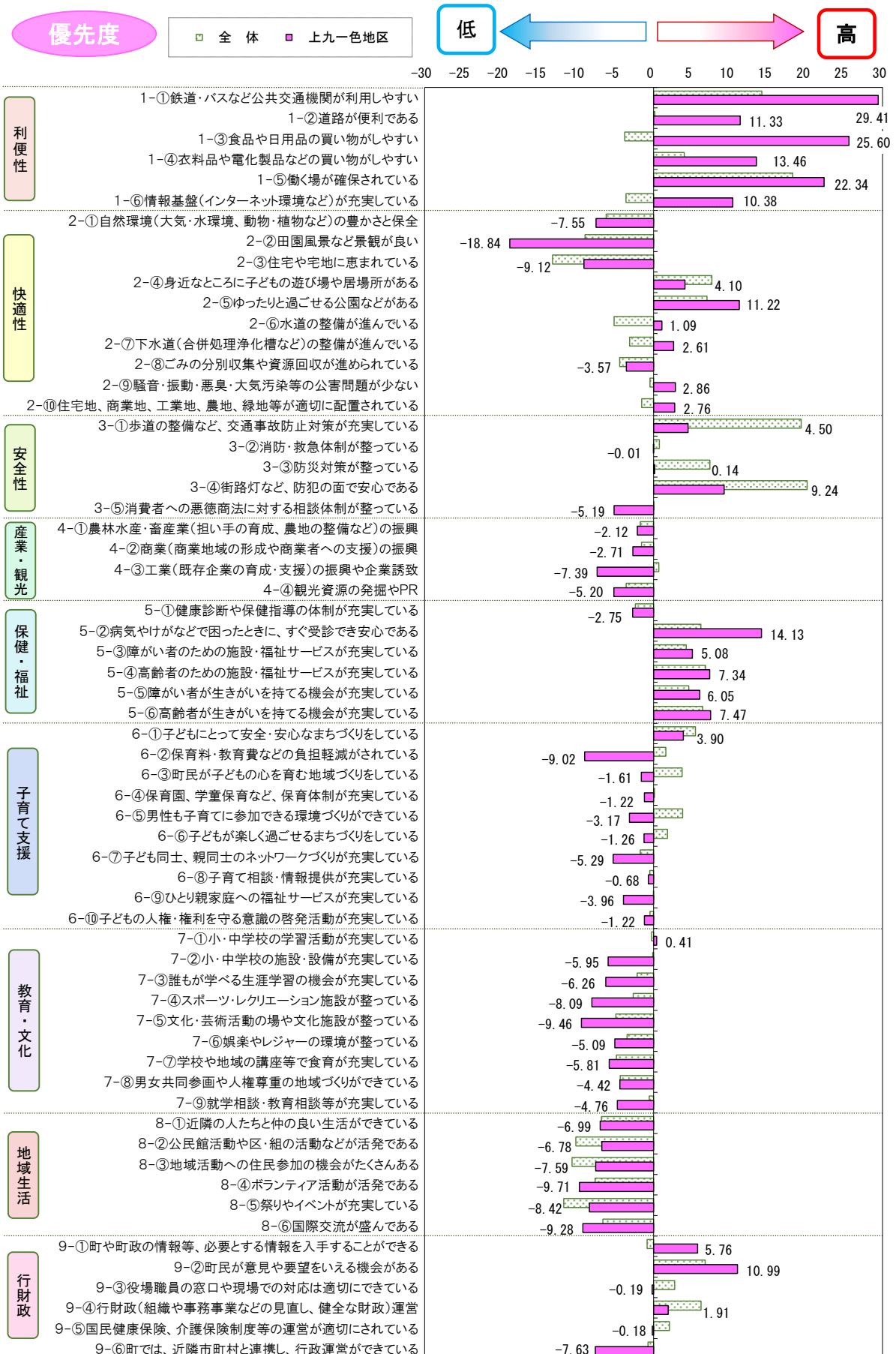
まちの各環境に関する優先度（勝山地区）



まちの各環境に関する優先度（足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐））



まちの各環境に関する優先度（上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺））



V アンケート票

町民意識調査アンケート

【富士河口湖町第2次総合計画策定に向けて】

町民の皆様には、日頃から町政にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本町では、「富士河口湖町第1次総合計画」の計画期間が平成29年度をもって終了することを受けて、平成30年度から平成39年度を計画期間とした「富士河口湖町第2次総合計画」の計画づくりを進めています。

そこで、今後のまちづくりを進めるにあたり、町民の皆様のご意見をお聴きし、調査結果を新たな計画に活かしていきたいと考えています。

お仕事や家事などでご多忙のところ、大変お手数をおかけいたしますが、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

※町では、このアンケート調査の対象者を、富士河口湖町にお住まいの18歳以上の町民2,000人(無作為抽出)を対象に選ばせていただきました。記入された内容は、この調査のために集計すること以外に利用されることはありませんので、調査の目的、趣旨をご理解のうえ、ご意見をお聴かせください。

平成28年8月
富士河口湖町長 渡辺喜久男

【記入にあたってのお願い】

1. 調査対象として選ばれたご本人がお答えください。
2. ご記入は、えんぴつ、シャープペン、ボールペンなどで結構ですが、確認できるよう濃く記入してください。
3. ○印は、番号を囲むように濃くつけてください。(例 ①.)
4. お答えは、設問ごとに(1つに○印)、(3つまで○印)等それぞれ指定されていますので、お間違えのないようお願いします。

【返送方法】

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて 9月14日(水)までに最寄りの郵便ポストへ投函していただくか、町役場2階政策財政課へ直接お渡しください。(切手はいりません。)

【お問い合わせ先】

富士河口湖町役場 政策財政課政策調整係

電 話 : 0555-72-1129

E-mail : seisaku@town.fujikawaguchiko.lg.jp

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。（1つに○印）

(1) あなたの性別	1. 男性	2. 女性
(2) あなたの年齢	1. 10・20 歳代 2. 30 歳代 3. 40 歳代 4. 50 歳代	5. 60 歳代 6. 70 歳代 7. 80 歳以上
(3) あなたの世帯構成	1. 一人暮らし 2. 夫婦（子どもなし） 3. 親と子（2世代）	4. 親・子・孫（3世代） 5. その他
(4) あなたの職業 （※主たるもの）	1. 農林業（専業） 2. 製造業 3. 建設業 4. 商業（小売、卸売、飲食） 5. 運輸・通信業 6. サービス業（公務を除く）	7. 公務員（公社を含む） 8. 家事 9. 学生 10. 無職 11. その他
(5) あなたの就学先・ 勤務先	1. 町内 2. 甲府市 3. 富士吉田市	4. その他県内 5. 県外 6. 就学・勤務していない
(6) あなたの居住年数 （※通算年数）	1. 3年未満 2. 3年以上 10 年未満 3. 10 年以上 20 年未満 4. 20 年以上	
(7) あなたの居住地区	1. 河口湖地区（船津・小立・大石・河口・浅川） 2. 勝山地区 3. 足和田地区（長浜・西湖・根場・大嵐） 4. 上九一色地区（精進・本栖・富士ヶ嶺）	

問2 あなたは、富士河口湖町に対して「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。（1つに○印）

1. とても愛着を感じている
2. どちらかというと愛着を感じている
3. どちらともいえない
4. あまり愛着を感じていない
5. 愛着を感じていない

問3 あなたは、これからも富士河口湖町に住みたいと思いますか。（1つに○印）

1. 住みたい
2. どちらかといえば住みたい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みたくない
5. 住みたくない（できれば町外へ引越ししたい）

問4 あなたは、富士河口湖町のどのようなところに魅力を感じていますか。（3つまで○印）

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 1. 自然環境が豊かである | 9. 保健・医療環境が整っている |
| 2. ごみ処理施設や上下水道などの生活環境施設が整っている | 10. 買い物の便が良い |
| 3. 道路・交通の便が良い | 11. 働く場が整っている |
| 4. 情報通信網が整っている | 12. 活力ある地場産業がある |
| 5. 消防・防災・防犯体制が整っている | 13. 人情味や地域の連帯感がある |
| 6. 文化・スポーツ環境が整っている | 14. 行政サービスが充実している |
| 7. 子育て・教育環境が整っている | 15. 特に魅力を感じない |
| 8. 福祉環境が整っている | 16. その他 |

具体的に：

問5 富士河口湖町の現在の状況（満足度）と今後のまちづくりにおける重要度についておたずねします。（（１）と（２）について、それぞれの項目ごとに１つずつ〇印）

評価 項目	（１）満足度						（２）重要度				
	富士河口湖町の今の状況についてどう思いますか。						今後のまちづくりにおける重要度についてどう思いますか。				
	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満		重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
*記入例	1	2	③	4	5	→	1	2	③	4	5
1 利便性											
①鉄道・バスなど公共交通機関が利用しやすい	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
②道路が便利である	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
③食品や日用品の買い物がしやすい	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
④衣料品や電化製品などの買い物がしやすい	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑤働く場が確保されている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑥情報基盤（インターネット環境など）が充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
2 快適性											
①自然環境（大気・水環境、動物・植物など）の豊かさと保全	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
②田園風景など景観が良い	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
③住宅や宅地に恵まれている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
④身近なところに子どもの遊び場や居場所がある	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑤ゆったりと過ごせる公園などがある	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑥水道の整備が進んでいる	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑦下水道（合併処理浄化槽など）の整備が進んでいる	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑧ごみの分別収集や資源回収が進められている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑨騒音・振動・悪臭・大気汚染等の公害問題が少ない	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5

項目	（１）満足度						（２）重要度				
	富士河口湖町の今の状況についてどう思いますか。						今後のまちづくりにおける重要度についてどう思いますか。				
	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満		重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
⑩住宅地、商業地、工業地、農地、緑地等が適切に配置されている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
3 安全性											
①歩道の整備など、交通事故防止対策が充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
②消防・救急体制が整っている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
③防災対策が整っている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
④街路灯など、防犯の面で安心である	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑤消費者への振り込め詐欺など悪徳商法に対する相談体制が整っている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
4 産業・観光											
①農林水産・畜産業（担い手の育成、農地の整備など）の振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
②商業（商業地域の形成や商業者への支援）の振興	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
③工業（既存企業の育成・支援）の振興や企業誘致	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
④観光資源の発掘やPR	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
5 保健・福祉											
①健康診断や保健指導の体制が充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
②病気やけがなどで困ったときに、すぐ受診でき安心である	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
③障がい者のための施設・福祉サービスが充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
④高齢者のための施設・福祉サービスが充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑤障がい者が生きがいを持てる機会が充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑥高齢者が生きがいを持てる機会が充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5

項 目	評 価	(1) 満足度					(2) 重要度				
		富士河口湖町の今の状況についてどう思いますか。					今後のまちづくりにおける重要度についてどう思いますか。				
		満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない

6 子育て支援

①子どもにとって安全・安心なまちづくりをしている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
②保育料・教育費などの負担軽減がされている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
③町民が子どもの心を育む地域づくりをしている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
④保育園、学童保育など、保育体制が充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑤男性も子育てに参加できる環境づくりができています	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑥子どもが楽しく過ごせるまちづくりをしている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑦子ども同士、親同士のネットワークづくりが充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑧子育て相談・情報提供が充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑨ひとり親家庭への福祉サービスが充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑩子どもの人権・権利を守る意識の啓発活動が充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5

7 教育・文化

①小・中学校の学習活動が充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
②小・中学校の施設・設備が充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
③誰もが学べる生涯学習の機会が充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
④スポーツ・レクリエーション施設が整っている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑤文化・芸術活動の場や文化施設が整っている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑥娯楽やレジャーの環境が整っている	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑦学校や地域の講座等で食育が充実している	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑧男女共同参画や人権尊重の地域づくりができています	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5

項 目	評 価	(1) 満足度						(2) 重要度				
		富士河口湖町の今の状況についてどう思いますか。						今後のまちづくりにおける重要度についてどう思いますか。				
		満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満		重要	やや重要	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
⑨就学相談・教育相談等が充実している		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
8 地域生活												
①近隣の人たちと仲の良い生活ができている		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
②公民館活動や区・組の活動などが活発である		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
③地域活動への住民参加の機会がたくさんある		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
④ボランティア活動が活発である		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑤祭りやイベントが充実している		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑥国際交流が盛んである		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
9 行財政												
①町からのお知らせや町政の情報等、必要とする情報を入手することができる		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
②町民が意見や要望をいえる機会がある		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
③役場職員の窓口や現場での対応は適切にできている		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
④行財政（組織や事務事業などの見直し、健全な財政）運営		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑤国民健康保険、介護保険制度等の運営が適切にされている		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
⑥町では、近隣市町村と連携し、行政運営ができている		1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5

問6 10年後のまちの将来像（あるべき姿）についておたずねします。あなたは富士河口湖町がどんなまちになればよいと思いますか。（3つまで○印）

1. 水と緑と大地の豊かな自然環境のあるまち
2. 歴史文化を大切に継承・活用していくまち
3. 大学や高校などと連携した学校教育が充実したまち
4. 趣味の文化活動やスポーツの盛んなまち
5. 高齢者や障がい者が暮らしやすい健康と福祉の充実したまち
6. 子育て支援が充実し、子どもが楽しく、充実した子ども時代を過ごせるまち
7. 医療・救急体制や防犯・防災体制の整った、安心して暮らせるまち
8. 道路交通網や情報網など、地域基盤の整備されたまち
9. 住宅地開発や公園や上下水道の整備など、快適で良好な住宅環境のまち
10. 環境に優しくエコロジーなまち
11. 商工業・観光業などの産業が発展し雇用が確保されたにぎわいのあるまち
12. 観光・レクリエーション施設や祭り・イベントの充実したまち
13. 若者や女性が活躍できるまち
14. 地域間交流・国際交流の活発なまち
15. 町民のまちづくり活動やボランティア活動が活発なまち
16. 各地区の地域活動（コミュニティ活動）が活発なまち
17. 行政サービスが充実した安定性・自立性の高いまち
18. その他

ご意見をお聞かせください：

問7 あなたの生活や地域のことについて、おたずねします。

この1年くらいのことをふりかえってみてお答えください。（1つに○印）

1) 健康づくりに取り組んでいますか。

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 積極的に取り組んでいる | 2. 取り組んでいる |
| 3. あまり取り組んでいない | 4. 取り組んでいない |
| 5. どちらともいえない | |

2) 健康維持のため、各種健康診断や健康相談を受けていますか。

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 年に数回は受けている | 2. 年に一度は受けている |
| 3. 受ける必要がない（健康である） | 4. 受けたことがない |

3) スポーツ活動（ウォーキング等、軽スポーツ・運動を含む）に、どれくらい取り組んでいますか。

- | | | |
|----------|-----------------|----------|
| 1. 週2回以上 | 2. 週1回程度 | 3. 月2回程度 |
| 4. 月1回程度 | 5. ほとんど取り組んでいない | |

4) 地域の公園を利用していますか。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. よく利用する | 2. たまに利用する |
| 3. あまり利用しない | 4. 利用したことがない |

5) ふだん公共の交通機関を利用していますか。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. よく利用する | 2. たまに利用する |
| 3. あまり利用しない | 4. 利用したことがない |

6) 開発行為や土地の売買、利用にあたっては、自然環境との調和を図っていますか。

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. 十分に図っている | 2. 図っている |
| 3. あまり図っていない | 4. 図っていない |
| 5. どちらともいえない | |

7) 地域では、住宅の新築、建て替えなどの際、地域の景観に配慮した住環境づくりをしていますか。

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 十分に配慮している | 2. 配慮している |
| 3. あまり配慮していない | 4. 配慮していない |
| 5. どちらともいえない | |

8) 美しい道や安全で快適な道路環境づくりのため、道路沿いのゴミ拾い・草刈り等、道路整備のボランティア等に積極的に参加したいと思いますか。

- | | | |
|---------------|------------|--------------|
| 1. 積極的に参加したい | 2. 参加したい | |
| 3. あまり参加したくない | 4. 参加したくない | 5. どちらともいえない |

9) まちの景観の保全のためにゴミ拾いなどの活動をしていますか。

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 積極的にしている | 2. たまにしている |
| 3. あまりしていない | 4. したことがない |

10) 本町は、河口湖・西湖・精進湖・本栖湖の富士五湖の内4湖が存在していますが、湖の保全のため、湖畔清掃活動等に参加したことがありますか。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. よく参加する | 2. たまに参加する |
| 3. あまり参加しない | 4. 参加したことがない |

11) 家庭では節水に配慮していますか。

- | | | |
|---------------|------------|--------------|
| 1. 十分に配慮している | 2. 配慮している | |
| 3. あまり配慮していない | 4. 配慮していない | 5. どちらともいえない |

12) 台所の野菜クズやお風呂場の髪の毛等、汚物を流さないように対策し、生活排水の処理について配慮していますか。

- | | | |
|---------------|------------|--------------|
| 1. 十分に配慮している | 2. 配慮している | |
| 3. あまり配慮していない | 4. 配慮していない | 5. どちらともいえない |

13) 電気のムダ使いを気にかけるなど、環境に配慮していますか。

- | | | |
|---------------|------------|--------------|
| 1. 十分に配慮している | 2. 配慮している | |
| 3. あまり配慮していない | 4. 配慮していない | 5. どちらともいえない |

14) 製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいきますか。

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. 積極的に選んでいる | 2. 選んでいる | |
| 3. あまり選んでいない | 4. 選んでいない | 5. どちらともいえない |

15) 環境に優しい循環型社会の実現のため、リデュース（ごみの発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（ゴミの再生利用）などの3R活動に取り組んでいますか。

- | | | |
|----------------|-------------|--------------|
| 1. 積極的に取り組んでいる | 2. 取り組んでいる | |
| 3. あまり取り組んでいない | 4. 取り組んでいない | 5. どちらともいえない |

16) 町の商業の振興のため、意識して地域で買い物をするようにしていますか。

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 町内で買い物をする | 2. できる限り町内で買い物をする |
| 3. あまり町内で買い物はしない | 4. 町内外を意識して買い物をするのではない |
| 5. 買い物は町外でする | |

17) 工業の振興については、自然環境との調和を図ることが大切ですが、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、悪臭等の公害による、自然体系への影響について学んでいますか。

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. 積極的に学んでいる | 2. 学んでいる | |
| 3. あまり学んでいない | 4. 学んでいない | 5. どちらともいえない |

18) 町の観光の振興のため、観光客と住民がともに楽しめるイベントや案内などのボランティアに参加したいと思いませんか。

- | | | |
|---------------|------------|--------------|
| 1. 積極的に参加したい | 2. 参加したい | |
| 3. あまり参加したくない | 4. 参加したくない | 5. どちらともいえない |

19) 農林水産・畜産業の持続的発展のために、食糧生産や生態系の維持といった、その保有する機能を学びたいと思いませんか。

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. 積極的に学びたい | 2. 学びたい | |
| 3. あまり学びたくない | 4. 学びたくない | 5. どちらともいえない |

20) 地域の活動・行事に参加していますか。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. よく参加する | 2. たまに参加する |
| 3. あまり参加しない | 4. 参加したことがない |

21) 国際交流や他市町村との交流を図るイベントなどに参加したことがありますか。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. よく参加する | 2. たまに参加する |
| 3. あまり参加しない | 4. 参加したことがない |

22) 男女共同参画社会の実現に向けての町の講座や職場での研修会に参加したことがありますか。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. よく参加する | 2. たまに参加する |
| 3. あまり参加しない | 4. 参加したことがない |

23) 子育てに関する学習や相談の場や機会があれば、活用したいと思いますか。

- | | |
|---------------|------------------------------|
| 1. 積極的に活用したい | 2. 活用したい |
| 3. あまり活用したくない | 4. 活用したくない 5. どちらともいえない |

24) 開かれた学校づくりや、PTA活動、子どもたちの校外活動などへの参加はしていますか。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. よく参加する | 2. たまに参加する |
| 3. あまり参加しない | 4. 参加したことがない |

25) 栄養や食べ物の大切さ、マナーを身に付けるため、地域や家庭での食育は行われていますか。

- | | |
|---------------|------------------------------|
| 1. 十分に行われている | 2. 行われている |
| 3. あまり行われていない | 4. 行われていない 5. どちらともいえない |

26) 児童に対するいじめ・虐待等への対策が地域で十分に話し合われていますか。

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| 1. 十分に話し合われている | 2. 話し合われている |
| 3. あまり話し合われていない | 4. 話し合われていない 5. どちらともいえない |

27) 子どもの教育・子育て等について地域で支え合う雰囲気はありますか。

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1. 十分にある | 2. どちらかといえばある |
| 3. どちらかといえない | 4. ない 5. どちらともいえない |

28) 地域では高齢者や障がい者、ひとり親家庭への見守り・声掛け・手助け等に行われていますか。

- | | |
|---------------|------------------------------|
| 1. 十分に行われている | 2. 行われている |
| 3. あまり行われていない | 4. 行われていない 5. どちらともいえない |

29) 地域では人権が尊重されていると思いますか。

- | | |
|----------------|-------------------------------|
| 1. 十分に尊重されている | 2. 尊重されている |
| 3. あまり尊重されていない | 4. 尊重されていない 5. どちらともいえない |

30) 安心して働ける職場環境の実現のため、ご自身やご家族で育児休業や有給休暇の取得等、ワーク・ライフ・バランスのための制度を活用していますか。

- | | | |
|---------------|------------|--------------|
| 1. 十分に活用している | 2. 活用している | |
| 3. あまり活用していない | 4. 活用していない | 5. どちらともいえない |

31) 祭り・行事への参加等、町の歴史・伝統・文化の保護継承に対して取り組んでいますか。

- | | | |
|----------------|-------------|--------------|
| 1. 積極的に取り組んでいる | 2. 取り組んでいる | |
| 3. あまり取り組んでいない | 4. 取り組んでいない | 5. どちらともいえない |

32) 目的を持って学んでいるものがありますか。(学生の方は学校以外で。)

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. ある | 2. どちらかといえばある | |
| 3. どちらかといえない | 4. ない | 5. どちらともいえない |

33) 住んでいる地域は高齢者や障がい者にも暮らしやすいと思いますか。

- | | | |
|-------------------|----------------|--|
| 1. 十分に暮らしやすいと思う | 2. 暮らしやすいと思う | |
| 3. あまり暮らしやすいと思わない | 4. 暮らしやすいと思わない | |
| 5. どちらともいえない | | |

34) 地域での登下校時の見守り・パトロールや街灯整備等の安全・安心を守る取組みに参加したことがありますか。

- | | | |
|-------------|--------------|--|
| 1. よく参加する | 2. たまに参加する | |
| 3. あまり参加しない | 4. 参加したことがない | |

35) クーリングオフ制度、消費者保護、消費者啓発等の消費に関わる学習に取り組んでいますか。

- | | | |
|----------------|-------------|--------------|
| 1. 積極的に取り組んでいる | 2. 取り組んでいる | |
| 3. あまり取り組んでいない | 4. 取り組んでいない | 5. どちらともいえない |

36) 火災・救急時に備えて消火栓、応急手当等の訓練を受けたことがありますか。

- | | | |
|--------------|-------------|-------------------|
| 1. 積極的に受けている | 2. たまに受けている | |
| 3. 今後受けるつもり | 4. 受けたことがない | 5. どこで受講できるかわからない |

37) 災害時の備蓄品、持ち出し物を準備していますか。

- 38) 少子高齢化などの問題を踏まえ、国民年金や介護保険等、将来の社会保障制度について不安はありますか。

38) 少子高齢化などの問題を踏まえ、国民年金や介護保険等、将来の社会保障制度について不安はありますか。

- 39) 市街地の再生を町民が自分たちの問題としてとらえ、行政との連携のもと、地域が主体となったまちづくりが行われていますか。

39) 市街地の再生を町民が自分たちの問題としてとらえ、行政との連携のもと、地域が主体となったまちづくりが行われていますか。

- 40) 町の各種計画策定における、ワークショップや検討委員会に参加してみたいと思いますか。

40) 町の各種計画策定における、ワークショップや検討委員会に参加してみたいと思いますか。

- 41) 今まで役場の窓口で行っていた各種の申請や手続きをパソコン等で電子申請ができることを知っていますか、また利用したことはありますか。

41) 今まで役場の窓口で行っていた各種の申請や手続きをパソコン等で電子申請ができることを知っていますか、また利用したことはありますか。

- 42) 町の行財政に関する情報について、広報などを読んで関心を深めていますか。

42) 町の行財政に関する情報について、広報などを読んで関心を深めていますか。

- 43) 町の様々な情報を収集するとき、特にどのように収集しますか。(いくつでも回答可)

43) 町の様々な情報を収集するとき、特にどのように収集しますか。(いくつでも回答可)

5. 近隣住民・知人・友人 6. 地元紙 7. 収集できていない
8. その他（ ）

問8 10年後のまちの将来像（あるべき姿）を思い描いたキャッチフレーズ、またはキーワードを、ご記入ください。

＜キャッチフレーズ・キーワード＞

例）富士山と湖と高原の町、国際観光地のまち富士河口湖町 等々

問9 現在、もしくは将来に向けて町政に望むことや、まちづくりに関するご意見・ご提案等がありましたら、ご自由にご記入ください。



ご協力ありがとうございました。

